

能代市国民健康保険  
第3期保健事業実施計画  
(データヘルス計画)  
第4期特定健康診査等実施計画

令和6(2024)年3月  
能代市

-目次-

はじめに	3
第1部 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）	
第1章 計画策定について	
1. 計画の趣旨	5
2. 計画期間	6
3. 実施体制・関係者連携	6
4. データ分析期間	7
第2章 地域の概況	
1. 地域の特性	8
2. 人口構成	9
3. 医療基礎情報	12
4. 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	13
5. 平均余命と平均自立期間	17
6. 介護保険の状況	19
7. 死亡の状況	23
第3章 過去の取り組みの考察	
1. 第2期データヘルス計画全体の評価	25
2. 各事業の達成状況	27
第4章 健康・医療情報等の分析	
1. 医療費の基礎集計	54
2. 生活習慣病に関する分析	63
3. 健康診査データによる分析	66
4. 受診行動適正化指導対象者に係る分析	69
5. ジェネリック医薬品普及率に係る分析	71
第5章 健康課題の抽出と保健事業の実施内容	
1. 分析結果に基づく健康課題の抽出と解決のための対策	73
2. 健康課題を解決するための個別の保健事業	75
第6章 その他	
1. 計画の評価及び見直し	89
2. 計画の公表・周知	89
3. 個人情報の取扱い	89
4. 地域包括ケアに係る取り組み	89

-目次-

第2部	第4期特定健康診査等実施計画	
第1章	特定健康診査等実施計画について	
	1. 計画策定の趣旨	91
	2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ	91
	3. 計画期間	91
	4. データ分析期間	92
第2章	特定健康診査及び特定保健指導の現状と評価	
	1. 取り組みの実施内容	93
	2. 特定健康診査の受診状況	94
	3. 特定保健指導の実施状況	97
	4. メタボリックシンドローム該当状況	102
	5. 第3期計画の評価と考察	104
第3章	特定健康診査に係る詳細分析	
	1. 特定健診の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況	105
	2. 特定保健指導対象者に係る分析	106
第4章	特定健康診査等実施計画	
	1. 目標	109
	2. 対象者数推計	109
	3. 実施方法	111
	4. 目標達成に向けての取り組み	114
	5. 実施スケジュール	115
第5章	その他	
	1. 個人情報の保護	116
	2. 特定健康診査等実施計画の公表及び周知	116
	3. 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し	116
	4. 他の健診との連携	117
	5. 実施体制の確保及び実施方法の改善	117

## はじめに

厚生労働省が令和元（2019）年に策定した「健康寿命延伸プラン」においては、令和22（2040）年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸し（平成28（2016）年比）、75歳以上とすることを目指すとしている。またそのためには、「次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成」、「疾病予防・重症化予防」、「介護予防・フレイル対策、認知症予防」の3分野を中心に取り組みを推進することとある。健康寿命の延伸は社会全体の課題であるが、目標達成に向けては、地域の特性や現状を踏まえた健康施策の検討・推進が必要不可欠であり、目標達成に向けて地方自治体が担う役割は大きくなっている。

また、令和2（2020）年から世界的に大流行した新型コロナウイルス感染症は、国内でも感染が拡大し、価値観や生活様式等が大きく変化した。健康・医療分野においては、コロナ禍の中で全国的に健（検）診や医療機関の受診控えがみられ、健（検）診受診率、医療費の動向及び疾病構造等に影響が出た。一方、コロナ禍をきっかけとして、オンライン診療やオンライン服薬指導、ICTを活用した保健指導等の支援サービスの普及が加速度的に進むなど、現在は大きな転換期にある。

能代市国民健康保険においては、「保健事業実施計画（データヘルス計画）」（第1期～第2期）及び「特定健康診査等実施計画」（第1期～第3期）を策定し、計画に定める保健事業を推進してきた。「データヘルス計画」はデータ分析に基づく保健事業の実施内容やその目的・目標を、「特定健康診査等実施計画」は保健事業の中核をなす特定健康診査・特定保健指導の実施方法や目標等をそれぞれ定めたもので、いずれも、被保険者の生活の質（QOL）の維持・向上、健康寿命の延伸、その結果としての医療費適正化に資することを目的としている。

このたび令和5（2023）年度に両計画が最終年度を迎えることから、過去の取り組みの成果・課題を踏まえ、より効果的・効率的に保健事業を実施するために、「第3期データヘルス計画」と「第4期特定健康診査等実施計画」を一体的に策定する。

### 計画書の構成

		目的	根拠法令
第1部	第3期データヘルス計画	健康・医療情報等を活用したデータ分析に基づき、PDCAサイクルに沿った効率的かつ効果的な保健事業の実施計画を定め、実施及び評価を行う。	国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針（厚生労働省告示）
第2部	第4期特定健康診査等実施計画	特定健康診査等基本指針（厚生労働省告示）に基づき、特定健康診査及び特定保健指導の実施方法や目標等、基本的な事項を定める。	高齢者の医療の確保に関する法律第19条

第1部  
第3期保健事業実施計画  
(データヘルス計画)

# 第1章 計画策定について

## 1. 計画の趣旨

### (1) 背景

本市では、平成30（2018）年に策定した第2期データヘルス計画に基づいて、保険者が保有する健康や医療に関するデータを活用し、地域の健康課題に対応するために保健事業を実施してきたところである。平成30年4月に都道府県が財政運営の責任主体として共同保険者となって以降、令和2（2020）年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020」において、データヘルス計画の標準化等の取り組みの推進が掲げられた。そして、令和4（2022）年12月の経済財政諮問会議における「新経済・財政再生計画 改革工程表2022」においては、データヘルス計画の標準化の進展にあたり、保険者共通の評価指標やアウトカムベースでの適切なKPI※の設定を推進するとの方針が示された。

市町村国保においては、幅広い年代の被保険者の身体的な状況等に応じた健康課題を的確に捉え、保健事業を実施することにより、健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持及び向上が図られ、結果として、医療費の適正化に資すると考えられる。

本計画は、第1期及び第2期計画における実施結果等を踏まえ、PDCAサイクルに沿った保健事業の展開、達成すべき目標やその指標等を定めたものであり、計画の推進に当たっては、医療介護分野における連携の強化に努めるとともに、地域の実情に根差したきめ細かな支援の実現を目指し、地域で一体となって被保険者を支える地域包括ケアの充実・強化に努めるものとする。

※KPI…Key Performance Indicatorの略称。重要業績評価指標。

### (2) 計画の位置づけ

保健事業の実施計画(データヘルス計画)とは、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、保険者が効果的・効率的な保健事業の実施を図るため、特定健康診査・特定保健指導の結果、レセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、PDCAサイクルに沿って運用するものである。

データヘルス計画の策定に当たっては、健康増進法に基づく「基本的な方針」を踏まえ、健康寿命の延伸と健康格差の縮小等を基本的な方向とし、関連する他計画(健康増進計画、医療費適正化計画、介護保険事業計画、高齢者保健事業の実施計画(データヘルス計画)、国民健康保険運営方針、特定健康診査等実施計画)と調和のとれた内容とする。

## 2. 計画期間

計画期間は、関係する計画との整合性を踏まえ、令和6（2024）年度から令和11（2029）年度までの6年間とする。

## 3. 実施体制・関係者連携

### (1) 保険者内の連携体制の確保

能代市国民健康保険における健康課題の分析や計画の策定、保健事業の実施、評価等は、保健衛生部局等の関係部局や県、保健所、国民健康保険団体連合会等の関係機関の協力を得て、国保部局が主体となって行う。国民健康保険には幅広い年代の被保険者が属し、その健康課題もさまざまであることから、後期高齢者医療部局や介護保険部局等と連携してそれぞれの健康課題を共有するとともに、後期高齢者等の健康課題も踏まえて保健事業を展開する。

国保部局においては、保健師等の専門職配置に努め、計画期間を通じてPDCAサイクルに沿った計画運用ができるよう、体制を確保する。

### (2) 関係機関との連携

計画の実効性を高めるためには、共同保険者である秋田県のほか、国民健康保険団体連合会や連合会内に設置される支援・評価委員会、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会や、医療機関等と健康課題を共有し、連携を強化することが重要となる。

計画は、被保険者の健康保持増進が最終的な目標であり、被保険者自身が主体的、積極的に健康づくりに取り組むことが重要であることから、国民健康保険運営協議会等の場を通じるなどして、被保険者の意見反映に努める。

### ※第3期データヘルス計画の策定における標準化について

これまでのデータヘルス計画では、各保険者の比較ができないことが課題とされ、第3期計画からは県が共通の評価指標を定めることとなった。

秋田県では、秋田県共通評価指標目標（以下、県共通評価指標）を9つ設定し、市町村においては毎年県に報告し、市町村ごとの比較等に使われる。

県共通指標の設定により、第2期計画と根拠データが異なってしまうが、県内の各保険者との比較等が可能になるという利点がある。

## 4. データ分析期間

### ■入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト

#### 単年分析

令和4(2022)年4月～令和5(2023)年3月診療分(12か月分)

#### 年度分析

令和2(2020)年度…令和2(2020)年4月～令和3(2021)年3月診療分(12か月分)

令和3(2021)年度…令和3(2021)年4月～令和4(2022)年3月診療分(12か月分)

令和4(2022)年度…令和4(2022)年4月～令和5(2023)年3月診療分(12か月分)

### ■健康診査データ

#### 単年分析

令和4(2022)年4月～令和5(2023)年3月健診分(12か月分)

#### 年度分析

令和2(2020)年度…令和2(2020)年4月～令和3(2021)年3月健診分(12か月分)

令和3(2021)年度…令和3(2021)年4月～令和4(2022)年3月健診分(12か月分)

令和4(2022)年度…令和4(2022)年4月～令和5(2023)年3月健診分(12か月分)

### ■国保データベース(KDB)システムデータ

平成30(2018)年度～令和4(2022)年度(5年分)

### ■介護データ(KDB「要介護(支援)者突合状況」を使用)

#### 単年分析

令和4(2022)年4月～令和5(2023)年3月分(12か月分)

#### 年度分析

令和2(2020)年度…令和2(2020)年4月～令和3(2021)年3月分(12か月分)

令和3(2021)年度…令和3(2021)年4月～令和4(2022)年3月分(12か月分)

令和4(2022)年度…令和4(2022)年4月～令和5(2023)年3月分(12か月分)

## ※ 年(年度)表記の取扱いについて

本市が策定する中長期計画に記載する「年(年度)」については、件名や本文、図表等において和暦表記に加え、西暦を併記することとなっている。

(p4「はじめに」～p8「4. データ分析期間」参照)

ただし、p9以降の「年(年度)」については、次のように表記することとする。

- ・各ページの文中の最初に表記される和暦の年(年度)に対して西暦を併記する。
- ・表やグラフ等においては、スペースの関係上、和暦のみ表記する場合もある。



## 第2章 地域の概況

### 1. 地域の特性

#### (1) 地理的・社会的背景

本市は、秋田県北西部に位置し、東は北秋田市・上小阿仁村、西は日本海、南は三種町、北は八峰町・藤里町に接している。

また県都秋田市には60km～80kmの圏内にある。

東北地方を縦断する奥羽山脈に源を発する1級河川米代川が市域の中央を東西に流れ日本海に注ぐ。下流部には能代平野が広がり、その両側は、広大な大地が広がり大部分が農地として活用されている。

また東南部は、房住山を主体になだらかな丘陵地となっている。西部は、日本海に沿って南北に砂丘が連なり、湖沼が点在している。

気候は、四季の移り変わりが明瞭である。対馬暖流の影響により、年間の平均気温は12度前後と温暖であるが、冬は低温で日本海側特有の北西の強い季節風が吹き、降雪日数は平均50日程度ある。

面積は426.950km<sup>2</sup>（東西約30km、南北約35km）で、秋田県の面積の3.7%を占めている。

#### (2) 医療アクセスの状況

以下は、本市の令和4（2022）年度における、医療提供体制を示したものである。人口千人当たりの病院数・診療所数・病床数・医師数がいずれも秋田県より多い。

#### 医療提供体制（令和4年度）

医療項目	能代市	秋田県
千人当たり		
病院数	0.5	0.3
診療所数	5.3	4.2
病床数	106.4	75.5
医師数	14.1	12.8
外来患者数	792.7	763.6
入院患者数	23.3	22.7

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

## 2. 人口構成

以下は、本市の令和4（2022）年度における人口構成概要を示したものである。

国民健康保険被保険者数は10,208人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は20.4%である。

国民健康保険被保険者平均年齢は59.4歳で、秋田県58.9歳より0.5歳高い。

### 人口構成概要(令和4年度)

区分	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者 数(人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
能代市	49,949	41.6%	10,208	20.4%	59.4	4.4	16.5
秋田県	950,928	37.6%	190,257	20.0%	58.9	4.7	16.2

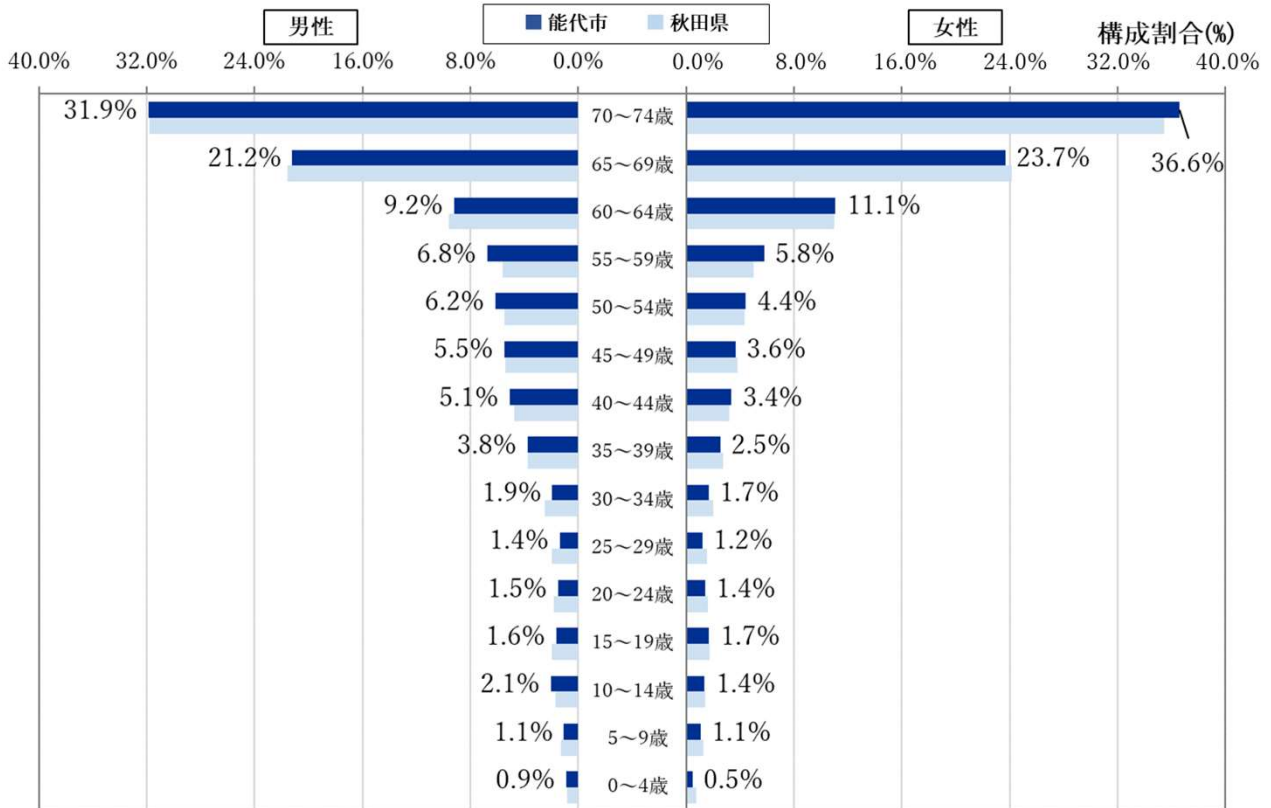
出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

※人口総数・高齢化率・出生率・死亡率は、令和2（2020）年度の国勢調査の結果から引用している。

なお、人口総数においては年齢不詳者数を除いた数値を記載。

男女・年齢階層別にみると、男女ともに70～74歳の割合が秋田県よりも多くなっている。

### 男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

以下は、本市の平成30（2018）年度から令和4（2022）年度における、人口構成概要を年度別に示したものである。

令和4年度を平成30年度と比較すると、国民健康保険被保険者数10,208人は平成30年度11,784人より1,576人、13.4%減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢59.4歳は平成30年度58.2歳より1.2歳上昇している。

秋田県と比較すると、被保険者数の減少幅はやや高く、平均年齢の上昇幅はやや低い。

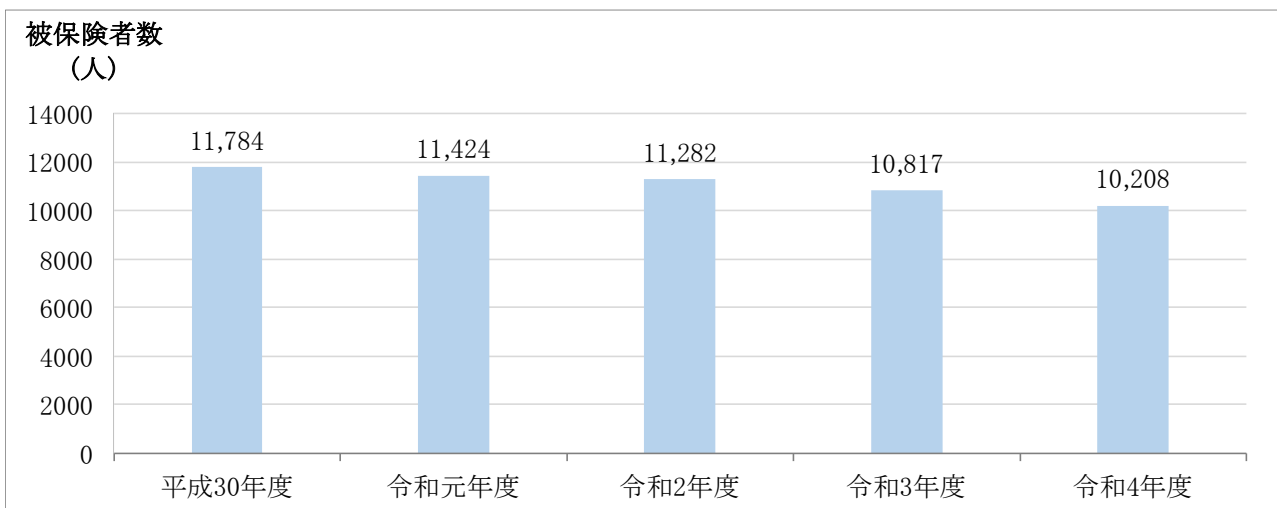
### 年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
能代市	平成30年度	53,490	37.9%	11,784	22.0%	58.2	4.8	16.6
	令和元年度			11,424	21.4%	58.4		
	令和2年度			11,282	21.1%	58.9		
	令和3年度			10,817	20.2%	59.4		
	令和4年度			49,949	41.6%	10,208		
秋田県	平成30年度	1,014,579	33.8%	213,698	21.1%	57.6	5.8	14.6
	令和元年度			208,060	20.5%	58.0		
	令和2年度			207,895	20.5%	58.5		
	令和3年度			200,754	19.8%	58.9		
	令和4年度			950,928	37.6%	190,257		

出典：国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

※人口総数・高齢化率・出生率・死亡率は、平成30（2018）年度～令和3（2021）年度の数值は平成27（2015）年度国勢調査の結果、令和4（2022）年度の数值は令和2（2020）年度国勢調査の結果からそれぞれ引用している。なお、人口総数においては年齢不詳者数を除いた数値を記載。

### 年度別 被保険者数



出典：国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

以下は、男女・年齢階層別被保険者数を年度別に示したものである。

年度別男女・年齢階層別国民健康保険被保険者数

単位：人

年齢階層	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性
0歳～4歳	116	52	64	104	60	44	104	53	51
5歳～9歳	174	101	73	180	101	79	146	75	71
10歳～14歳	171	78	93	180	95	85	191	102	89
15歳～19歳	237	112	125	211	95	116	194	86	108
20歳～24歳	173	92	81	177	89	88	173	101	72
25歳～29歳	168	88	80	149	77	72	149	81	68
30歳～34歳	281	154	127	269	149	120	232	126	106
35歳～39歳	397	237	160	368	223	145	343	200	143
40歳～44歳	445	262	183	464	277	187	461	275	186
45歳～49歳	484	272	212	460	255	205	470	250	220
50歳～54歳	630	337	293	610	334	276	616	348	268
55歳～59歳	715	338	377	655	321	334	646	335	311
60歳～64歳	1,526	691	835	1,357	617	740	1,238	556	682
65歳～69歳	3,130	1,455	1,675	2,892	1,326	1,566	2,583	1,186	1,397
70歳～74歳	3,137	1,337	1,800	3,348	1,481	1,867	3,736	1,669	2,067
合計	11,784	5,606	6,178	11,424	5,500	5,924	11,282	5,443	5,839
年齢階層	令和3年度			令和4年度					
	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性			
0歳～4歳	83	51	32	71	46	25			
5歳～9歳	142	70	72	109	53	56			
10歳～14歳	171	106	65	174	102	72			
15歳～19歳	171	76	95	169	80	89			
20歳～24歳	146	71	75	147	74	73			
25歳～29歳	132	68	64	133	69	64			
30歳～34歳	231	120	111	184	96	88			
35歳～39歳	319	185	134	320	187	133			
40歳～44歳	442	260	182	428	252	176			
45歳～49歳	463	260	203	463	272	191			
50歳～54歳	576	328	248	538	306	232			
55歳～59歳	632	345	287	640	337	303			
60歳～64歳	1,149	518	631	1,039	459	580			
65歳～69歳	2,450	1,122	1,328	2,293	1,055	1,238			
70歳～74歳	3,710	1,666	2,044	3,500	1,586	1,914			
合計	10,817	5,246	5,571	10,208	4,974	5,234			

出典：国保データベース（KDB）システム「人口及び被保険者の状況」

### 3. 医療基礎情報

以下は、本市の令和4（2022）年度における、医療基礎情報を示したものである。本市の医療機関受診率は816.0であり、秋田県と比較すると29.7ポイント高い。

また、一件当たり医療費は39,340円であり、秋田県より1,250円、3.1%低い。

外来・入院別にみると、外来・入院いずれも受診率（入院率）は秋田県より高く、一件当たり医療費は秋田県より低い。

#### 医療基礎情報（令和4年度）

医療項目	能代市	秋田県
受診率	816.0	786.3
一件当たり医療費(円)	39,340	40,590
一般(円)	39,340	40,590
退職(円)	0	51,540
外来		
外来費用の割合	58.5%	58.4%
外来受診率	792.7	763.6
一件当たり医療費(円)	23,680	24,410
一人当たり医療費(円) ※	18,770	18,640
一日当たり医療費(円)	17,160	17,720
一件当たり受診回数	1.4	1.4
入院		
入院費用の割合	41.5%	41.6%
入院率	23.3	22.7
一件当たり医療費(円)	571,970	585,450
一人当たり医療費(円) ※	13,330	13,280
一日当たり医療費(円)	34,470	33,560
一件当たり在院日数	16.6	17.4

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握

※一人当たり医療費…1か月分相当。

## 4. 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

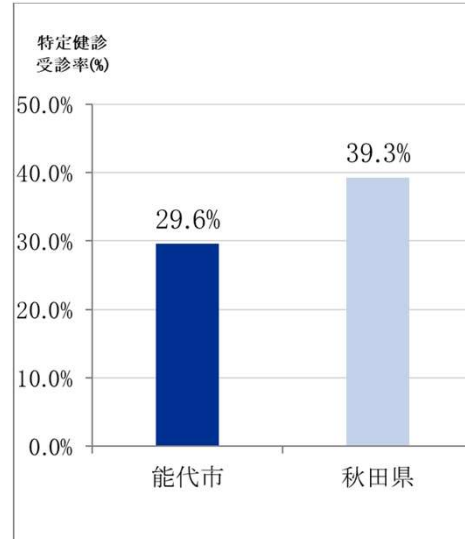
### (1) 特定健康診査

本市の令和4（2022）年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率は29.6%で、平成30年度の31.8%より2.2ポイント減少しており、秋田県より9.7ポイント低い。

特定健康診査受診率（令和4年度）

区分	特定健診受診率
能代市	29.6%
秋田県	39.3%

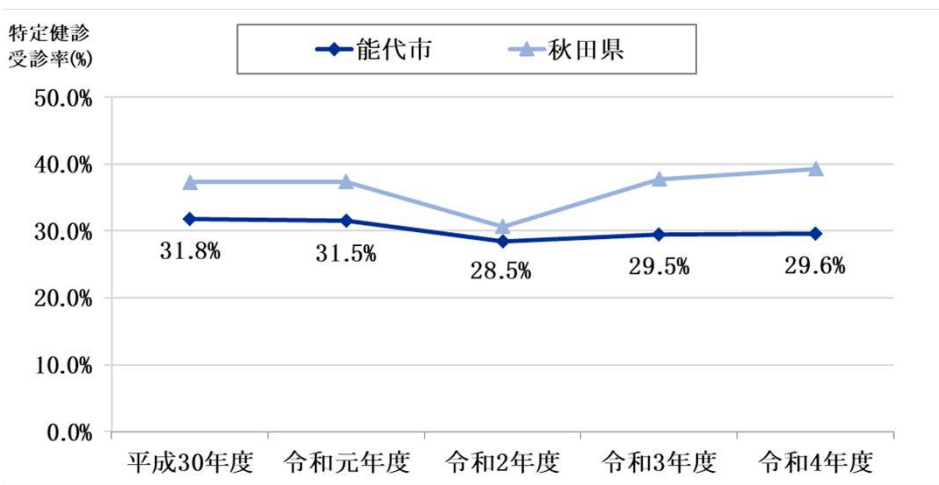
出典：法定報告



以下は、本市の平成30（2018）年度から令和4（2022）年度における、特定健康診査受診率を年度別に示したものである。令和2（2020）年度 of 受診率の減少は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が考えられる。

年度別 特定健康診査受診率

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
能代市	31.8%	31.5%	28.5%	29.5%	29.6%
秋田県	37.3%	37.4%	30.7%	37.8%	39.3%

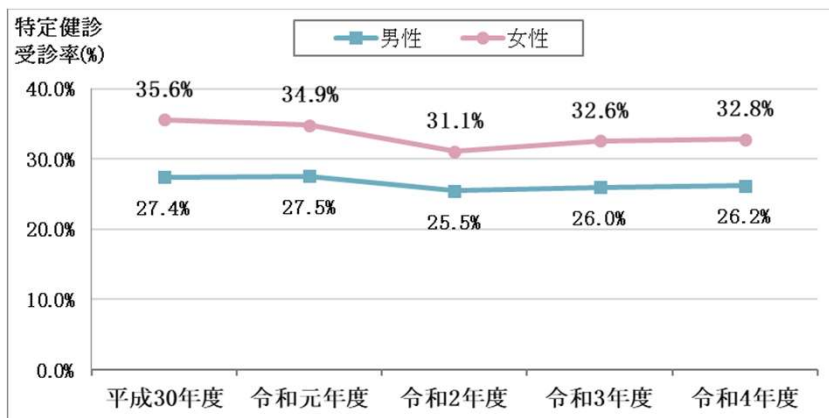


出典：法定報告

男女別の特定健康診査の受診率をみると、この5年間、女性の受診率が男性を上回っている。男性の令和4年度受診率26.2%は、平成30年度27.4%より1.2ポイント減少しており、女性の令和4年度受診率32.8%は、平成30年度35.6%より2.8ポイント減少している。

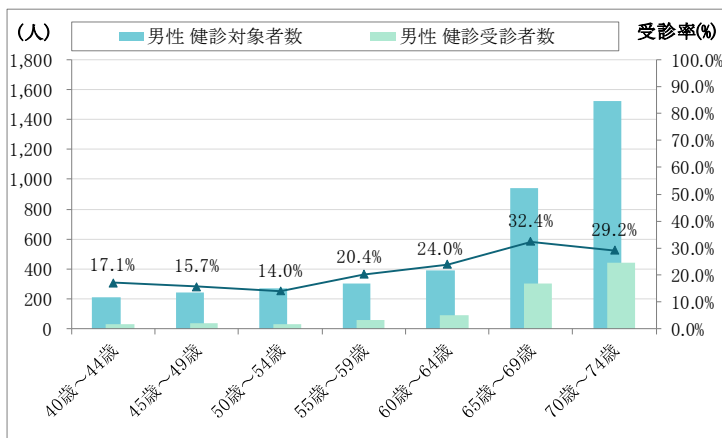
また、年齢別でみると、男女とも40～54歳の年齢層の受診率が特に低くなっている。

年度・男女別 特定健康診査受診率

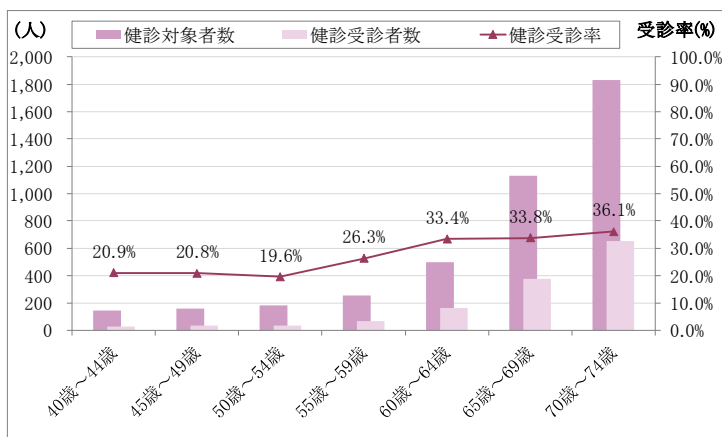


出典：法定報告

(男性)年齢別特定健康診査受診率(令和4年度)



(女性)年齢別特定健康診査受診率(令和4年度)



## (2) 特定保健指導

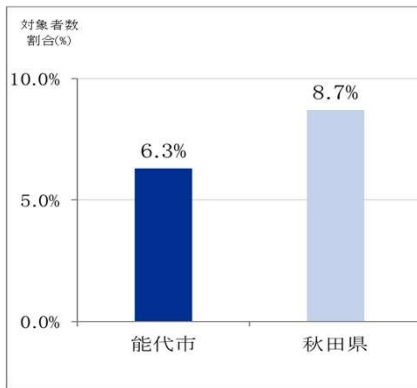
本市の令和4（2022）年度における特定保健指導の実施率は32.1%であり、秋田県よりも15.2ポイント高い。

### 特定保健指導実施状況（令和4年度）

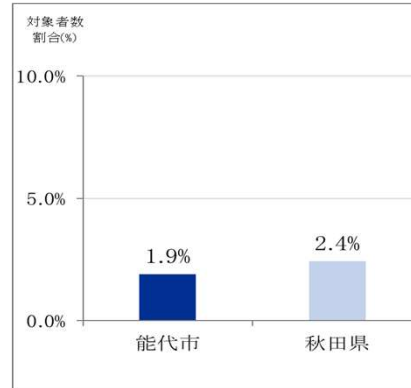
区分	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導実施率
能代市	6.3%	1.9%	8.2%	32.1%
秋田県	8.7%	2.4%	11.1%	16.9%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。  
出典：法定報告

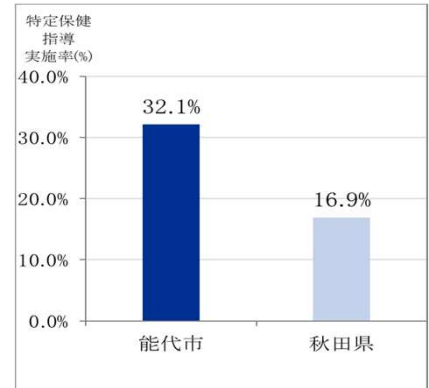
### 動機付け支援対象者数割合（令和4年度）



### 積極的支援対象者数割合（令和4年度）



### 特定保健指導実施率（令和4年度）

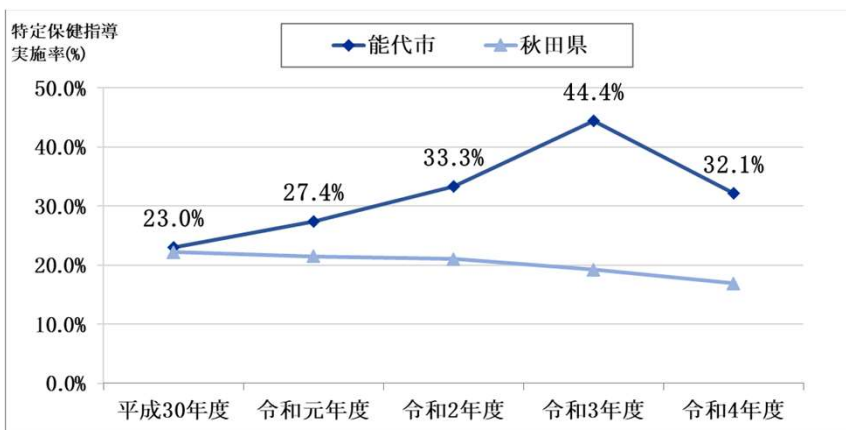


### 年度別 特定保健指導実施率

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
能代市	23.0%	27.4%	33.3%	44.4%	32.1%
秋田県	22.2%	21.5%	21.0%	19.2%	16.9%

左記は、本市の平成30（2018）年度から令和4年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示したものである。

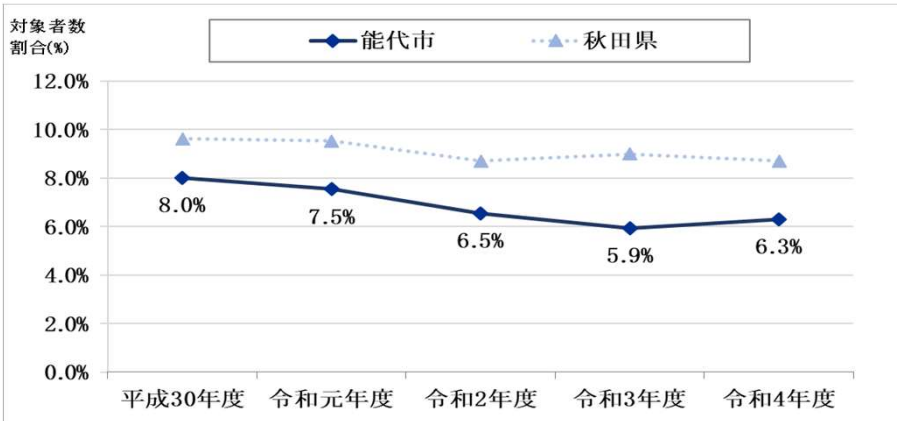
令和4年度の実施率は前年度と比較すると減少しているが、計画期間中、秋田県を上回っている。令和4年度の実施率32.1%は平成30年度23.0%より9.1ポイントと大幅に上昇しており、秋田県の2倍近い水準になっている。





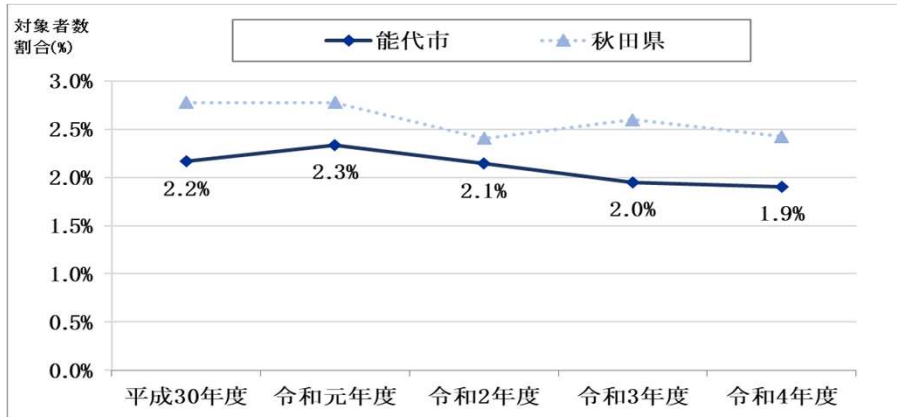
年度別 動機付け支援対象者数割合

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
能代市	8.0%	7.5%	6.5%	5.9%	6.3%
秋田県	9.6%	9.5%	8.7%	9.0%	8.7%



年度別 積極的支援対象者数割合

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
能代市	2.2%	2.3%	2.1%	2.0%	1.9%
秋田県	2.8%	2.8%	2.4%	2.6%	2.4%



動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。  
出典:法定報告

年度別 支援対象者数割合

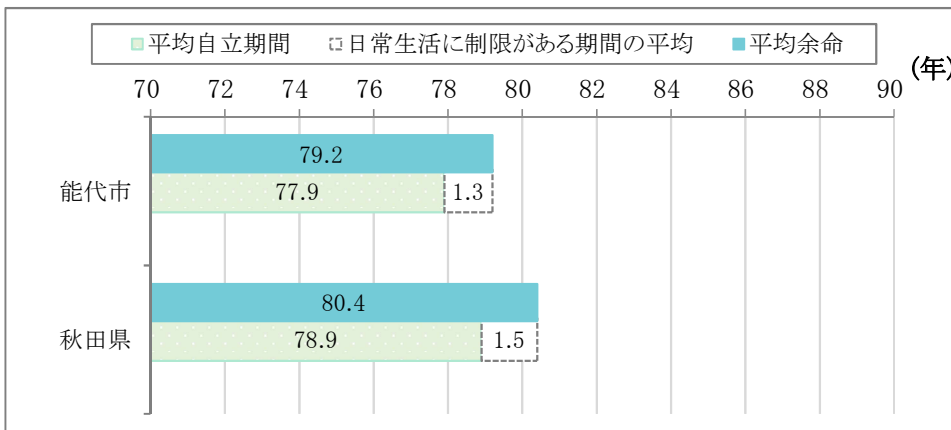
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
能代市	10.2%	9.9%	8.7%	7.9%	8.2%
秋田県	12.4%	12.3%	11.1%	11.6%	11.1%

## 5. 平均余命と平均自立期間

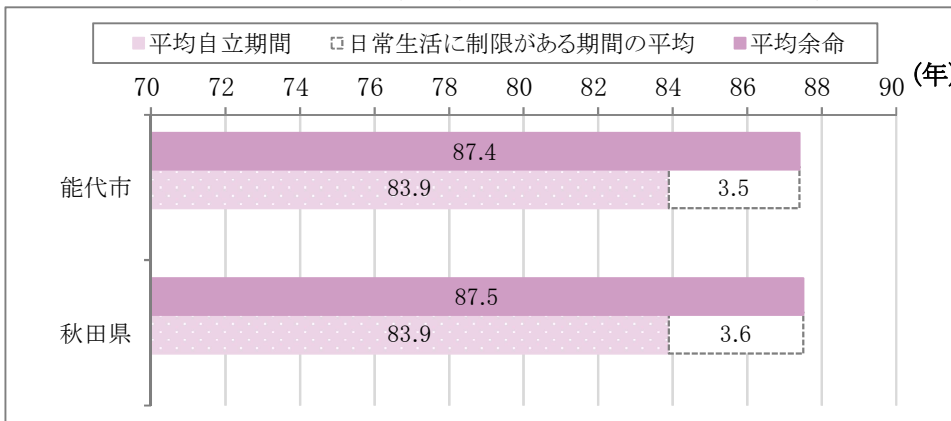
以下は、令和4（2022）年度における平均余命と平均自立期間の状況を示したものである。平均余命は、ある年齢の人々がある年齢の後に何年生きられるかという期待値を指し、ここでは0歳時点の平均余命を示している。また、平均自立期間は、要介護2以上になるまでの期間を「日常生活動作が自立している期間」としてその平均を算出したもので、健康寿命の指標の一つである。平均余命と平均自立期間の差は、日常生活に制限がある期間を意味している。

本市の男性の平均余命は79.2年で秋田県より1.2年短く、平均自立期間は77.9年で秋田県より1.0年短い。日常生活に制限がある期間の平均は1.3年で、秋田県の1.5年よりも短い。本市の女性の平均余命は87.4年で秋田県より0.1年短く、平均自立期間は83.9年で秋田県と同水準である。日常生活に制限がある期間の平均は3.5年で、秋田県の3.6年よりも短い。

(男性)平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均(令和4年度)

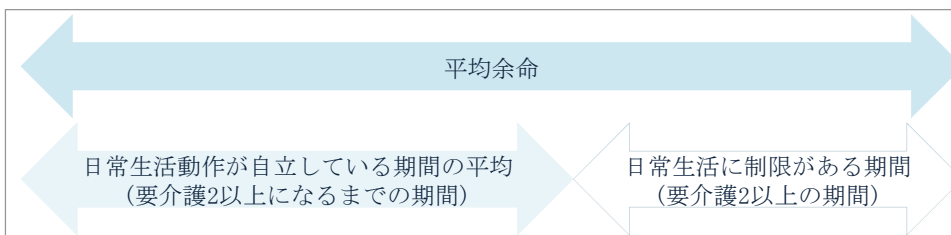


(女性)平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

【参考】平均余命と平均自立期間について



以下は、本市の平成30（2018）年度から令和4（2022）年度における平均余命と平均自立期間の状況を示したものである。

男性における令和4年度の平均自立期間77.9年は平成30年度76.8年から1.1年延伸している。

女性における令和4年度の平均自立期間83.9年は平成30年度82.9年から1年延伸している。

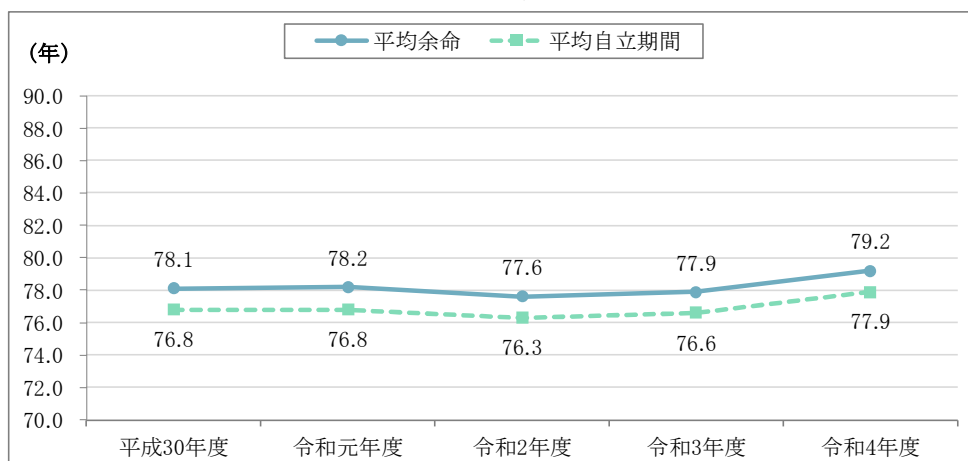
この影響もあって、男性の平均余命は1.1年延伸し、女性の平均余命は1.6年延伸している。

### 年度・男女別 平均余命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均

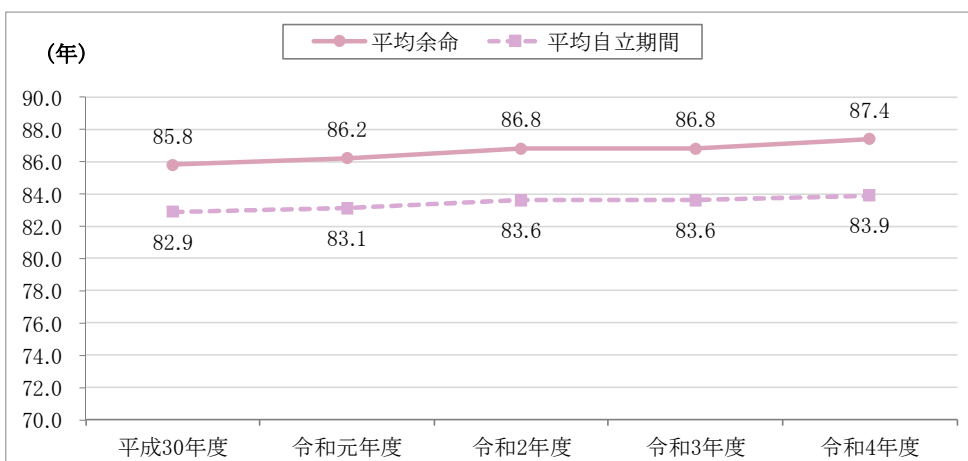
年度	男性			女性		
	平均余命(年)	平均自立期間(年)	日常生活に制限がある期間の平均(年)	平均余命(年)	平均自立期間(年)	日常生活に制限がある期間の平均(年)
平成30年度	78.1	76.8	1.3	85.8	82.9	2.9
令和元年度	78.2	76.8	1.4	86.2	83.1	3.1
令和2年度	77.6	76.3	1.3	86.8	83.6	3.2
令和3年度	77.9	76.6	1.3	86.8	83.6	3.2
令和4年度	79.2	77.9	1.3	87.4	83.9	3.5

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### (男性)年度別 平均余命と平均自立期間



### (女性)年度別 平均余命と平均自立期間



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 6. 介護保険の状況

### (1) 要介護(支援)認定状況

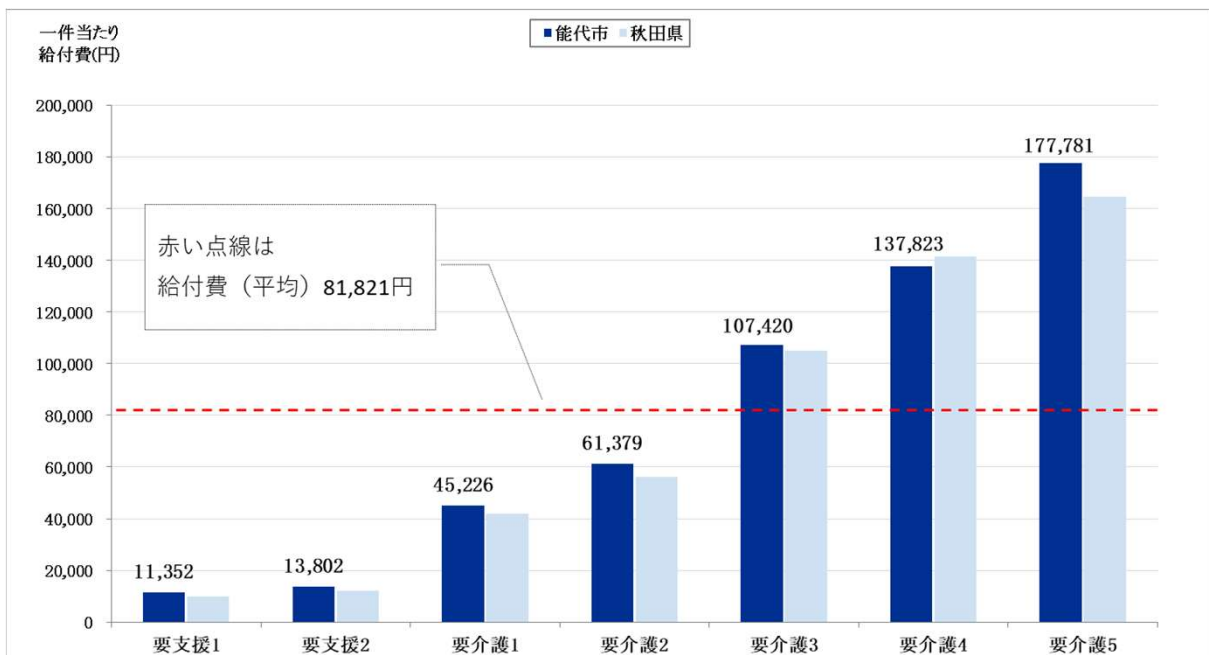
以下は、本市の令和4（2022）年度における、要介護(支援)認定率及び介護給付費等の状況を示したものである。認定率20.2%は秋田県より0.3ポイント低く、一件当たり給付費81,821円は秋田県より3.0%高い。一件当たり給付費は、要介護4以外で本市が秋田県よりも高くなっている。

要介護(支援)認定率及び介護給付費等の状況(令和4年度)

区分	能代市	秋田県
認定率	20.2%	20.5%
認定者数(人)	4,111	73,980
第1号(65歳以上)	4,049	72,642
第2号(40～64歳)	62	1,338
一件当たり給付費(円)		
給付費	81,821	79,448
要支援1	11,352	9,890
要支援2	13,802	11,925
要介護1	45,226	41,825
要介護2	61,379	56,239
要介護3	107,420	104,925
要介護4	137,823	141,522
要介護5	177,781	164,594

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

要介護度別 一件当たり介護給付費(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

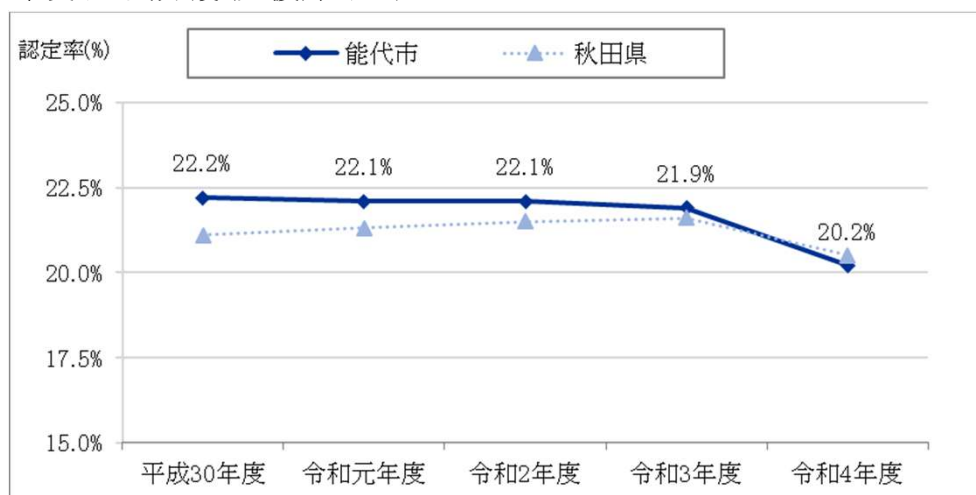
以下は、平成30（2018）年度から令和4（2022）年度における、要介護（支援）認定率及び認定者数を年度別に示したものである。令和4年度認定率20.2%は平成30年度22.2%より2.0ポイント減少している。減少幅は秋田県よりも大きく、平成30年度から令和3（2021）年度までは本市の認定率が秋田県を上回っていたが、令和4年度に大幅に低下した結果、本市の認定率が秋田県を下回った。

#### 年度別 要介護（支援）認定率及び認定者数

区分	認定率	認定者数(人)			
		第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)		
能代市	平成30年度	22.2%	4,598	4,521	77
	令和元年度	22.1%	4,573	4,495	78
	令和2年度	22.1%	4,585	4,511	74
	令和3年度	21.9%	4,405	4,328	77
	令和4年度	20.2%	4,111	4,049	62
秋田県	平成30年度	21.1%	74,345	72,853	1,492
	令和元年度	21.3%	75,620	74,174	1,446
	令和2年度	21.5%	75,529	74,152	1,377
	令和3年度	21.6%	75,269	73,884	1,385
	令和4年度	20.5%	73,980	72,642	1,338

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

#### 年度別 要介護（支援）認定率



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

## (2) 要介護(支援)認定者の疾病別有病状況

以下は、本市の令和4（2022）年度における、要介護(支援)認定者の疾病別有病率を示したものである。心臓病62.1%が第1位、筋・骨格56.5%が第2位、高血圧症55.8%が第3位である。上位3疾病は秋田県と同一であり、有病率はいずれも秋田県より高い。なお、国保データベース（KDB）による定義では心臓病に高血圧症及び高血圧性疾患が含まれている。

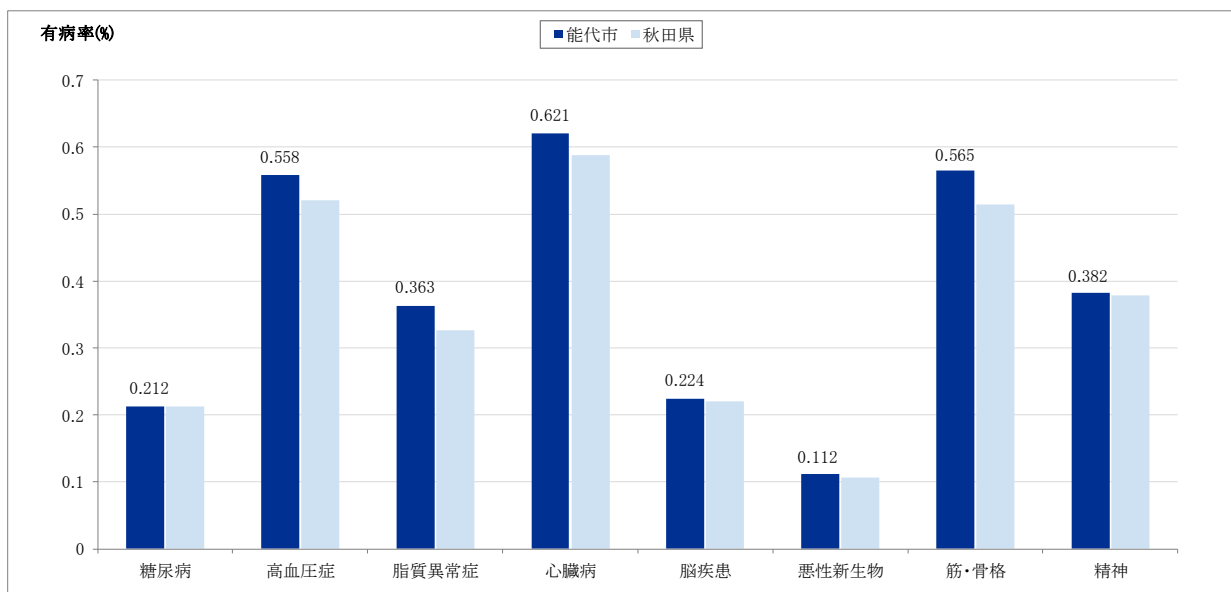
### 要介護(支援)認定者の疾病別有病状況(令和4年度)

区分		能代市	順位	秋田県	順位
認定者数(人)		4,111		73,980	
糖尿病	実人数(人)	887	7	15,993	7
	有病率	21.2%		21.3%	
高血圧症	実人数(人)	2,326	3	39,186	2
	有病率	55.8%		52.1%	
脂質異常症	実人数(人)	1,530	5	24,749	5
	有病率	36.3%		32.7%	
心臓病	実人数(人)	2,600	1	44,159	1
	有病率	62.1%		58.8%	
脳疾患	実人数(人)	893	6	16,300	6
	有病率	22.4%		22.1%	
悪性新生物	実人数(人)	497	8	8,137	8
	有病率	11.2%		10.7%	
筋・骨格	実人数(人)	2,386	2	38,892	3
	有病率	56.5%		51.4%	
精神	実人数(人)	1,623	4	28,474	4
	有病率	38.2%		37.8%	

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 要介護(支援)認定者の疾病別有病率(令和4年度)



出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

以下は、本市の平成30（2018）年度から令和4（2022）年度における、要介護（支援）認定者の疾病別有病率を年度別に示したものである。上位3疾病は平成30年度と比較すると、有病率がいずれも上昇している。

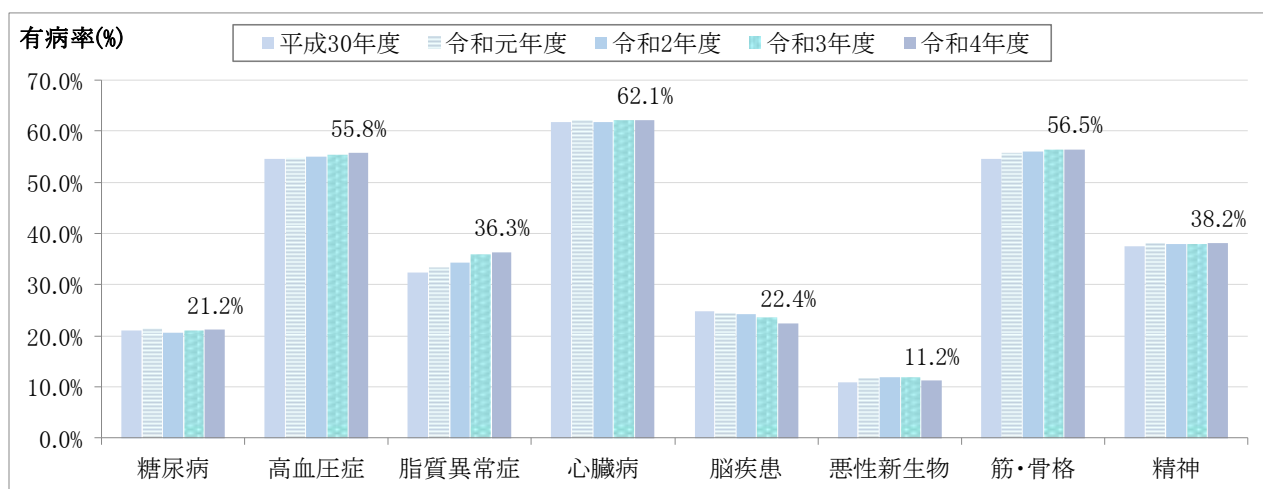
### 年度別 要介護（支援）認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分	平成30年度	順位	令和元年度	順位	令和2年度	順位	令和3年度	順位	令和4年度	順位
認定者数(人)	4,598		4,573		4,585		4,405		4,111	
糖尿病	実人数(人)	970	987	976	967	887				
	有病率(%)	21.1%	21.4%	20.7%	21.1%	21.2%				
高血圧症	実人数(人)	2,493	2,524	2,600	2,496	2,326				
	有病率(%)	54.6%	54.9%	55.0%	55.5%	55.8%				
脂質異常症	実人数(人)	1,492	1,537	1,689	1,618	1,530				
	有病率(%)	32.4%	33.3%	34.4%	35.9%	36.3%				
心臓病	実人数(人)	2,806	2,869	2,930	2,782	2,600				
	有病率(%)	61.7%	62.1%	61.7%	62.1%	62.1%				
脳疾患	実人数(人)	1,125	1,114	1,139	1,030	893				
	有病率(%)	24.8%	24.4%	24.1%	23.7%	22.4%				
悪性新生物	実人数(人)	527	555	598	533	497				
	有病率(%)	10.9%	11.7%	11.8%	11.8%	11.2%				
筋・骨格	実人数(人)	2,492	2,627	2,654	2,552	2,386				
	有病率(%)	54.6%	55.8%	56.0%	56.5%	56.5%				
精神	実人数(人)	1,739	1,759	1,815	1,705	1,623				
	有病率(%)	37.5%	38.2%	37.9%	37.9%	38.2%				

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 要介護（支援）認定者の疾病別有病率



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

## 7. 死亡の状況

本市の令和4（2022）年度の標準化死亡比（※）は、男性118.0、女性105.3となっており、男性は秋田県よりも9.3ポイント高く、女性は秋田県よりも0.2ポイント低くなっている。

※標準化死亡比：基準死亡率（人口10万対の死亡数）を対象地域に当てはめた場合に、計算により求められる期待される死亡数と実際に観察された死亡数とを比較するもので、我が国の平均を100としている。

### 男女別 標準化死亡比(令和4年度)

	能代市	秋田県
男性	118.0	108.7
女性	105.3	105.5

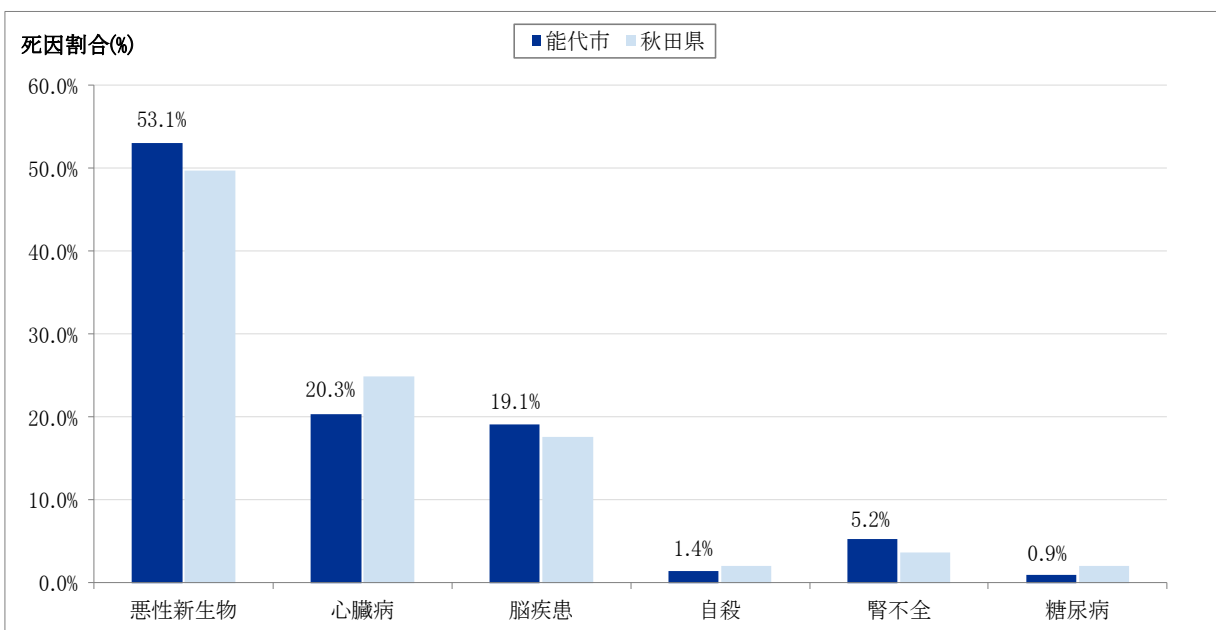
出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

### 主たる死因の状況(令和4年度)

疾病項目	能代市		秋田県
	人数(人)	割合(%)	
悪性新生物	225	53.1%	49.7%
心臓病	86	20.3%	24.9%
脳疾患	81	19.1%	17.6%
自殺	6	1.4%	2.1%
腎不全	22	5.2%	3.6%
糖尿病	4	0.9%	2.1%
合計	424		

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

### 主たる死因の割合(令和4年度)



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」



本市の平成30（2018）年度から令和4（2022）年度における標準化死亡比は、男女共に増加傾向にある。

### 年度・男女別 標準化死亡比

区分	男性					女性				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
能代市	115.9	115.9	115.9	118.0	118.0	98.9	98.9	98.9	105.3	105.3
秋田県	109.6	109.6	109.6	108.7	108.7	104.2	104.2	104.2	105.5	105.5

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

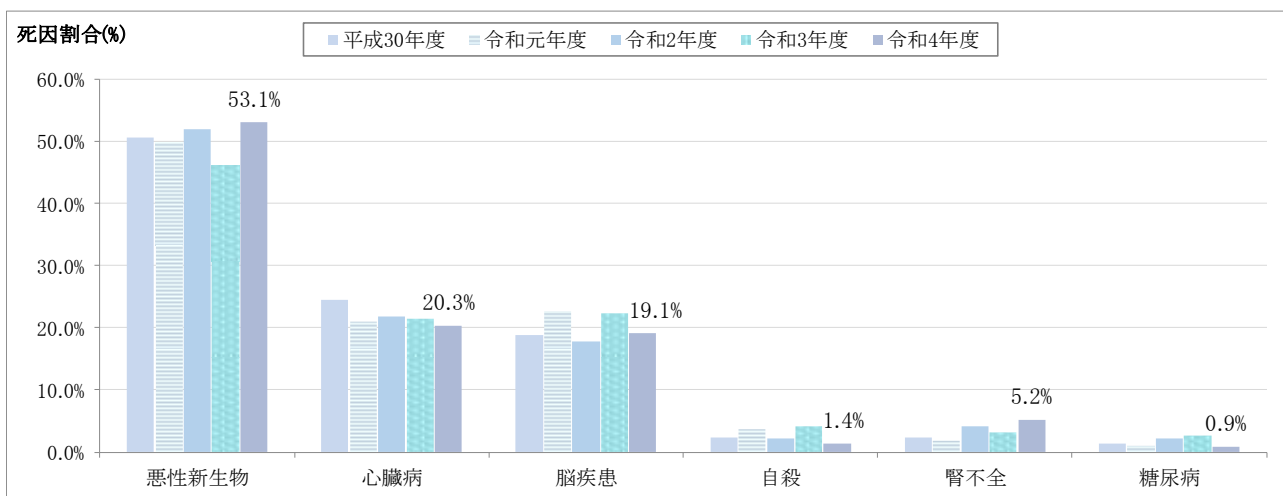
主たる死因の状況について、令和4年度を平成30年度と比較すると、人口総数が6.6%減少している中で死亡者数は144人、25.4%減少している。悪性新生物を死因とする人数225人は平成30年度288人より63人減少、心臓病を死因とする人数は53人減少、脳疾患を死因とする人数は26人減少している。一方で、腎不全を死因とする人数は増加しており、注意が必要である。

### 年度別 主たる死因の状況

疾病項目	人数(人)					割合(%)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
悪性新生物	288	261	288	228	225	50.7%	49.8%	51.9%	46.2%	53.1%
心臓病	139	110	121	106	86	24.5%	21.0%	21.8%	21.5%	20.3%
脳疾患	107	119	99	110	81	18.8%	22.7%	17.8%	22.3%	19.1%
自殺	13	19	12	20	6	2.3%	3.6%	2.2%	4.1%	1.4%
腎不全	13	10	23	16	22	2.3%	1.9%	4.1%	3.2%	5.2%
糖尿病	8	5	12	13	4	1.4%	1.0%	2.2%	2.6%	0.9%
合計	568	524	555	493	424					

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 主たる死因の割合



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

## 第3章 過去の取り組みの考察

### 1. 第2期データヘルス計画全体の評価

以下は、第2期データヘルス計画全般に係る評価として、全体目標及びその達成状況について示したものである。

全体目標	被保険者一人ひとりが自分の健康課題を正しく理解し、主体的に生活習慣の見直しや健康づくりに取り組むことができるようになること、生活習慣病等の発症や重症化を抑制すること、医療費の適正化を図ること ①健康管理意識の向上 ②生活習慣病等の発症・重症化予防 ③医療費の適正化
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価指標	第2期計画 策定時目標値 H30(2018)年度	実績		評価・考察 (成功・未達要因)
		中間評価時点 R2(2020)年度	現状値 R4(2022)年度	
からだが健康だと思 う市民の割合	70.0%	63.6%	60.1%	計画策定時より改善しているが、R4年度は初めて減少に転じた。事業は実施できているが、健康無関心層を含め広く市民への働きかけが必要と思われる。
特定保健指導による 特定保健指導対象者 の減少率	-	9.9%	20.5%	減少率にばらつきはあるが、特定保健指導対象者の割合は減少傾向である。効果的な保健指導を実施することで対象者の減少を図っていきたい。 (第3期計画から評価指標としたため記載)
がん死亡率	400.0	-	559.1 (R3)	死亡率の上昇、低下を繰り返しており、県全体でも上昇傾向である。高齢者はがんにかかりやすくなるという統計もあり、死亡率が上昇しているのは高齢化社会によるものとも捉えられる。市民の健康づくりへの関心を高め、がんの予防、早期発見に取り組んでいくことで、死亡率の減少を図っていきたい。 (能代市) H27 462.3, H28 534.9, H29 493.8, H30 555.7, R1 448.34, R2 450.3 (県) H27 408.3, H28 421.3, H29 413.2, H30 424.0, R1 431.8, R2 432.9

評価指標	第2期計画 策定時目標値 H30(2018)年度	実績		評価・考察 (成功・未達要因)
		中間評価時点 R2(2020)年度	現状値 R4(2022)年度	
収縮期血圧の平均値	男性127.3 女性122.1	男性133.3 女性128.8	男性132.8 女性130.7	計画期間を通じて、男性は令和元年度をピークに低下しているが、女性はバラつきがあるものの概ね横ばいとなっている。
糖尿病有病者	5.8%	14.4% (R3.3月時点)	14.4% (R5.3月時点)	目標値に達していないが、中間評価時点より有病者割合は横ばいである。
糖尿病性腎症重症化予防指導実施完了者のうち人工透析導入者数	0人	0人	0人	目標値に達しており、引き続き取り組んでいく。
ジェネリック医薬品の普及率	80.0%	76.5%	78.5%	目標値に達していないが普及率は毎年上昇しており、引き続き取り組んでいく。

## 2. 各事業の達成状況

以下は、第2期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を示したものである。全13事業のうち、目標達成した事業は0事業であるが、改善している事業は5事業で、良好な状況であると考えられる。残りの8事業が横ばいとなっている。

事業名	実施年度	事業目的	実施内容
健康相談	平成30年度 (2018) ～ 令和5年度 (2023)	健康不安を解消、 健康に対する理解向上	健康相談
健康教育	平成30年度 ～ 令和5年度	健康づくりの推進	健康教育
特定健診事業	平成30年度 ～ 令和5年度	生活習慣病の発症予防	特定健診の実施
特定健診対策事業	平成30年度 ～ 令和5年度	特定健診の受診率向上	特定健診受診勧奨
			事業主健診結果受領
			診療検査結果情報提供

5:目標達成  
4:改善している  
3:横ばい  
2:悪化している  
1:評価できない

アウトプット…実施量、実施率を評価 / アウトカム…事業の成果を評価

評価指標 (上段：アウトプット、下段：アウトカム)	第2期計画 策定時目標値 H30(2018)年度	中間評価時点 R2(2020)年度	達成状況 R4(2022)年度	評価
実施率	100%	100%	100%	4
からだが健康だと思う市民の割合	短:前年度比2%増加 中長:70.0%	63.6%	60.1%	
実施回数	各地区1回/年 学校2回/年	各地区1~6回/年 学校1回/年	各地区3~6回 学校1回/年	4
からだが健康だと思う市民の割合	短:前年度比2%増加 中長:70.0%	63.6%	60.1%	
通知率	100%	100%	100%	3
受診率	短:H30 35.0% 毎年5%増加 中長:60.0%	28.5% (R2法定報告)	29.6% (R4法定報告)	
①(文書勧奨)送付した人のうち、受診者の割合 ②(訪問勧奨)訪問した人のうち、受診者の割合 ③(電話勧奨)電話した人のうち、受診者の割合	①前年度比5%増加 ②前年度比5%増加 ③前年度比5%増加	①18.2% ②24.9% ③19.7%	①18.4% ②15.4% ③17.9%	3
①受診率 ②③過去3年未受診者が受診した割合	①H30 35.0% 毎年5%増加 ②③8.5%	①28.5% (R2法定報告) ②③6.9%	①29.6% (R4法定報告) ②③6.2%	
①新規対象事業主への同意依頼率 ②同意依頼(個人)	①100% ②実施	①100% ②実施	①対象事業主なし ②実施	
①受領件数(保健センター分) ②受領件数(個人)	①80件 ②短:毎年5件増加 中長:50件	①73件 ②34件	①79件 ②20件	
通知率(医療機関への通知数)	100%	100%	100%	
受領件数	短:毎年22件増加 中長:130件	19件	24件	

事業名	実施年度	事業目的	実施内容
特定保健指導事業	平成30年度 (2018) ～ 令和5年度 (2023)	生活習慣病の発症予防	特定保健指導の実施
健康診査助成事業	平成30年度 ～ 令和5年度	がん検診の受診率向上、 健診の習慣付け	がん検診及び39歳以下一般健診の助成
健診異常値放置者 受診勧奨事業	平成30年度 ～ 令和4年度	生活習慣病の発症予防	医療機関受診勧奨
栄養学習減塩指導	平成30年度 ～ 令和5年度	健康づくりの推進	調理実習等
禁煙教室	平成30年度 ～ 令和5年度	喫煙率の減少	禁煙学習
糖尿病性腎症重症化 予防事業	平成30年度 ～ 令和5年度	糖尿病(腎臓機能)の重症化 予防	糖尿病の重症化予防のための保健指導 (治療中の患者への保健指導)

評価指標 (上段：アウトプット、下段：アウトカム)	第2期計画 策定時目標値 H30(2018)年度	中間評価時点 R2(2020)年度	達成状況 R4(2022)年度	評価
通知率	100%	100%	100%	4
実施率	短:H30 35.0% 毎年5%増加 中長:60.0%	33.3% (R2法定報告)	32.1% (R4法定報告)	
案内通知	実施	実施	実施	3
助成実績	短:前年度比4%増加 中長:H30比20%増加	2,966人 12件		
がん検診受診率	胃50.0% 大腸50.0% 肺50.0% 子宮頸50.0% 乳50.0%	胃12.3% 大腸14.5% 肺15.7% 子宮頸14.7% 乳17.7%	胃16.7% 大腸16.9% 肺18.5% 子宮頸18.4% 乳27.6%	
通知率	100%	100%	100%	4
健診異常値放置者数	短:前年度比4%減少 中長:20.0%減	154人	143人	
実施回数	各地区1回/年	各地区1~2回/年	10回 各地区1~2回	3
からだが健康だと思う市民の割合	短:前年度比2%増加 中長:70.0%	63.6%	60.1%	
実施回数	年1回	年1回	年1回	3
喫煙率	中長:10.0%	21.9%	21.4%	
指導対象者の指導実施率	20.0%	2.10%	6.9%	3
指導実施完了者の生活習慣改善率	70.0%	100.0%	82.1%	
指導実施完了者の検査値改善率	70.0%	50.0%	-	
指導実施完了者のうち人工透析導入者数	0人	0人	0人	

事業名	実施年度	事業目的	実施内容
生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	平成30年度 (2018) ～ 令和4年度 (2022)	生活習慣病治療中断者の減少	医療機関受診勧奨 (文書による勧奨)
受診行動適正化指導事業 (重複受診、頻回受診、重複服薬)	平成30年度 ～ 令和5年度 (2023)	適正な医療受診	適正な受診のための保健指導 (電話・訪問)
ジェネリック医薬品差額通知事業	平成30年度 ～ 令和5年度	ジェネリック医薬品の普及率向上	差額通知と希望シールの配布



評価指標 (上段：アウトプット、下段：アウトカム)	第2期計画 策定時目標値 H30(2018)年度	中間評価時点 R2(2020)年度	達成状況 R4(2022)年度	評価
通知率	100%	100%	100%	4
生活習慣病治療中断者数	-	54人	49人	
指導対象者の指導実施率	20.0%	45.5%	66.7%	3
指導実施完了者の受診行動適正化率	重複 50.0% 頻回 50.0% 服薬 50.0%	重複 0.0% 頻回 80.0% 服薬 0.0%	重複 0.0% 頻回 100.0% 服薬 100.0%	
指導実施完了者の医療費減額率	重複 50.0% 頻回 50.0% 服薬 50.0%	重複 0.0% 頻回 15.2% 服薬 0.0%	重複 0.0% 頻回 17.6% 服薬 0.0%	
重複・頻回受診者数、重複服薬者数	H30比20%減少	69人	76人	
切替率	10.0%	28.5%	17.7%	3
普及率(数量ベース)	短:前年度比4%増加 中長:80.0%	76.5%	78.5%	

## 健康相談

事業目的	健康不安を解消、健康に対する理解向上
対象者	市民
事業実施年度	平成30(2018)年度～令和5(2023)年度
実施内容	健康相談 電話やイベント等で、健康に関する相談を実施

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：実施率

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

アウトカム：からだ健康だと思う市民の割合

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	62.0%	64.0%	66.0%	68.0%	70.0%	短:前年度比 2%増加 中長:70.0%
達成状況	56.6%	60.0%	61.8%	63.6%	63.7%	60.1%	

### 【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

電話や健診受診時等の機会を活用して随時実施した。また、健康展などのイベント等でも健康相談、栄養相談、歯科相談等各相談を実施した。

<b>事業全体の評価</b> 5：目標達成 <b>4：改善している</b> 3：横ばい 2：悪化している 1：評価できない	<b>考察</b> (成功・未達要因)	事業は継続して実施できていたが、健康だと思う人の割合が令和4年度で初めて減少に転じ、目標は未達成となっている。新型コロナウイルス感染症による影響も考えられるが、引き続き、事業を継続しながら、健康無関心層を含め広く働きかけができるように検討する。
	<b>今後の方向性</b>	今後も随時、電話、来所等の健康相談に応じるほか、イベント等で広く市民の相談に応じ、健康不安の解消や健康的な生活習慣が実行できるよう支援する。

## 健康教育

事業目的	健康づくりの推進
対象者	市民
事業実施年度	平成30(2018)年度～令和5(2023)年度
実施内容	<p>健康教育 依頼があった学校で健康教育(出前講座)を実施、各地区<sup>(※)</sup>でウォーキング、ヨガ等運動学習等実施</p> <p>※能代市健康推進員協議会の地区区分は、能代地域10地区、二ツ井地域7地区に分かれており、この地区ごとに活動している。</p>

### 【アウトプット・アウトカム評価】

#### アウトプット：実施回数(学校)

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値		2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
達成状況	2回/年	0回	0回	1回	1回	1回	11月1回 実施予定

#### アウトプット：実施回数(地区)

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値		各地区1回/年	各地区1回/年	各地区1回/年	各地区1回/年	各地区1回/年	各地区1回/年
達成状況	各地区1回/年	177回 各地区1～2回	149回 各地区1～2回	116回 各地区1～6回	80回 各地区1～6回	121回 各地区3～6回	

#### アウトカム：からだ健康だと思う市民の割合

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値		62.0%	64.0%	66.0%	68.0%	70.0%	短:前年度比 2%増加 中長:70.0%
達成状況	56.6%	60.0%	61.8%	63.6%	63.7%	60.1%	

### 【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

地区健康教育は、健康推進員の意見を取り入れながら、栄養・運動・心の健康づくり等をテーマに実施した。

<b>事業全体の評価</b>	5：目標達成 <b>4：改善している</b> 3：横ばい 2：悪化している 1：評価できない	<p><b>考察</b> (成功・未達要因)</p> <p>地区健康教育は目標どおり実施できたが、健康だと思ふ人の割合が令和4年度で初めて減少に転じ、目標は未達成となっている。新型コロナウイルス感染症による影響も考えられるが、引き続き、事業を継続しながら、健康無関心層を含め広く働きかけができるように検討する。</p>
	<p><b>今後の方向性</b></p> <p>引き続き、地区健康教育は健康推進員と協力しながら実施する。</p>	

## 特定健診事業

事業目的	生活習慣病の発症予防
対象者	被保険者(40～74歳)
事業実施年度	平成30(2018)年度～令和5(2023)年度
実施内容	特定健診の実施 直営及び委託により実施

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：通知率

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況	100% (10,769人)	100%	100%	100%	100%	100%	

アウトカム：受診率（法定報告）

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	短：毎年5%増加 中長：60.0%
達成状況	28.8%	31.8%	31.5%	28.5%	29.5%	29.6%	

### 【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診実施機関は、保健センター(直営)、能代厚生医療センター・JCHO秋田病院・秋田県総合保健事業団・個別医療機関(委託)。</li> <li>・年度当初に対象者に対し、特定健診受診券と通知を同封して送付したほか、11月には当該年度未受診者に対して通知とパンフレットを送付し、受診勧奨を行った。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<b>事業全体の評価</b> 5：目標達成 4：改善している <b>3：横ばい</b> 2：悪化している 1：評価できない	<b>考察</b> (成功・未達要因) コロナ禍による受診控え等があったことに対して受診率の推移を評価することは難しいが、実績の推移をみると概ね「横ばい」である。
	<b>今後の方向性</b> 受診率の目標値は実態に即した数値に設定し、引き続き受診率向上につなげられるよう取り組んでいく。

## 特定健診対策事業

事業目的	特定健診の受診率向上
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診勧奨:①当年度未受診者 ②生活習慣病治療中でない前年度未受診者及び当年度40歳になる人 ③訪問勧奨で受診検討とした人</li> <li>事業主健診結果受領:事業主健診受診者</li> <li>診療検査結果情報提供:生活習慣病等治療中の当年度未受診者</li> </ul>
事業実施年度	平成30(2018)年度～令和5(2023)年度
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診勧奨:①文書勧奨 ②訪問勧奨 ③電話勧奨</li> <li>事業主健診結果受領:①保健センター受診分について事業主同意によりデータ受領 ②広報、ホームページ、訪問勧奨等で案内</li> <li>同意により個人から結果受領</li> <li>診療検査結果情報提供:個人同意により委託実施機関から特定健診と同じ診療検査結果を受領</li> </ul>

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット(受診勧奨)：①送付した人のうち、受診者の割合

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値		22.8%	27.8%	32.8%	37.8%	42.8%	前年度比5%増加
達成状況	12.8%	19.5%	17.9%	18.2%	17.3%	18.4%	

アウトプット(受診勧奨)：②訪問した人のうち、受診者の割合

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値		16.2%	21.2%	26.2%	31.2%	36.2%	前年度比5%増加
達成状況	11.2%	16.1%	21.9%	24.9%	17.5%	15.4%	

アウトプット(受診勧奨)：③電話した人のうち、受診者の割合

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値		16.1%	21.1%	26.1%	31.1%	36.1%	前年度比5%増加
達成状況	11.1%	未実施	19.5%	19.7%	20.0%	17.9%	

アウトカム(受診勧奨)：①受診率(法定報告)

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	毎年5%増加
達成状況	28.8%	31.8%	31.5%	28.5%	29.5%	29.6%	

アウトカム(受診勧奨)：②③過去3年未受診者が受診した割合

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	8.5%	8.5%	8.5%	8.5%	8.5%	8.5% H28比20%増加
達成状況	7.1%	8.7%	6.9%	6.9%	6.4%	6.2%	

アウトプット(事業主健診)：①新規対象事業主への同意依頼率

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況	100% (8,189人)	50.0%	100%	100%	100%	対象なし	

アウトプット(事業主健診)：②個人への同意依頼

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	実施	実施	実施	実施	実施	実施
達成状況	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施

アウトカム(事業主健診)：①保健センター分受領件数

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	80件	80件	80件	80件	80件	80件
達成状況	82件	80件	82件	73件	81件	79件	

アウトカム(事業主健診)：②個人分受領件数

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	25件	30件	35件	40件	45件	短：毎年5件増加 中長：50件
達成状況	22件	36件	31件	34件	19件	20件	

アウトプット(診療検査結果情報提供)：通知率(医療機関への通知数)

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

アウトカム(診療検査結果情報提供)：受領件数

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	22件	44件	66件	88件	110件	短:毎年22件 増加 中長:130件
達成状況	7件	36件	20件	19件	17件	24件	

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

- ・訪問勧奨員により若年層(40, 41, 42歳)や50～70歳まで5歳ごとを対象に勧奨を行ったほか、委託先により過去に未受診だった者に対して文書勧奨を行った。
- ・事業主健診結果に関して、保健センターからの情報を元に新規事業所に健診結果の情報提供依頼をした。
- ・診療検査結果については、医療機関に対し年2回、提供依頼の文書を送付し、協力をお願いした。

事業全体の評価	5：目標達成 4：改善している <b>3：横ばい</b> 2：悪化している 1：評価できない	<b>考察</b> (成功・未達 要因) 目標に達していないが、実績の推移をみると概ね「横ばい」である。
		<b>今後の方向性</b> 引き続き、訪問勧奨員による勧奨等や委託業者による文書勧奨を行いながら、これまでの取り組みの見直しを図り、また、関係機関等の協力をいただき、受診率向上につなげられるよう取り組んでいく。



## 特定保健指導事業

事業目的	生活習慣病の発症予防
対象者	特定保健指導対象者(40～74歳)
事業実施年度	平成30(2018)年度～令和5(2023)年度
実施内容	特定保健指導の実施 直営及び委託により実施。文書、電話等による利用勧奨も実施

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット…実施量、実施率を評価

アウトプット：保健センター通知率(動機付け支援) ※R3～市民保険課通知

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況	100% 112通	82.2%	98.1%	100%	100%	100%	

アウトプット：保健センター通知率(積極的支援) ※R3～市民保険課通知 アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成状況	100% 31通	84.8%	91.4%	100%	100%	100%	

アウトカム：実施率

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	短：毎年5%増加 中長：60.0%
達成状況	24.5%	23.0%	27.4%	33.3%	44.4%	32.1%	

### 【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

#### 【ストラクチャー】

保健指導は市民保険課・管理栄養士1名と保健師1名、保健センター(直営)では健診当日の保健指導・分割実施を健康づくり課・管理栄養士1名が行っている。(※子育て支援課・管理栄養士、市民福祉課・保健師も保健指導を行う場合あり。)

また、能代厚生医療センターとJCHO秋田病院で特定健診を受診した方の保健指導は各医療機関に委託している。

#### 【プロセス】

健診当日の保健指導は前年度特定保健指導該当者やリスクの高い者を対象に実施。その他は保健指導の案内を郵送し、参加の返信があった者に実施。

<b>事業全体の評価</b>	5: 目標達成 <b>4: 改善している</b> 3: 横ばい 2: 悪化している 1: 評価できない	<b>考察</b> (成功・未達要因)	目標値に達していないが、実施率は上昇傾向にある。要因として、健診当日に初回面接を行い、分割実施の体制ができていて保健指導利用者が増加したことが考えられる。
	<b>今後の方向性</b>	継続して健診当日の保健指導・分割実施を行う。しかし、現在は保健指導を担当する専門職が管理栄養士1名で不在時は実施できない現状である。専門職を増やすことで実施率の維持・上昇が期待できる。また、働く世代に配慮した保健指導(休日や夜間、ICTの利用)を行うことで実施率の向上が期待できると考える。	

## 健康診査助成事業

事業目的	がん検診の受診率向上、健診の習慣付け
対象者	被保険者(19～69歳)
事業実施年度	平成30(2018)年度～令和5(2023)年度
実施内容	がん検診及び39歳以下一般健診の助成 衛生部門で実施しているがん検診の個人負担分と一般健診の健診料を助成

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：案内通知

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	実施	実施	実施	実施	実施	実施
達成状況	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施

アウトカム：助成実績(がん検診)

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	3,748件	3,593件	3,652件	3,696件	3,652件	短:前年度比 4%増加 中長:H28比 20%増加
達成状況	4,068件	4,186件	3,112件	2,966件	2,867件	2,530件	

アウトカム：助成実績(一般健診)

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	26件	25件	25件	25件	25件	短:前年度比 4%増加 中長:H28比 20%増加
達成状況	28件	26件	19件	12件	13件	18件	

アウトカム：胃がん検診受診率

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
達成状況	16.6%	17.6%	14.0%	12.3%	17.8%	16.7%	

アウトカム：大腸がん検診受診率

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
達成状況	22.1%	19.8%	19.5%	14.5%	17.1%	16.9%	

アウトカム：肺がん検診受診率

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
達成状況	26.1%	20.9%	21.2%	15.7%	18.8%	18.5%	

アウトカム：子宮頸がん検診受診率

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
達成状況	32.9%	17.9%	13.4%	14.7%	18.5%	18.4%	

アウトカム：乳がん検診受診率

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
達成状況	36.1%	20.9%	16.3%	17.7%	27.1%	27.6%	

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

- ・費用軽減対策としてがん検診ごとに年齢による無料クーポン券を配布。
- ・受診環境づくりの一環として日曜がん検診、午後の乳がん検診を実施。

事業全体の評価	5：目標達成 4：改善している <b>3：横ばい</b> 2：悪化している 1：評価できない	<b>考察</b> (成功・未達要因) 近年、受診率が減少しているがん検診については、新型コロナウイルス感染症の影響もあったと考えられる。県内13市の中での受診率は、例年、上位の方であるため、引き続き受診勧奨などの取り組みを進めていく。
		<b>今後の方向性</b> 現在行っている取り組みは継続しながら、がん検診を受診するきっかけとして、国・県等の情報等を参考に「無関心層」に働きかける手法やメッセージの発信等による取り組みを進めていく。

## 健診異常値放置者受診勧奨事業

事業目的	生活習慣病の発症予防
対象者	健診異常値放置者(40～74歳)
事業実施年度	平成30(2018)年度～令和4(2022)年度
実施内容	医療機関受診勧奨 通知により実施。通知後に受診がない対象者にはフォローを行う

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：通知率

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	100%	100%	100%	100%	100%	-
達成状況	150人	100%	100%	100%	100%	100%	-

アウトカム：健診異常値放置者数

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	184人	177人	166人	155人	141人	-
達成状況	217人	200人	191人	154人	139人	143人	-

### 【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

- ・委託先と市民保険課担当により対応し、糖尿病・心臓血管病のリスクと過去3年分の検査値のレーダーチャート等による受診勧奨通知を対象者に送付した。
- ・9月受診分のレセプトで受診の有無等を確認、未受診者に電話でフォローアップを実施した。

事業全体の評価	5：目標達成	考察 (成功・未達要因)	目標値を上回っている年もあるが、達成状況は期間を通して減少傾向にあり、改善している。
	4:改善している		
	3:横ばい	今後の方向性	今後は当事業に代わって能代市の健康課題のひとつである高血圧症重症化予防に取り組む。
	2:悪化している		
	1:評価できない		

## 栄養学習減塩指導

事業目的	健康づくりの推進
対象者	市民
事業実施年度	平成30(2018)年度～令和5(2023)年度
実施内容	調理実習等 各地区で栄養学習を実施。イベント等で、減塩みそ汁の試飲、みそ汁の塩分測定等を実施

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：実施回数

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	各地区1回/年	各地区1回/年	各地区1回/年	各地区1回/年	各地区1回/年	各地区1回/年
達成状況	各地区1回/年	12回 各地区1～2回	13回 各地区1～2回	7回 各地区1～2回	6回 各地区1～2回	10回 各地区1～2回	

アウトカム：からだ健康だと思う市民の割合

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	62.0%	64.0%	66.0%	68.0%	70.0%	短:前年度比 2%増加 中長:70.0%
達成状況	56.7%	60.0%	61.8%	63.6%	63.7%	60.1%	

### 【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

- ・栄養学習については各地区で継続的に実施できている。
- ・減塩みそ汁の試飲は新型コロナウイルス感染症の影響もあり思うように実施できなかった。
- ・健康教室等においてみそ汁の塩分測定を実施した他、保健センターに塩分に関するフードモデルを設置し減塩意識の普及啓発に努めた。

事業全体の評価	5: 目標達成	考察 (成功・未達要因)	栄養学習の実施回数は、新型コロナウイルス感染症の影響で減少が見られたが、R4年度では改善傾向にある。しかし「からだ健康だと思う市民の割合」はR4年度で悪化しており、事業全体としては「横ばい」と考えられる。
	4: 改善している		
	3: 横ばい	今後の方向性	栄養学習やみそ汁の塩分測定を継続的に実施する。また、健康無関心層への対策も含めて検討する。
	2: 悪化している		
	1: 評価できない		

## 禁煙教室

事業目的	喫煙率の減少
対象者	市民
事業実施年度	平成30(2018)年度～令和5(2023)年度
実施内容	禁煙学習 受動喫煙防止啓発、講話

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：実施回数

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
達成状況	年1回	2回	1回	1回	0回	1回	

アウトカム：喫煙率

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	18.0%	16.0%	14.0%	12.0%	10.0%	中長:10.0%
達成状況	22.9%	19.0%	19.2%	21.9%	18.3%	21.4%	

### 【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

専門の医師を講師として迎え入れ、内容について協議したうえで実施した。

<b>事業全体の評価</b> 5：目標達成 4：改善している <b>3：横ばい</b> 2：悪化している 1：評価できない	<b>考察</b> (成功・未達要因)	禁煙教室は、新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、おおむね目標通り実施できた。喫煙率は20%程度で増減を繰り返し、目標値には達していない。対象者が参加しやすい環境や周知方法等検討していく必要がある。
	<b>今後の方向性</b>	今後も禁煙教室を継続して開催していく。

## 糖尿病性腎症重症化予防事業

事業目的	糖尿病(糖尿病性腎症)の重症化予防
対象者	健診結果、レセプト情報から選定した対象者(40~74歳)
事業実施年度	平成30(2018)年度~令和5(2023)年度
実施内容	糖尿病の重症化予防のための保健指導(治療中の患者に対する保健指導) 面談等による栄養、運動、服薬管理等6か月の保健指導

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：指導対象者の指導実施率

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
達成状況	-	4.7%	3.1%	2.1%	3.9%	6.9%	

アウトカム：指導実施完了者の生活習慣改善率

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
達成状況	-	75.0%	100%	100%	75.0%	82.1%	

アウトカム：指導実施完了者の検査値改善率(HbA1c)

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
達成状況	-	33.3%	50.0%	50.0%	75.0%	57.1%	

アウトカム：指導実施完了者の検査値改善率(クレアチニン)

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
達成状況	-	100%	-	-	0.0%	0.0%	

アウトカム：指導実施完了者の検査値改善率(尿蛋白)

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
達成状況	-	100%	100%	-	-	-	



アウトカム：指導実施完了者のうち人工透析導入者数

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	0人	0人	0人	0人	0人	0人
達成状況	-	0人	0人	0人	0人	0人	0人

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

- ・抽出した対象者全員に対して案内通知を送付し、市から電話およびかかりつけ医からのご協力をいただき参加勧奨を実施した他、医師会主催の糖尿病対策委員会や国保連の保健事業支援・評価委員会に出席し、参加者増につなげられるようご助言をいただいた。
- ・参加者に対し、保健師等(外部委託)による指導事業を6か月間にわたり実施した。
- ・事業年度の翌年には、指導完了した参加者に対して市職員(保健師・管理栄養士)がフォローアップを実施した。

事業全体の評価	5：目標達成	<b>考察</b> (成功・未達要因)	生活習慣改善率は計画期間を通して目標を上回っていること、また、保健指導完了者のうち人工透析導入者数は0人で、目標を十分に達成できているが、検査値改善率については不明なものがあるため、全体の評価は横ばいとした。
	4:改善している		
事業全体の評価	3:横ばい	<b>今後の方向性</b>	引き続き、秋田県糖尿病重症化予防プログラムに基づき実施し、検査値の改善を評価できるように進めていく。
	2:悪化している		
事業全体の評価	1:評価できない		

## 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

事業目的	生活習慣病治療中断者の減少
対象者	生活習慣病の治療中断者(40～74歳)
事業実施年度	平成30(2018)年度～令和4(2022)年度
実施内容	医療機関受診勧奨 通知により実施。通知後に受診がない対象者にはフォローを行う

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：通知率

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	100%	100%	100%	100%	100%	-
達成状況	73人	100%	100%	100%	100%	100%	-

アウトカム：生活習慣病治療中断者数

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	62人	59人	56人	52人	47人	-
達成状況	73人	73人	66人	54人	47人	49人	-

### 【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

- ・医療費等分析等を実施するため全被保険者のレセプトデータと特定健診データを委託先に提出し、対象者に通知とパンフレットを送付した。
- ・9月受診分のレセプトで受診の有無等を確認し、未受診者に電話でフォローアップを実施。

事業全体の評価	5：目標達成	考察 (成功・未達要因)	目標値を上回っている年もあるが、治療中断者数は期間を通して減少傾向にあり、改善している。
	4:改善している		
	3:横ばい	今後の方向性	今後は当事業に代わって当市の健康課題のひとつである高血圧症重症化予防に取り組む。
	2:悪化している		
	1:評価できない		

## 受診行動適正化指導事業(重複受診、頻回受診、重複服薬)

事業目的	適正な医療受診
対象者	被保険者
事業実施年度	平成30(2018)年度～令和5(2023)年度
実施内容	適正な受診のための保健指導 面談等による保健指導

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：指導対象者の指導実施率

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
達成状況	7.7%	33.3%	70.0%	45.5%	50.0%	66.7%	

アウトカム：指導実施完了者の受診行動適正化率(重複受診)

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
達成状況	100.0% (H29)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

アウトカム：指導実施完了者の受診行動適正化率(頻回受診)

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
達成状況	0.0% (H29)	100%	57.1%	80.0%	66.7%	100%	

アウトカム：指導実施完了者の受診行動適正化率(重複服薬)

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
達成状況	50.0% (H29)	-	100%	0.0%	0.0%	100%	

アウトカム：指導実施完了者の医療費減額率(重複受診)

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
達成状況	100.0% (H29)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

アウトカム：指導実施完了者の医療費減額率(頻回受診)

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
達成状況	50.0% (H29)	38.1%	17.4%	15.2%	1.3%	17.6%	

アウトカム：指導実施完了者の医療費減額率(重複服薬)

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
達成状況	75.0% (H29)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

アウトカム：重複・頻回受診者数、重複服薬者数

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	86人	82人	77人	72人	66人	H28比20%減少
達成状況	101人	74人	62人	69人	63人	76人	

【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

対象者を抽出し、市職員(保健師・管理栄養士)の直接面談による保健指導を実施した。

事業全体の評価	5：目標達成 4：改善している <b>3：横ばい</b> 2：悪化している 1：評価できない	<b>考察</b> (成功・未達要因) 頻回受診は例年対象者がおり、受診行動適正化を図ることができた。なお、目標には届かないものの医療費減額に繋がらなかった。 また、重複服薬者は年によって対象者がおり、受診行動適正化を図ることができたものの、医療費減額につなげることは難しかった。
		<b>今後の方向性</b> 抽出条件の見直しにより、重点事項とされた重複・多剤服薬者に対して受診行動の適正化に取り組んでいく。

## ジェネリック医薬品差額通知事業

事業目的	ジェネリック医薬品の普及率向上
対象者	被保険者(16～74歳)
事業実施年度	平成30(2018)年度～令和5(2023)年度
実施内容	差額通知と希望シールの配布 希望シールを同封し、通知により実施

### 【アウトプット・アウトカム評価】

アウトプット：切替率

アウトプット…実施量、実施率を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
達成状況	6.9%	28.4%	13.3%	28.5%	18.6%	17.7%	

アウトカム：普及率(数量ベース)

アウトカム…成果を評価

	計画策定時点 H28(2016)年度	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
目標値	-	72.0%	76.0%	80.0%	84.0%	88.0%	短:前年度比 4%増加 中長:80.0%
達成状況	61.8% (H29)	69.1%	72.8%	76.5%	77.1%	78.5%	

### 【ストラクチャー、プロセスによる評価】

ストラクチャー…実施体制を評価 / プロセス…実施方法を評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック医薬品希望シールを国保取得者に配布し、個人で意思表示できるようお知らせした。</li> <li>・年2回(8月、2月)差額通知を送付し、医療費(自己負担)への関心向上に努めた。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<b>事業全体の評価</b> 5：目標達成 4：改善している <b>3：横ばい</b> 2：悪化している 1：評価できない	<b>考察</b> (成功・未達要因) アウトカムは目標値を下回っているものの、計画当初から増加しており、取り組みを続けてきたことにより効果があったと考えられる。
	<b>今後の方向性</b> これまでの取り組みを継続する。



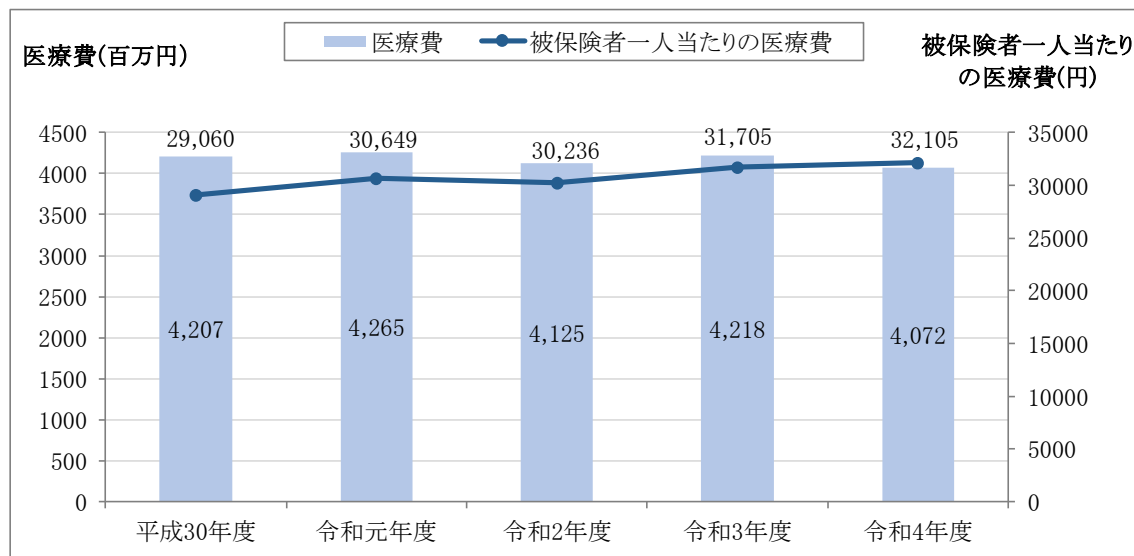
## 第4章 健康・医療情報等の分析

### 1. 医療費の基礎集計

#### (1) 医療費の状況

以下は、本市の医療費の状況を示したものである。被保険者数が減少する中、令和4（2022）年度の医療費4,072百万円は平成30（2018）年度4,207百万円と比べて3.2%減少しており、被保険者一人当たりの医療費は10.5%増加している。

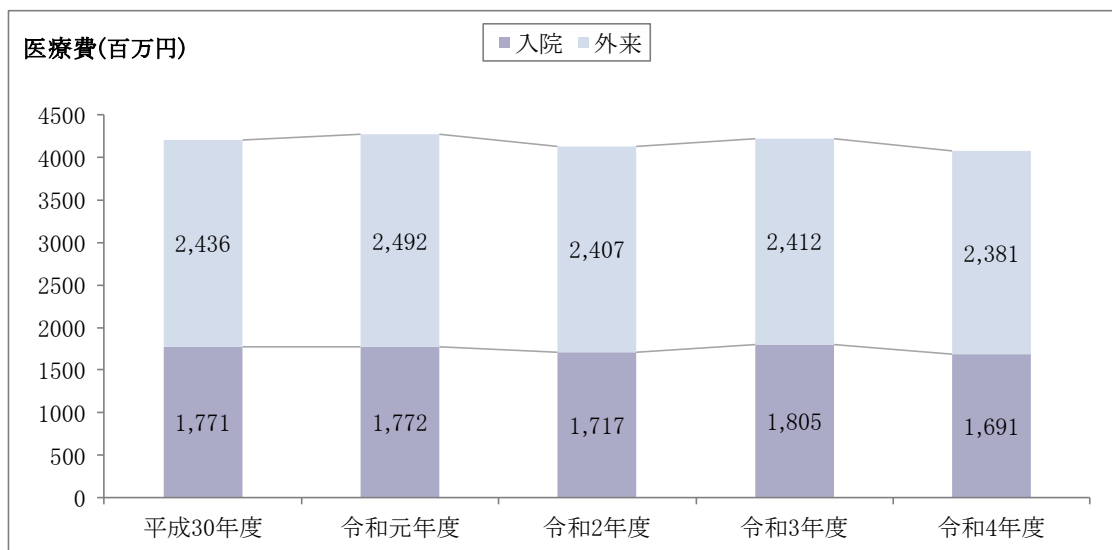
年度別 医療費の状況



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」  
被保険者一人当たりの医療費…1カ月分相当。

入院・外来別にみると、平成30年度から令和4年度にかけて、入院医療費は4.5%減少、外来医療費は2.3%減少している。

年度別 入院・外来別医療費

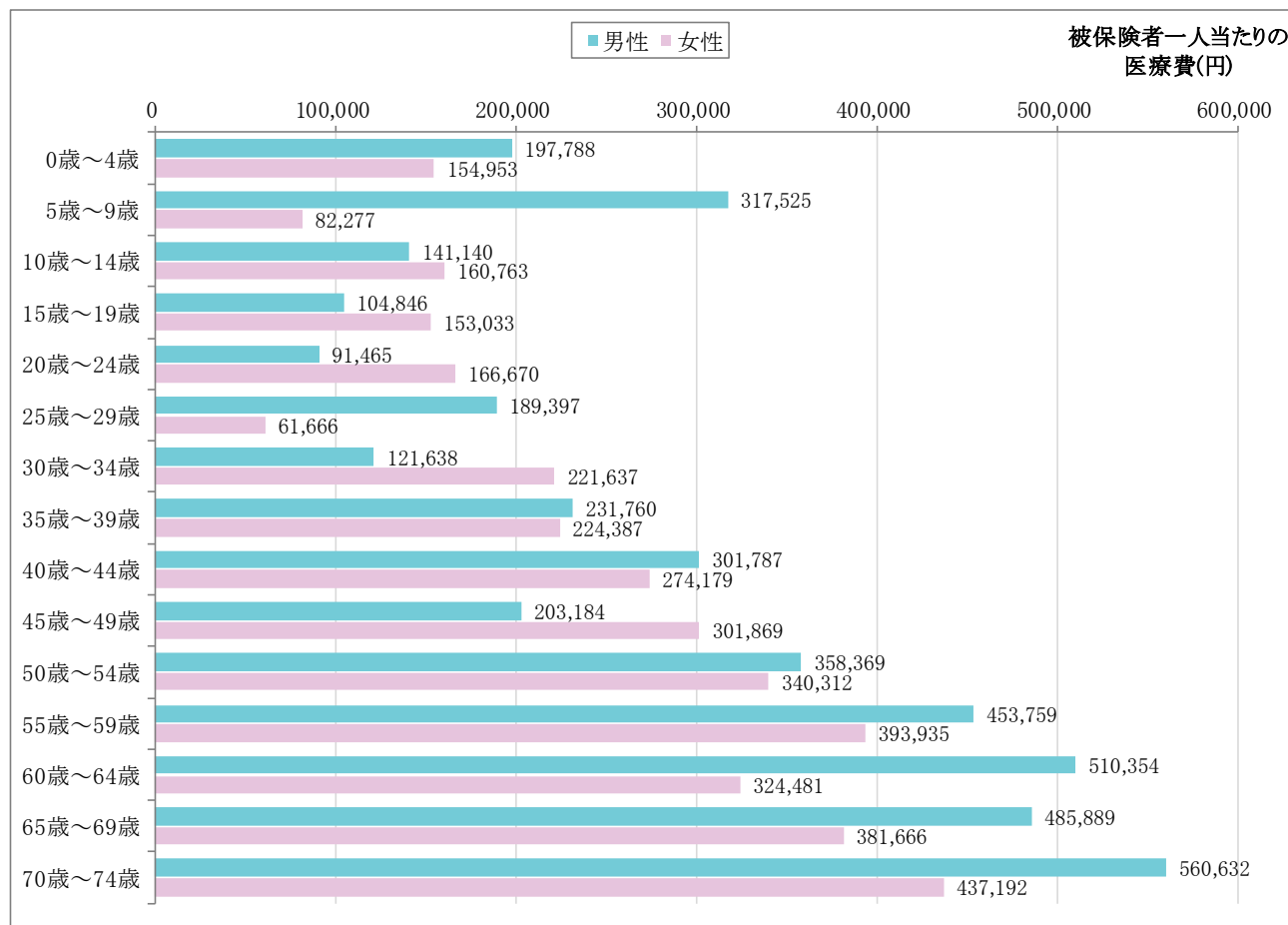


出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

以下は、令和4（2022）年度における、本市の被保険者一人当たりの医療費を男女年齢階層別に示したものである。

15歳～24歳、30歳～34歳、45歳～49歳では女性が男性より大幅に高く、0歳～9歳、25歳～29歳、55歳～74歳では男性が女性より大幅に高くなっている。

男女年齢階層別 被保険者一人当たりの医療費(令和4年度)



出典：国保データベース（KDB）システム「疾病別医療費分析（大分類）」



本市の令和4（2022）年度の年度別の被保険者一人当たりの医療費は32,105円であり、秋田県と同水準である。

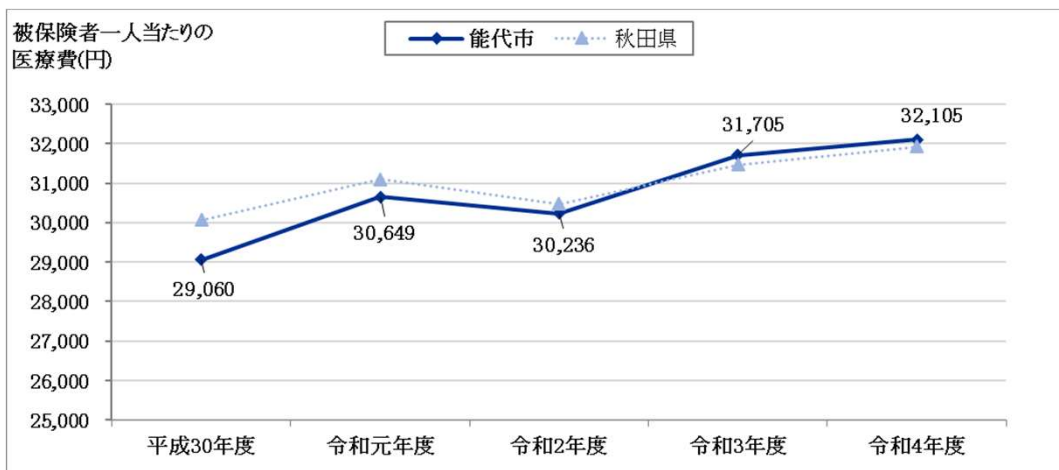
本市の年度別の被保険者一人当たりの医療費は平成30（2018）年度から令和4年度で10.5%増加しており、6.2%増加した秋田県より増加割合は大きく、令和3（2021）年度以降の医療費は秋田県を上回っている。

年度別 被保険者一人当たりの医療費 単位：円

年度	能代市	秋田県
平成30年度	29,060	30,067
令和元年度	30,649	31,097
令和2年度	30,236	30,478
令和3年度	31,705	31,471
令和4年度	32,105	31,919

出典：国保データベース（KDB）システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」  
被保険者一人当たりの医療費…1か月分相当。

年度別 被保険者一人当たりの医療費

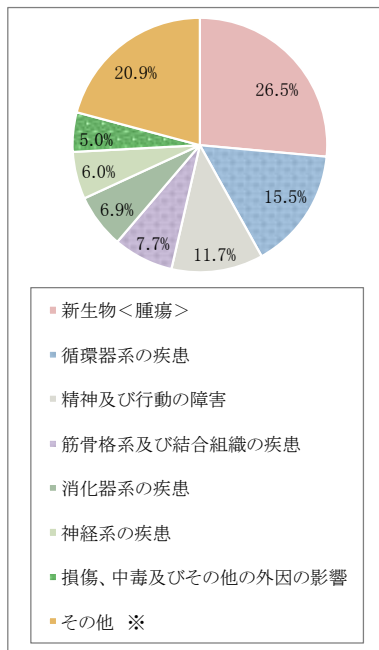


出典：国保データベース（KDB）システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」  
被保険者一人当たりの医療費…1か月分相当。

## (2) 疾病別医療費

令和4（2022）年度の入院医療費では、「新生物＜腫瘍＞」が最も高く、26.5%を占めている。

大分類別医療費構成比  
(入院) (令和4年度)



※その他…入院医療費に占める割合が5%未満の疾病を集約。

大・中・細小分類別分析  
(入院) (令和4年度)

順位	大分類別分析	中分類別分析	細小分類分析			
1	新生物＜腫瘍＞	26.5%	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	9.6%	膵臓がん	0.9%
			直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	3.4%	食道がん	0.7%
					卵巣腫瘍(悪性)	0.7%
					大腸がん	3.4%
					胃がん	3.1%
胃の悪性新生物＜腫瘍＞	3.1%					
2	循環器系の疾患	15.5%	その他の心疾患	4.8%	不整脈	2.6%
			脳梗塞	3.2%	心臓弁膜症	1.1%
					脳梗塞	3.2%
					狭心症	2.2%
			虚血性心疾患	3.2%		
3	精神及び行動の障害	11.7%	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	7.0%	統合失調症	7.0%
			気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	2.6%		
					うつ病	2.6%
			その他の精神及び行動の障害	0.9%		
4	筋骨格系及び結合組織の疾患	7.7%	関節症	2.2%	関節疾患	2.2%
			脊椎障害(脊椎症を含む)	1.8%		
					その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1.3%

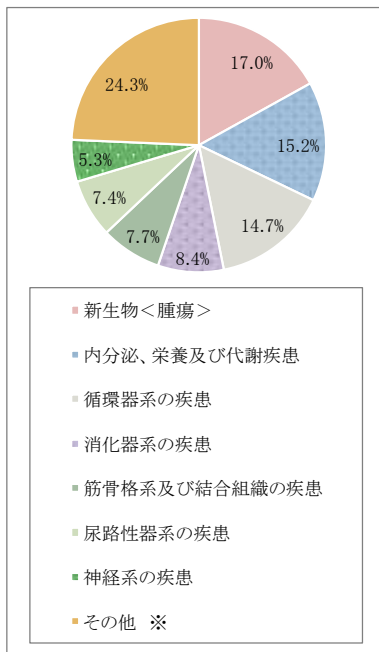
出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」

※疾病中分類に紐づく細小分類が存在しない場合、空白としている。

令和4（2022）年度の外来医療費では、「新生物＜腫瘍＞」が最も高く、17.0%を占めている。

大分類別医療費構成比  
(外来) (令和4年度)

大・中・細小分類別分析  
(外来) (令和4年度)



※その他…外来医療費に占める割合が5%未満の疾病を集約。

順位	大分類別分析	中分類別分析	細小分類分析			
1	新生物＜腫瘍＞	17.0%	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	6.8%	前立腺がん	1.1%
			気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	3.1%	脳腫瘍	0.8%
					腎臓がん	0.7%
					肺がん	3.1%
乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	1.7%	乳がん	1.7%			
2	内分泌、栄養及び代謝疾患	15.2%	糖尿病	10.0%	糖尿病	9.7%
					糖尿病網膜症	0.3%
			脂質異常症	4.1%	脂質異常症	4.1%
					甲状腺障害	0.7%
3	循環器系の疾患	14.7%	高血圧性疾患	7.2%	高血圧症	7.2%
					その他の心疾患	5.8%
			虚血性心疾患	0.9%	狭心症	0.5%
4	消化器系の疾患	8.4%	その他の消化器系の疾患	4.8%	逆流性食道炎	1.5%
					大腸ポリープ	0.8%
			胃炎及び十二指腸炎	1.7%	潰瘍性腸炎	0.6%
					胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	0.6%

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」  
※疾病中分類に紐づく細小分類が存在しない場合、空白としている。

令和4（2022）年度の医療費を細小分類別にみると、医療費上位第1位は「糖尿病」で5.9%、第2位は「高血圧症」で4.3%、第3位は「統合失調症」で3.7%を占めている。

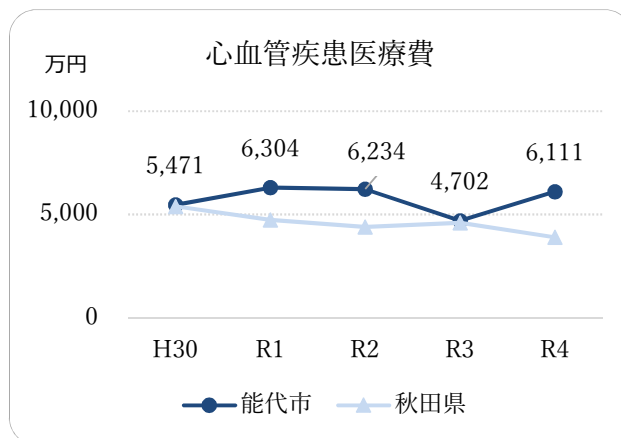
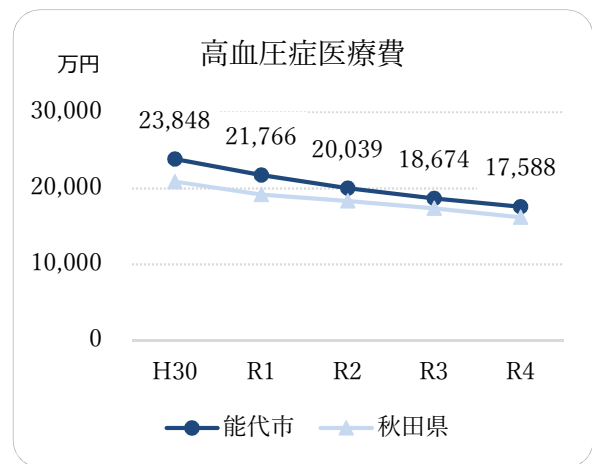
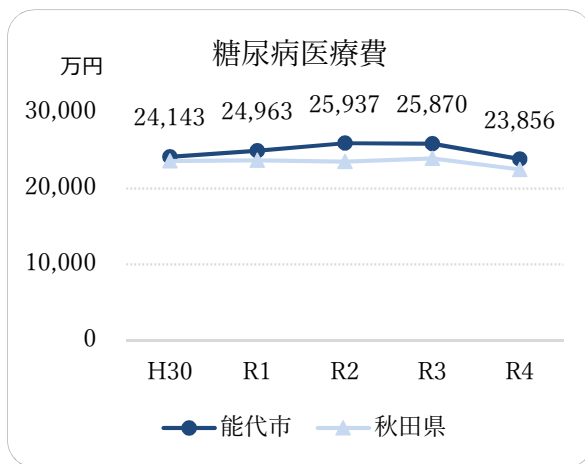
### 細小分類による医療費上位10疾病（令和4年度）

順位	細小分類別疾患	医療費(円)	割合(%) ※
1	糖尿病	238,579,820	5.9%
2	高血圧症	175,887,980	4.3%
3	統合失調症	150,089,460	3.7%
4	不整脈	128,385,030	3.2%
5	慢性腎臓病(透析あり)	124,158,580	3.1%
6	肺がん	123,037,850	3.0%
7	関節疾患	117,444,960	2.9%
8	大腸がん	117,348,430	2.9%
9	脂質異常症	97,410,130	2.4%
10	胃がん	87,909,100	2.2%

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」

※割合…総医療費に占める割合。  
※細小分類のうち、「その他」及び「小児科」については上位10疾病の対象外としている。

### 主な生活習慣病の医療費の経年推移



メタボリックシンドロームの状態が長く続くと、心血管疾患を引き起こす危険性が高くなります。

※メタボリックシンドロームとは、内臓肥満に高血圧、高血糖、脂質異常症が組み合わさることにより、心臓病や脳卒中などになりやすい病態をいいます。

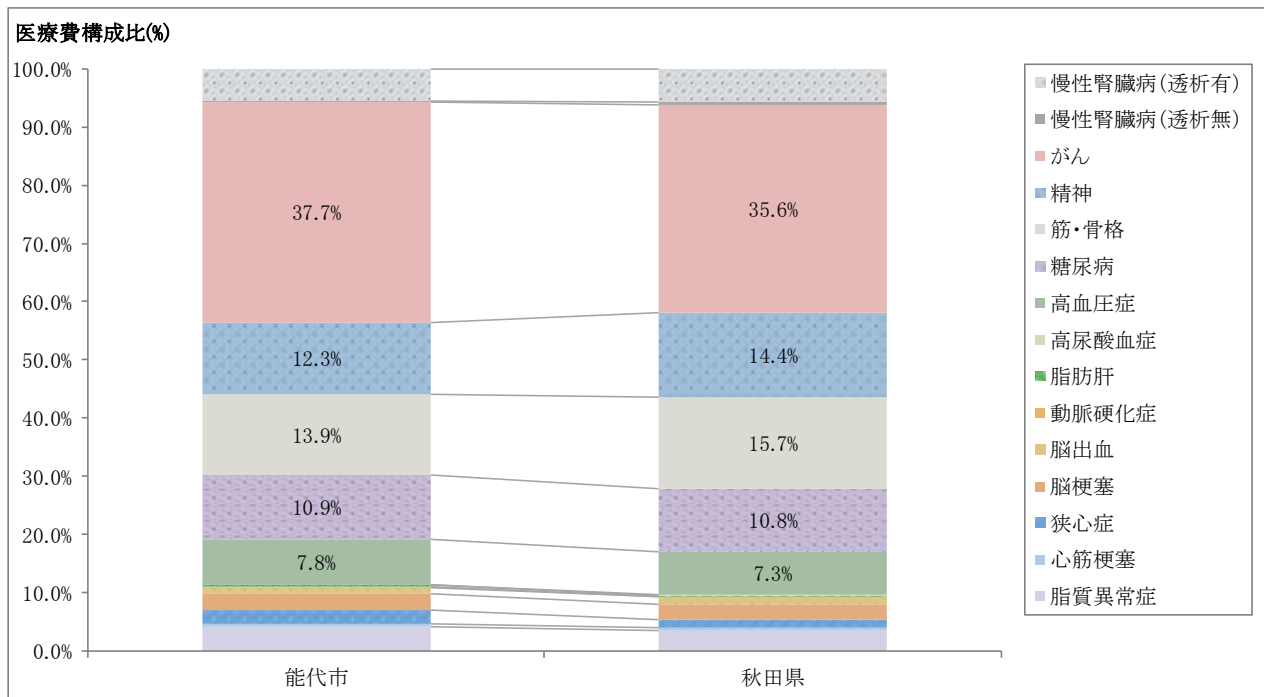
以下は、令和4（2022）年度における最大医療資源傷病名別の医療費構成比を示したものである。

最大医療資源傷病名別医療費構成比（令和4年度）

傷病名	能代市	秋田県
慢性腎臓病(透析有)	5.5%	5.8%
慢性腎臓病(透析無)	0.3%	0.5%
がん	37.7%	35.6%
精神	12.3%	14.4%
筋・骨格	13.9%	15.7%
糖尿病	10.9%	10.8%
高血圧症	7.8%	7.3%
高尿酸血症	0.1%	0.1%
脂肪肝	0.3%	0.2%
動脈硬化症	0.1%	0.1%
脳出血	1.1%	1.3%
脳梗塞	2.8%	2.6%
狭心症	2.2%	1.3%
心筋梗塞	0.5%	0.5%
脂質異常症	4.3%	3.6%

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

最大医療資源傷病名別医療費構成比（令和4年度）



出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

以下は、令和4（2022）年度の生活習慣病医療費の状況について、入院、外来、入外合計別に示したものである。

上位5疾病をみると、がん、筋・骨格は入院・外来共通だが、入院では、精神と脳梗塞と狭心症、外来では糖尿病と高血圧症と脂質異常症が上位となっている。

#### 生活習慣病等疾病別医療費統計(入院)(令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	11,498,570	0.7%	7	31	1.0%	7	370,922	9
高血圧症	6,752,490	0.4%	9	26	0.9%	8	259,711	10
脂質異常症	1,239,830	0.1%	11	7	0.2%	9	177,119	11
高尿酸血症	7,530	0.0%	12	2	0.1%	11	3,765	12
脂肪肝	0	0.0%	13	0	0.0%	13	0	13
動脈硬化症	2,028,250	0.1%	10	1	0.0%	12	2,028,250	1
脳出血	24,461,400	1.4%	6	35	1.2%	6	698,897	6
脳梗塞	54,191,660	3.2%	4	88	3.0%	4	615,814	7
狭心症	37,434,380	2.2%	5	51	1.7%	5	734,007	4
心筋梗塞	10,649,960	0.6%	8	7	0.2%	9	1,521,423	2
がん	447,736,040	26.5%	1	618	20.9%	1	724,492	5
筋・骨格	129,428,950	7.7%	3	160	5.4%	3	808,931	3
精神	197,344,130	11.7%	2	465	15.7%	2	424,396	8
その他(上記以外のもの)	768,539,560	45.4%		1,466	49.6%		524,243	
合計	1,691,312,750			2,957			571,969	

出典:国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」

#### 生活習慣病等疾病別医療費統計(外来)(令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	234,259,450	9.9%	2	9,139	9.1%	3	25,633	4
高血圧症	169,130,990	7.2%	4	14,273	14.2%	1	11,850	11
脂質異常症	96,163,740	4.1%	5	8,234	8.2%	4	11,679	12
高尿酸血症	1,559,100	0.1%	10	191	0.2%	10	8,163	13
脂肪肝	7,543,870	0.3%	9	378	0.4%	9	19,957	6
動脈硬化症	1,114,060	0.0%	11	41	0.0%	11	27,172	2
脳出血	490,630	0.0%	12	19	0.0%	12	25,823	3
脳梗塞	7,713,790	0.3%	8	473	0.5%	8	16,308	10
狭心症	12,796,860	0.5%	7	629	0.6%	7	20,345	5
心筋梗塞	232,740	0.0%	13	14	0.0%	13	16,624	9
がん	400,599,020	17.0%	1	3,389	3.4%	6	118,206	1
筋・骨格	182,786,780	7.7%	3	10,594	10.5%	2	17,254	8
精神	79,599,500	3.4%	6	4,391	4.4%	5	18,128	7
その他(上記以外のもの)	1,169,035,480	49.5%		48,775	48.5%		23,968	
合計	2,363,026,010			100,540			23,503	

出典:国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」

生活習慣病等疾病別医療費統計(入外合計)(令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	245,758,020	6.1%	4	9,170	8.9%	3	26,800	9
高血圧症	175,883,480	4.3%	5	14,299	13.8%	1	12,300	11
脂質異常症	97,403,570	2.4%	6	8,241	8.0%	4	11,819	12
高尿酸血症	1,566,630	0.0%	13	193	0.2%	10	8,117	13
脂肪肝	7,543,870	0.2%	11	378	0.4%	9	19,957	10
動脈硬化症	3,142,310	0.1%	12	42	0.0%	12	74,817	5
脳出血	24,952,030	0.6%	9	54	0.1%	11	462,075	2
脳梗塞	61,905,450	1.5%	7	561	0.5%	8	110,348	4
狭心症	50,231,240	1.2%	8	680	0.7%	7	73,869	6
心筋梗塞	10,882,700	0.3%	10	21	0.0%	13	518,224	1
がん	848,335,060	20.9%	1	4,007	3.9%	6	211,713	3
筋・骨格	312,215,730	7.7%	2	10,754	10.4%	2	29,033	8
精神	276,943,630	6.8%	3	4,856	4.7%	5	57,031	7
その他(上記以外のもの)	1,937,575,040	47.8%		50,241	48.5%		38,566	
合計	4,054,338,760			103,497			39,173	

出典:国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」

## 2. 生活習慣病に関する分析

### (1) 生活習慣病患者の状況

以下は、生活習慣病患者のレセプトデータから、併存している疾患の状況を示したものである。高血圧症60.0%、脂質異常症55.9%、糖尿病29.5%が上位3疾病である。

#### 生活習慣病全体のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	生活習慣病対象者		脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		インスリン療法		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C	H	H/C	
20歳代以下	861	413	62	7.2%	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	4	6.5%	0	0.0%	
30歳代	555	235	112	20.2%	3	2.7%	3	2.7%	1	0.9%	17	15.2%	2	1.8%	
40歳代	915	443	264	28.9%	9	3.4%	12	4.5%	5	1.9%	51	19.3%	6	2.3%	
50歳代	1,209	758	474	39.2%	42	8.9%	45	9.5%	12	2.5%	134	28.3%	20	4.2%	
60歳～64歳	1,160	852	554	47.8%	58	10.5%	37	6.7%	3	0.5%	138	24.9%	11	2.0%	
65歳～69歳	2,464	2,089	1,326	53.8%	115	8.7%	132	10.0%	5	0.4%	393	29.6%	32	2.4%	
70歳～74歳	3,684	3,827	2,352	63.8%	239	10.2%	252	10.7%	6	0.3%	782	33.2%	69	2.9%	
全体	10,848	8,617	5,144	47.4%	467	9.1%	481	9.4%	32	0.6%	1,519	29.5%	140	2.7%	
再掲	40歳～74歳	9,432	7,969	4,970	52.7%	463	9.3%	478	9.6%	31	0.6%	1,498	30.1%	138	2.8%
再掲	65歳～74歳	6,148	5,916	3,678	59.8%	354	9.6%	384	10.4%	11	0.3%	1,175	31.9%	101	2.7%

年齢階層	糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	N	N/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.2%	1	1.6%	6	9.7%	
30歳代	3	2.7%	1	0.9%	1	0.9%	23	20.5%	17	15.2%	24	21.4%	
40歳代	8	3.0%	3	1.1%	1	0.4%	79	29.9%	39	14.8%	81	30.7%	
50歳代	15	3.2%	12	2.5%	3	0.6%	226	47.7%	72	15.2%	241	50.8%	
60歳～64歳	9	1.6%	5	0.9%	1	0.2%	324	58.5%	77	13.9%	308	55.6%	
65歳～69歳	33	2.5%	15	1.1%	17	1.3%	853	64.3%	163	12.3%	769	58.0%	
70歳～74歳	58	2.5%	39	1.7%	20	0.9%	1,580	67.2%	303	12.9%	1,444	61.4%	
全体	126	2.4%	75	1.5%	43	0.8%	3,087	60.0%	672	13.1%	2,873	55.9%	
再掲	40歳～74歳	123	2.5%	74	1.5%	42	0.8%	3,062	61.6%	654	13.2%	2,843	57.2%
再掲	65歳～74歳	91	2.5%	54	1.5%	37	1.0%	2,433	66.2%	466	12.7%	2,213	60.2%

出典：国保データベース(KDB)システム「生活習慣病全体のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

#### 高血圧症のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	高血圧症		脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G	G/C	
20歳代以下	861	413	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	
30歳代	555	235	23	4.1%	1	4.3%	2	8.7%	1	4.3%	4	17.4%	
40歳代	915	443	79	8.6%	6	7.6%	9	11.4%	5	6.3%	35	44.3%	
50歳代	1,209	758	226	18.7%	32	14.2%	32	14.2%	12	5.3%	93	41.2%	
60歳～64歳	1,160	852	324	27.9%	47	14.5%	29	9.0%	3	0.9%	101	31.2%	
65歳～69歳	2,464	2,089	853	34.6%	94	11.0%	110	12.9%	5	0.6%	282	33.1%	
70歳～74歳	3,684	3,827	1,580	42.9%	205	13.0%	216	13.7%	5	0.3%	598	37.8%	
全体	10,848	8,617	3,087	28.5%	385	12.5%	398	12.9%	31	1.0%	1,115	36.1%	
再掲	40歳～74歳	9,432	7,969	3,062	32.5%	384	12.5%	396	12.9%	30	1.0%	1,109	36.2%
再掲	65歳～74歳	6,148	5,916	2,433	39.6%	299	12.3%	326	13.4%	10	0.4%	880	36.2%

年齢階層	インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	
30歳代	1	4.3%	1	4.3%	0	0.0%	0	0.0%	12	52.2%	13	56.5%	
40歳代	3	3.8%	6	7.6%	2	2.5%	1	1.3%	25	31.6%	43	54.4%	
50歳代	12	5.3%	10	4.4%	8	3.5%	3	1.3%	54	23.9%	141	62.4%	
60歳～64歳	7	2.2%	6	1.9%	5	1.5%	1	0.3%	63	19.4%	211	65.1%	
65歳～69歳	20	2.3%	22	2.6%	9	1.1%	13	1.5%	136	15.9%	532	62.4%	
70歳～74歳	54	3.4%	46	2.9%	23	1.5%	18	1.1%	259	16.4%	1,075	68.0%	
全体	97	3.1%	91	2.9%	47	1.5%	36	1.2%	550	17.8%	2,016	65.3%	
再掲	40歳～74歳	96	3.1%	90	2.9%	47	1.5%	36	1.2%	537	17.5%	2,002	65.4%
再掲	65歳～74歳	74	3.0%	68	2.8%	32	1.3%	31	1.3%	395	16.2%	1,607	66.1%

出典：国保データベース(KDB)システム「糖尿病のレセプト分析」(令和4年5月診療分)



## 脂質異常症のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	脂質異常症		脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		糖尿病		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
			A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G
20歳代以下	861	413	6	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	
30歳代	555	235	24	4.3%	0	0.0%	2	8.3%	1	4.2%	8	33.3%	
40歳代	915	443	81	8.9%	5	6.2%	11	13.6%	2	2.5%	37	45.7%	
50歳代	1,209	758	241	19.9%	31	12.9%	32	13.3%	6	2.5%	102	42.3%	
60歳～64歳	1,160	852	308	26.6%	36	11.7%	30	9.7%	1	0.3%	115	37.3%	
65歳～69歳	2,464	2,089	769	31.2%	87	11.3%	103	13.4%	3	0.4%	278	36.2%	
70歳～74歳	3,684	3,827	1,444	39.2%	184	12.7%	213	14.8%	2	0.1%	600	41.6%	
全体	10,848	8,617	2,873	26.5%	343	11.9%	391	13.6%	15	0.5%	1,141	39.7%	
再掲	40歳～74歳	9,432	7,969	2,843	30.1%	343	12.1%	389	13.7%	14	0.5%	1,132	39.8%
再掲	65歳～74歳	6,148	5,916	2,213	36.0%	271	12.2%	316	14.3%	5	0.2%	878	39.7%

年齢階層	インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		高血圧症		高尿酸血症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	1	16.7%	
30歳代	2	8.3%	1	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	13	54.2%	10	41.7%	
40歳代	4	4.9%	7	8.6%	1	1.2%	1	1.2%	43	53.1%	27	33.3%	
50歳代	15	6.2%	13	5.4%	6	2.5%	1	0.4%	141	58.5%	50	20.7%	
60歳～64歳	11	3.6%	6	1.9%	5	1.6%	1	0.3%	211	68.5%	54	17.5%	
65歳～69歳	23	3.0%	24	3.1%	5	0.7%	11	1.4%	532	69.2%	108	14.0%	
70歳～74歳	55	3.8%	47	3.3%	25	1.7%	15	1.0%	1,075	74.4%	234	16.2%	
全体	110	3.8%	98	3.4%	42	1.5%	29	1.0%	2,016	70.2%	484	16.8%	
再掲	40歳～74歳	108	3.8%	97	3.4%	42	1.5%	29	1.0%	2,002	70.4%	473	16.6%
再掲	65歳～74歳	78	3.5%	71	3.2%	30	1.4%	26	1.2%	1,607	72.6%	342	15.5%

出典:国保データベース(KDB)システム「脂質異常症のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

## 糖尿病のレセプト分析

年齢階層	被保険者数 (人)	レセプト件数 (件)	糖尿病		インスリン療法		糖尿病性腎症		糖尿病性網膜症		糖尿病性神経障害		
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
			A	B	C	C/A	D	D/C	E	E/C	F	F/C	G
20歳代以下	861	413	4	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
30歳代	555	235	17	3.1%	2	11.8%	3	17.6%	1	5.9%	1	5.9%	
40歳代	915	443	51	5.6%	6	11.8%	8	15.7%	3	5.9%	1	2.0%	
50歳代	1,209	758	134	11.1%	20	14.9%	15	11.2%	12	9.0%	3	2.2%	
60歳～64歳	1,160	852	138	11.9%	11	8.0%	9	6.5%	5	3.6%	1	0.7%	
65歳～69歳	2,464	2,089	393	15.9%	32	8.1%	33	8.4%	15	3.8%	17	4.3%	
70歳～74歳	3,684	3,827	782	21.2%	69	8.8%	58	7.4%	39	5.0%	20	2.6%	
全体	10,848	8,617	1,519	14.0%	140	9.2%	126	8.3%	75	4.9%	43	2.8%	
再掲	40歳～74歳	9,432	7,969	1,498	15.9%	138	9.2%	123	8.2%	74	4.9%	42	2.8%
再掲	65歳～74歳	6,148	5,916	1,175	19.1%	101	8.6%	91	7.7%	54	4.6%	37	3.1%

年齢階層	脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		高血圧症		高尿酸血症		脂質異常症		
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
	H	H/C	I	I/C	J	J/C	K	K/C	L	L/C	M	M/C	
20歳代以下	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	1	25.0%	1	25.0%	
30歳代	1	5.9%	1	5.9%	0	0.0%	4	23.5%	3	17.6%	8	47.1%	
40歳代	2	3.9%	6	11.8%	4	7.8%	35	68.6%	16	31.4%	37	72.5%	
50歳代	19	14.2%	24	17.9%	7	5.2%	93	69.4%	26	19.4%	102	76.1%	
60歳～64歳	19	13.8%	15	10.9%	2	1.4%	101	73.2%	30	21.7%	115	83.3%	
65歳～69歳	47	12.0%	63	16.0%	4	1.0%	282	71.8%	70	17.8%	278	70.7%	
70歳～74歳	93	11.9%	123	15.7%	5	0.6%	598	76.5%	141	18.0%	600	76.7%	
全体	182	12.0%	232	15.3%	22	1.4%	1,115	73.4%	287	18.9%	1,141	75.1%	
再掲	40歳～74歳	180	12.0%	231	15.4%	22	1.5%	1,109	74.0%	283	18.9%	1,132	75.6%
再掲	65歳～74歳	140	11.9%	186	15.8%	9	0.8%	880	74.9%	211	18.0%	878	74.7%

出典:国保データベース(KDB)システム「高血圧症のレセプト分析」(令和4年5月診療分)

## (2) 透析患者の状況

本市の令和4（2022）年度における被保険者に占める透析患者の割合は0.27%で秋田県より0.06ポイント低い。

### 透析患者数及び被保険者に占める透析患者の割合（令和4年度）

区分	被保険者数(人)	透析患者数(人)	被保険者に占める透析患者の割合(%)
能代市	10,208	28	0.27%
秋田県	190,257	627	0.33%

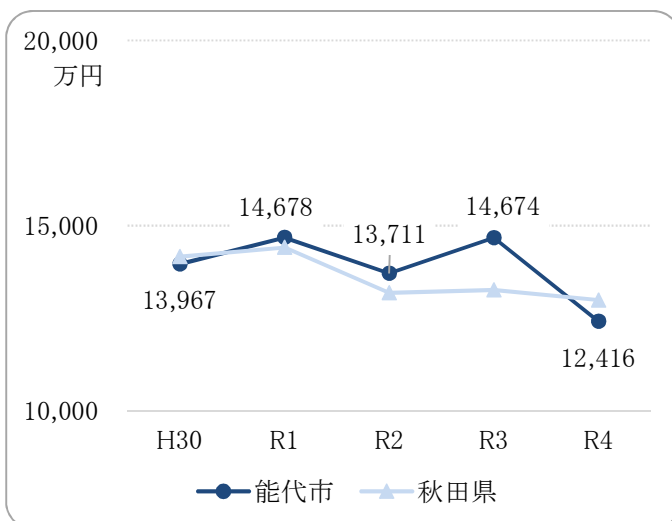
出典：国保データベース（KDB）システム「医療費分析（1）細小分類」

本市の令和4年度の透析患者数28人は、平成30（2018）年度と比較すると横ばいであるものの、令和3（2021）年度と比較すると4人減少している。

また、透析医療費は令和3年度まで秋田県を上回っており、令和4年度には減少しているが、秋田県を若干下回る程度に留まっている。

### 年度別 透析患者数及び医療費

年度	能代市		秋田県 透析医療費(円)
	透析患者数(人)	透析医療費(円)	
平成30年度	28	139,666,300	141,603,708
令和元年度	32	146,777,270	144,100,366
令和2年度	30	137,110,420	131,884,448
令和3年度	32	146,735,350	132,644,163
令和4年度	28	124,158,580	129,900,346



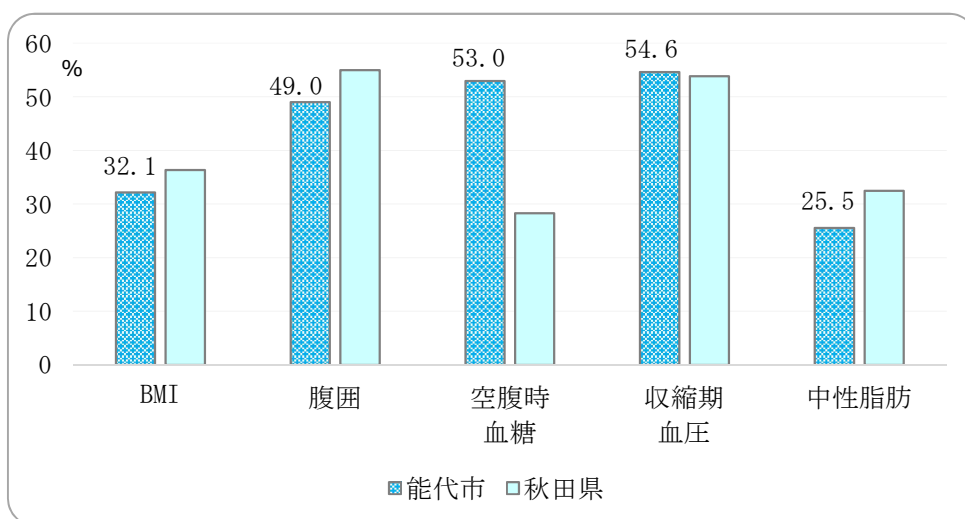
出典：国保データベース（KDB）システム「医療費分析（1）細小分類」

### 3. 健康診査データによる分析

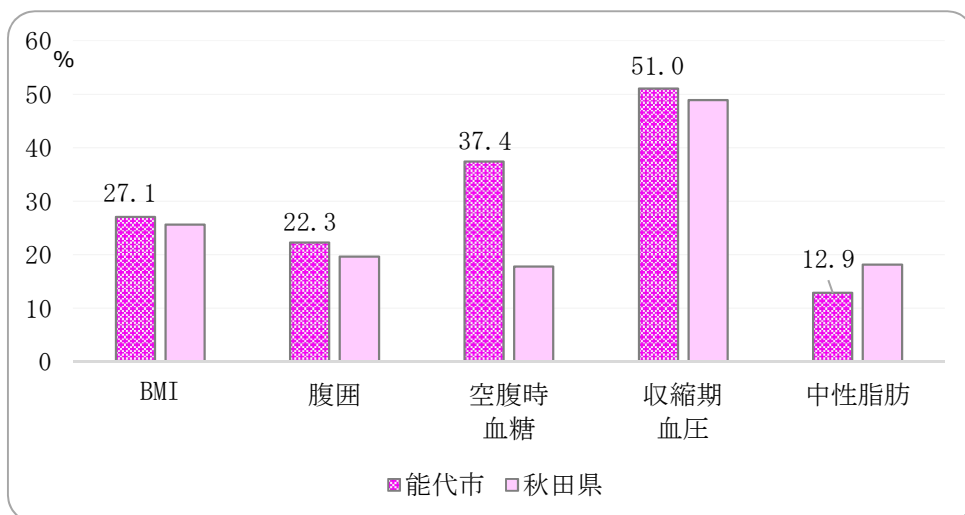
以下は、令和4（2022）年度健康診査データによる、主な検査別項目の有所見者の状況を男女別に示したものである。

検査結果が基準値を超えている者の割合は、男女とも収縮時血圧が最も多く、健診受診者の半数を超えており、次いで空腹時血糖となっている。空腹時血糖は、秋田県に比べ、男性では25ポイント、女性では19.6ポイント高くなっており、特に注意が必要であり、生活習慣病の予防・重症化予防が求められる。

（男性）健診結果が基準値を超えている者の状況（令和4年度）



（女性）健診結果が基準値を超えている者の状況（令和4年度）



出典：国保データベース（KDB）システム「健診有所見者状況（男女別）」

以下は、令和4（2022）年度健康診査データによるメタボリックシンドローム該当状況を示したものである。健診受診者全体では、予備群は9.7%、該当者は21.6%である。

また、血糖、血圧、脂質の3項目全ての追加リスクを持っている該当者は7.2%である。

### メタボリックシンドローム該当状況(令和4年度)

年齢階層	健診受診者		腹囲のみ		予備群		血糖		血圧		脂質	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
40歳～64歳	588	22.1%	35	6.0%	64	10.9%	3	0.5%	35	6.0%	26	4.4%
65歳～74歳	1,779	32.8%	23	1.3%	165	9.3%	8	0.4%	132	7.4%	25	1.4%
全体(40歳～74歳)	2,367	29.3%	58	2.5%	229	9.7%	11	0.5%	167	7.1%	51	2.2%

年齢階層	該当者		血糖+血圧		血糖+脂質		血圧+脂質		3項目全て	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
40歳～64歳	93	15.8%	15	2.6%	8	1.4%	45	7.7%	25	4.3%
65歳～74歳	419	23.6%	75	4.2%	17	1.0%	182	10.2%	145	8.2%
全体(40歳～74歳)	512	21.6%	90	3.8%	25	1.1%	227	9.6%	170	7.2%

出典：国保データベース(KDB)システム「メタボリックシンドローム該当者・予備群」

### ※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク（①血糖 ②脂質 ③血圧）	該当状況
≥85cm（男性）	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm（女性）	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

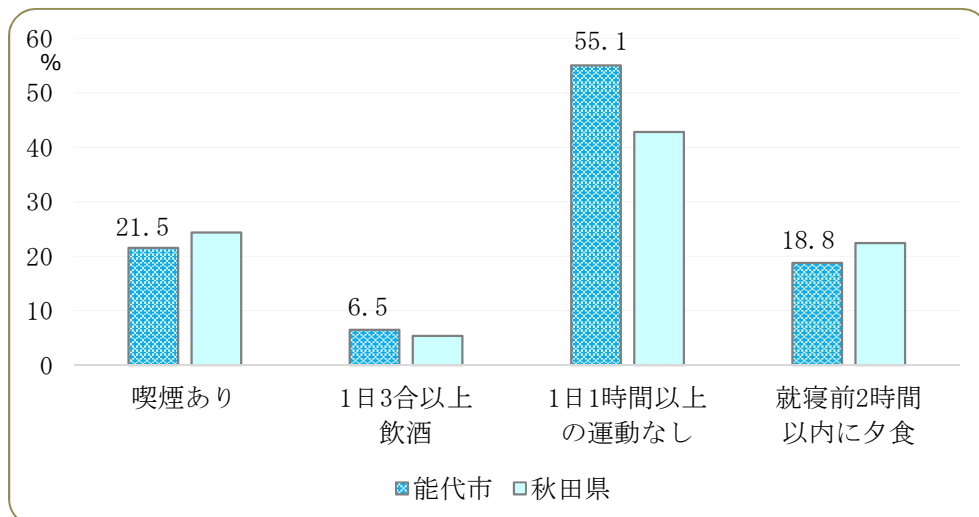
- ①血糖：空腹時血糖が110mg/dl以上
- ②血圧：収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質：中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

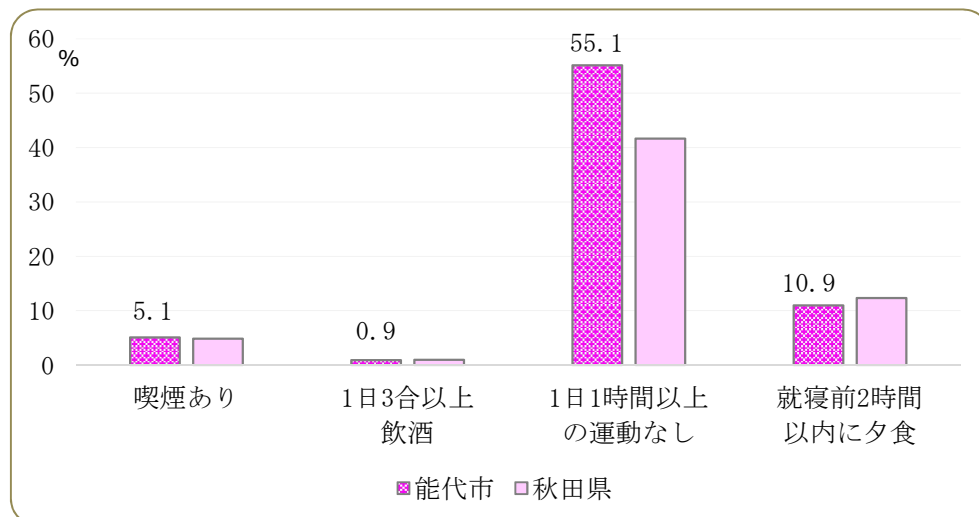
以下は、令和4（2022）年度健康診査データにおける質問票調査の状況について、男女別に示したものである。

男女とも「1日1時間以上の運動なし」と回答した割合が55.1%と最も多い。また、男性では「1日3合以上の飲酒」、女性では「喫煙あり」と回答した割合が秋田県より高くなっている。

（男性）質問票調査（生活習慣）の状況（令和4年度）



（女性）質問票調査（生活習慣）の状況（令和4年度）



## 4. 受診行動適正化指導対象者に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)による受診行動適正化指導対象者数の分析結果は以下のとおりである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について令和4(2022)年4月～令和5(2023)年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

### 重複受診者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
重複受診者数(人) ※	5	6	5	6	5	8	5	5	9	6	4	8
											12カ月間の延べ人数	72人
											12カ月間の実人数	41人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※重複受診者数…1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

### 頻回受診者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
頻回受診者数(人) ※	11	16	18	18	16	16	12	13	12	8	10	17
											12カ月間の延べ人数	167人
											12カ月間の実人数	63人

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

### 重複服薬者数

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
重複服薬者数(人) ※	28	25	30	26	25	36	40	34	33	62	52	36
											12カ月間の延べ人数	427人
											12カ月間の実人数	231人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

以下は、服薬者のうち、令和5（2023）年3月診療分の重複処方と多剤処方の状況である。  
 重複処方は、同一月内で2医療機関以上から6医薬品以上を処方された被保険者は1人、  
 多剤処方は、同一月内で30処方日数以上かつ5医薬品以上処方された被保険者は1,684人  
 となっている。

### 重複処方の状況

他医療機関との 重複処方が発生した 医療機関数（同一月内）		複数の医療機関から重複処方が発生した薬効数（同一月内） 重複処方を受けた者（人）									
		1以上	2以上	3以上	4以上	5以上	6以上	7以上	8以上	9以上	10以上
受 重 複 処 方 を 受 け た 者 （ 人 ）	2医療機関以上	261	54	17	5	1	1	0	0	0	0
	3医療機関以上	10	6	4	2	0	0	0	0	0	
	4医療機関以上	2	2	1	1	0	0	0	0	0	
	5医療機関以上	1	1	0	0	0	0	0	0	0	

### 多剤処方の状況

同一薬効に関する処方日数 （同一月内）		処方薬効数（同一月内） 処方を受けた者（人）											
		1以上	2以上	3以上	4以上	5以上	6以上	7以上	8以上	9以上	10以上	15以上	20以上
処 方 を 受 け た 者 （ 人 ）	1日以上	5,538	4,625	3,688	2,732	1,950	1,347	889	596	392	249	19	0
	15日以上	4,769	4,238	3,471	2,630	1,912	1,331	882	594	390	247	19	0
	30日以上	3,887	3,487	2,913	2,266	1,684	1,197	809	547	365	233	19	0
	60日以上	2,127	1,940	1,673	1,350	1,055	769	538	374	264	168	15	0
	90日以上	942	871	773	636	518	386	275	193	143	90	9	0
	120日以上	458	440	403	338	274	207	152	104	86	59	4	0
	150日以上	253	244	224	187	152	110	85	57	50	33	2	0
180日以上	143	136	122	102	85	59	49	31	28	19	1	0	

出展：国保データベース（KDB）システム「重複・多剤投与の状況」

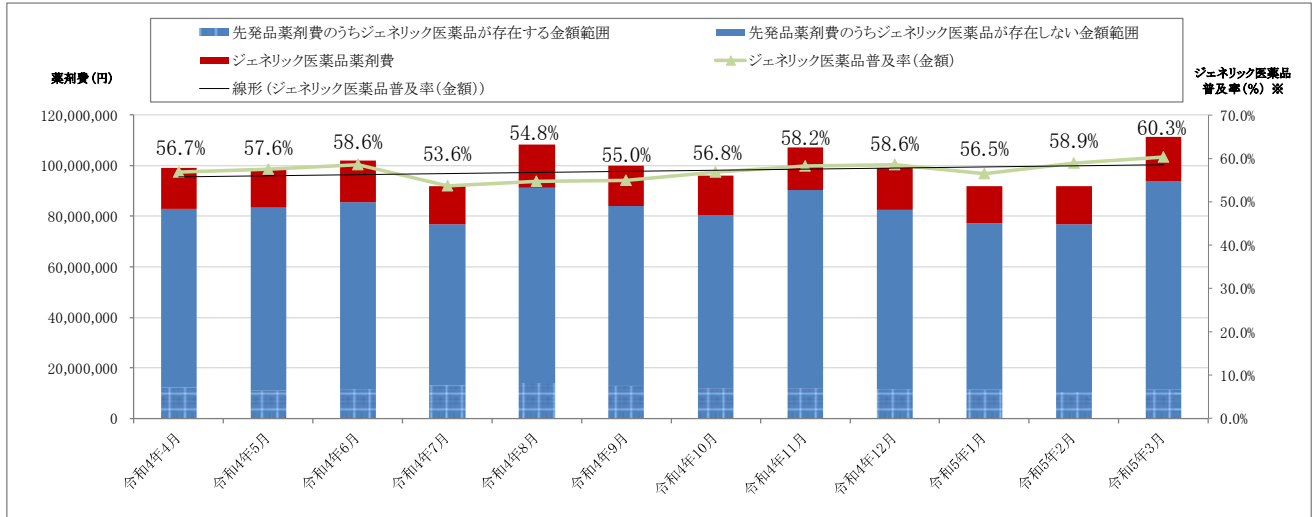
※いずれも処方条件を「薬効分類単位で集計」で絞り込み、資格情報を「選択した診療年月に資格を有する者を抽出」として抽出。

## 5. ジェネリック医薬品普及率に係る分析

以下は、診療年月毎のジェネリック医薬品普及率の状況について示したものである。

令和4（2022）年4月～令和5（2023）年3月診療分（12か月分）での平均ジェネリック医薬品普及率は、金額ベースでは57.1%、数量ベースでは78.0%である。

### ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

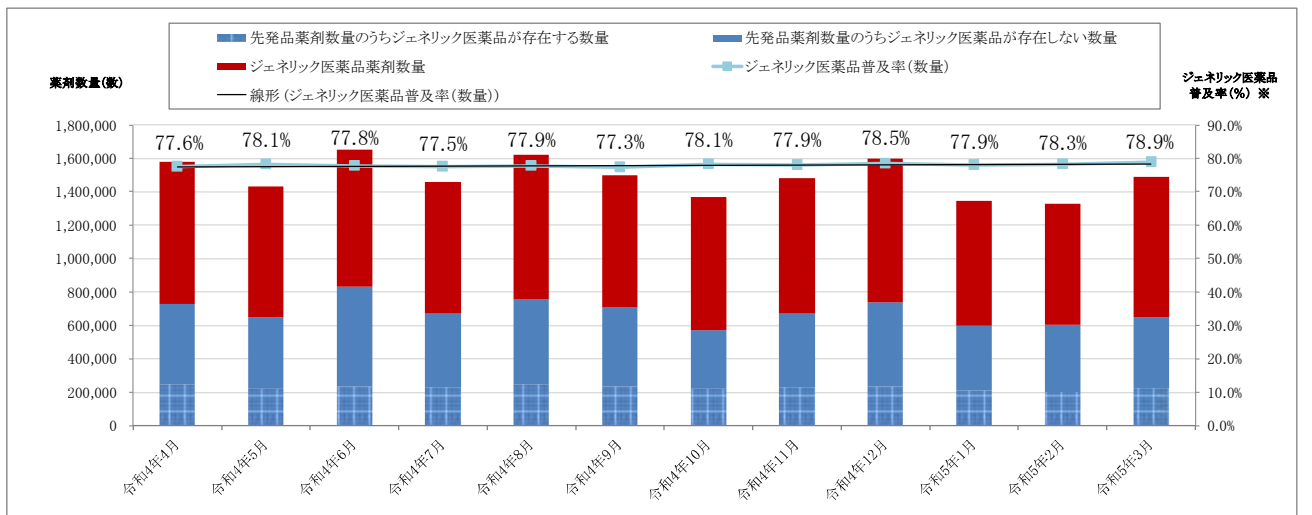


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

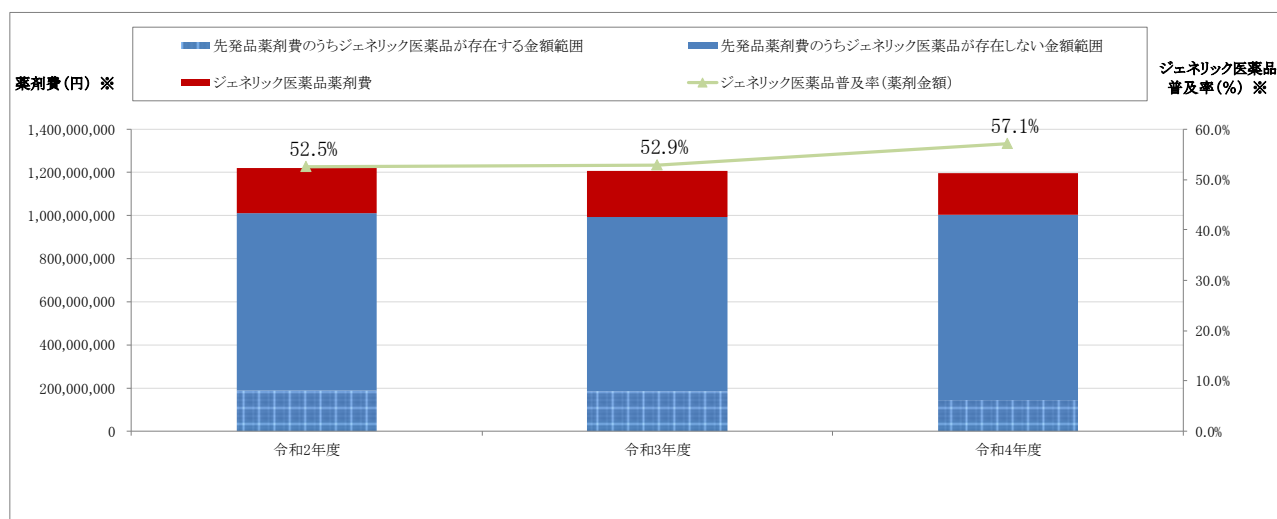
※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)



以下は、令和2（2020）年度から令和4（2022）年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示したものである。

令和4年度を令和2年度と比較すると、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)57.1%は、令和2年度52.5%より4.6ポイント増加しており、ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)78.0%は、令和2年度75.2%より2.8ポイント増加している。

### 年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

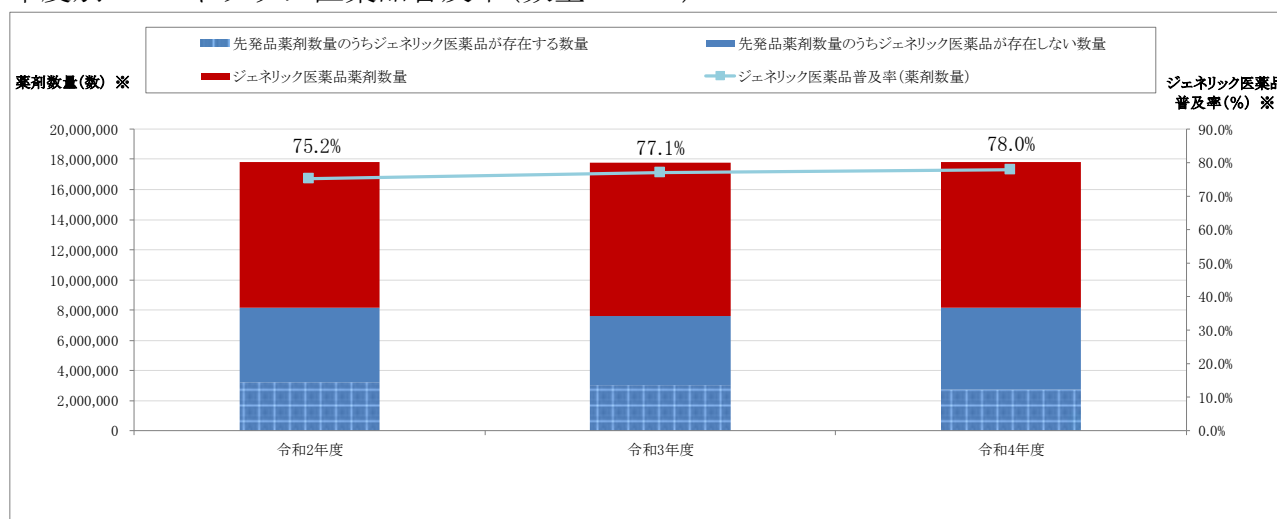


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### 年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は令和2年4月～令和5年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

## 第5章 健康課題の抽出と保健事業の実施内容

### 1. 分析結果に基づく健康課題の抽出と解決のための対策

以下は、分析結果から明らかとなった健康課題と、健康課題に対して本計画で目指す姿(目的)、その目的を達成するための目標を示したものである。

項目	健康課題	優先する健康課題	対応する保健事業番号	データヘルス計画全体における目的
A	<b>生活習慣病</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診の受診率は、県内平均を下回っている。</li> <li>・健康診査データより、生活習慣に関連した検査項目において、有所見者割合が高い項目がある。</li> <li>・医療費及び患者数上位において、生活習慣に関係する疾病が多くを占めている。</li> </ul>	1	①、② ③	<b>生活習慣病の予防および早期発見・早期治療</b> <p>特定健診により自らの健康状態を知るとともに、疾病の早期発見・早期治療に努める。また特定保健指導により、生活習慣改善に向けた支援を行い、生活習慣病の発症を予防する。</p>
B	<b>重症化予防</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病の重症化リスクがあるにもかかわらず、適切な受診につながっていない健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。</li> <li>・透析患者のうち、生活習慣を起因とする糖尿病から透析に至った患者が最も多い。</li> </ul>	2	④、⑤	<b>生活習慣病重症化予防</b> <p>レセプトデータ、健康診査データ等から生活習慣病の重症化リスクを有する被保険者を特定し、適切な受療や生活習慣の改善等の行動変容を促すことで、重症化を予防する。</p>
C	<b>医療費、受診行動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後発医薬品の使用割合は78.0%である。</li> <li>・受診行動の適正化が必要な、重複・頻回受診、重複服薬のいずれかに該当する被保険者が存在する。</li> <li>・薬物有害事象の発生や副作用につながると懸念される長期多剤服薬者が存在する。</li> </ul>	3	⑥、⑦	<b>医療費適正化と適正受診・適正服薬</b> <p>後発医薬品(ジェネリック)の普及啓発やお薬手帳の利用促進、服薬情報通知等により、医療費の適正化、医療資源の有効活用と薬物有害事象発生防止を図る。</p>

個別の保健事業については「2. 健康課題を解決するための個別の保健事業」(p77～)に記載

太枠のR8(2026)年度は中間評価年度、R11(2029)年度は最終評価年度。

評価指標	計画策定 時実績 R4年度 (2022)	目標値					
		R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)
A-① 特定健康診査受診率	29.6%	35.0%	37.0%	39.0%	41.0%	43.0%	45.0%
A-② 特定保健指導実施率	32.1%	35.0%	37.0%	39.0%	41.0%	43.0%	45.0%
A-② 特定保健指導による特定保 健指導対象者の減少率	21.0%	21.0%	21.0%	22.0%	23.0%	24.0%	25.0%
A-③ 特定健診で受診勧奨を 受けた者の医療機関受診率	55.0%	56.0%	57.0%	58.0%	59.0%	60.0%	61.0%
B-④ 新規人工透析患者	5人	4人	3人	2人	1人	0人	0人
B-④ 被保険者に占める糖尿病 患者の割合	14.4%	14.0%	13.5%	13.0%	12.5%	12.0%	11.5%
B-④ HbA1c8.0%以上の者の割合	0.84%	0.82%	0.80%	0.78%	0.76%	0.74%	0.72%
B-⑤ 血圧が保健指導判定値を 超える者の割合	56.4%	55.0%	54.0%	53.0%	52.0%	51.0%	50.0%
C-⑥ 重複処方の状況 多剤処方の状況	1人 1,682人	0人 1,650人	0人 1,600人	0人 1,550人	0人 1,500人	0人 1,450人	0人 1,400人
C-⑦ 後発医薬品使用割合	78.5%	79.0%	79.5%	80.0%	80.5%	81.0%	81.5%

## 2. 健康課題を解決するための個別の保健事業

### (1) 保健事業一覧

以下は、分析結果に基づく健康課題に対する対策の検討結果を踏まえ、第3期データヘルス計画にて実施する事業一覧を示したものである。

事業番号	事業名称	事業概要	区分	重点・優先度
A-①	特定健康診査受診勧奨事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健康診査（以下「特定健診」）を受診していない対象者の特性に応じ、セグメント別によるメッセージを用いた文書での受診勧奨を行う。</li> <li>・ 健診受診者が少ない40～50代および65歳以上の健康状態不明者に対し訪問等受診勧奨を行う。</li> <li>・ 保健センター受診分については事業主同意により、保健センター以外での受診分については対象者個人の同意により、健診結果を受領する。（事業主健診結果受領）</li> <li>・ 対象者の同意により、委託実施機関から特定健診と同じ診療検査結果を受領する件数を増やしていけるよう、対象者や関係機関に協力をお願いしていく。（診療検査結果情報提供）</li> </ul>	継続	1
A-②	特定保健指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、手紙等で行う。</li> <li>・ 健診当日に初回面接を行う分割実施の体制を継続する。</li> </ul>	継続	2
A-③	特定健診後の医療機関受診勧奨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健診を受けた方のうち、受診勧奨判定値の方に対し、医師の判断に応じたパンフレットを送付し、医療機関受診を促す。</li> <li>・ 必要に応じて、保健指導判定値の方に保健指導を行う。</li> </ul>	継続	5
B-④	糖尿病性腎症重症化予防事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健診の検査値とレセプトデータから糖尿病未治療者、治療中断者を特定し、受診勧奨及び保健指導を行う。</li> <li>・ 治療中の患者のうち、かかりつけ医が保険者による保健指導が必要と判断した者に対し6か月間の面談指導と保健指導を行う。</li> </ul>	継続	3
B-⑤	高血圧重症化予防事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健診の結果、血圧値が保健指導判定値以上であった対象者に、健康相談の案内を送付する。</li> <li>・ 血圧値が受診勧奨判定値であるにも関わらず医療機関での受診が確認できない者及びレセプトにより高血圧の治療を中断している者を特定し、通知書の送付等により受診勧奨を行う。</li> </ul>	新規	4
C-⑥	受診行動適正化指導事業（多剤・重複服薬）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レセプトデータから、重複して服薬している対象者や5種類以上の薬剤を30日以上内服している対象者を特定し、通知書を送付する。また、多剤服薬による副作用等が心配される場合には、専門職による訪問指導を行う。</li> </ul>	継続	6
C-⑦	ジェネリック医薬品差額通知事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。</li> <li>・ 通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品の切り替えを促す。</li> </ul>	継続	7

## (2) 各事業の実施内容と評価方法

各事業における実施内容及び評価方法の詳細は以下のとおりである。

### 第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート(地域特性)

作成年月日	令和6(2024)年3月
市町村名	能代市

#### <人口・被保険者に関すること>

項目		計画策定時の値		第3期計画期間					
		年度	実績値	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
人口(人)	総数	R4	48,045						
	うち男性	R4	22,136						
	うち女性	R4	25,909						
人口の年齢構成割合(%)	15歳未満	R4	8.0%						
	15~64歳	R4	49.5%						
	65歳以上	R4	42.4%						
	うち75歳以上	R4	23.7%						
国保被保険者数(人)	総数	R4	10,208						
国保被保険者の年齢構成割合(%)	~39歳	R4	12.8%						
	40~64歳	R4	30.4%						
	65~74歳	R4	56.7%						

#### <寿命・死亡比に関すること>

項目		計画策定時の値		第3期計画期間					
		年度	実績値	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
平均寿命(年)	男性	R4	78.6						
	女性	R4	85.9						
平均自立期間(要介護2以上)(年)	男性	R4	77.9						
	女性	R4	83.9						
標準化死亡比(人口10万対)	男性	R4	118.0						
	女性	R4	105.3						
死因(%)	がん	R4	53.1%						
	心臓病	R4	20.3%						
	脳疾患	R4	19.1%						
	糖尿病	R4	0.9%						
	腎不全	R4	5.2%						
	自殺	R4	1.4%						

<医療費に関すること>

項目		計画策定時の値		第3期計画期間					
		年度	実績値	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
男性の医科受診率 (人口千対)	0～14歳	R4	598.370						
	15～39歳	R4	316.354						
	40～44歳	R4	423.479						
	45～49歳	R4	426.593						
	50～54歳	R4	532.050						
	55～59歳	R4	606.344						
	60～64歳	R4	734.666						
	65～69歳	R4	829.987						
	70～74歳	R4	1,011.871						
女性の医科受診率 (人口千対)	0～14歳	R4	515.480						
	15～39歳	R4	471.271						
	40～44歳	R4	558.001						
	45～49歳	R4	594.259						
	50～54歳	R4	652.099						
	55～59歳	R4	775.795						
	60～64歳	R4	781.689						
	65～69歳	R4	949.687						
	70～74歳	R4	1,106.077						
医科の1人当たり 医療費(円)	外来	R4	14,661						
	入院	R4	19,831						

<医療費が高額な疾病の推移>

項目						
		年度	実績値	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
医療費の高い 疾病の点数 【外来】 ※計画策定時における上位10選 の推移	糖尿病	R4	23,018,114			
	高血圧症	R4	16,913,099			
	慢性腎臓病(透析あり)	R4	10,555,243			
	脂質異常症	R4	9,616,374			
	不整脈	R4	8,398,813			
	関節疾患	R4	7,505,537			
	肺がん	R4	7,320,003			
	貧血	R4	5,665,184			
	気管支喘息	R4	4,143,786			
	乳がん	R4	3,985,170			
医療費の高い 疾病の点数 【入院】 ※計画策定時における上位10選 の推移	統合失調症	R4	11,923,104			
	大腸がん	R4	9,536,294			
	脳梗塞	R4	5,419,166			
	胃がん	R4	5,301,020			
	骨折	R4	5,258,989			
	肺がん	R4	4,983,782			
	不整脈	R4	4,439,690			
	うつ病	R4	4,326,488			
	関節疾患	R4	4,238,959			
	狭心症	R4	3,743,438			
項目		計画策定時の値		第3期計画期間		
		年度	実績値	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
医療費の高い 疾病の点数 【外来】 ※計画策定時における上位10選 の推移	糖尿病	R4	23,018,114			
	高血圧症	R4	16,913,099			
	慢性腎臓病(透析あり)	R4	10,555,243			
	脂質異常症	R4	9,616,374			
	不整脈	R4	8,398,813			
	関節疾患	R4	7,505,537			
	肺がん	R4	7,320,003			
	貧血	R4	5,665,184			
	気管支喘息	R4	4,143,786			
	乳がん	R4	3,985,170			
医療費の高い 疾病の点数 【入院】 ※計画策定時における上位10選 の推移	統合失調症	R4	11,923,104			
	大腸がん	R4	9,536,294			
	脳梗塞	R4	5,419,166			
	胃がん	R4	5,301,020			
	骨折	R4	5,258,989			
	肺がん	R4	4,983,782			
	不整脈	R4	4,439,690			
	うつ病	R4	4,326,488			
	関節疾患	R4	4,238,959			
	狭心症	R4	3,743,438			

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート  
(生活習慣病予防)

作成年月日	令和6（2024）年3月
市町村名	能代市

評価指標		計画策定時の値 R4(2022)年度	第3期計画期間					
			R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
<アウトカム指標> 喫煙者の割合	目標値	-	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	男性実績	21.0%						
	目標値	-	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
	女性実績	4.7%						
<アウトカム指標> 運動習慣のない者の割合	目標値	-	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%
	男性実績	57.5%						
	女性実績	66.5%						
<アウトカム指標> 適量飲酒者の割合	目標値	-	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
	男性実績	71.0%						
	女性実績	68.7%						
<アウトカム指標> 血圧が保健指導判定値を 超える者の割合	目標値	-	55.0%	54.0%	53.0%	52.0%	51.0%	50.0%
	実績	56.4%						
<アウトプット指標> 受診勧奨実施者数（高血圧 未治療者・治療中断者）	目標値	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	-						
<アウトプット指標> 保健指導実施者数（高血圧 未治療者・治療中断者）	目標値	-	30件	30件	30件	30件	30件	30件
	実績	-						
関連施策の実施状況								
事業名①	禁煙教室							
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など) 対象者：喫煙者や喫煙による健康被害について、関心のある方30名程度。 方 法：広報や各種窓口でのチラシの配置による周知や、保健センターでの健診時の生活習慣質問票で「喫煙している」と回答した方へ個別通知を行い、年1回、専門の医師を招き開催する。 実施者：健康づくり課							
事業名②	健康相談							
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など) 対象者：全市民、健診受診者等 方 法：対面、電話等で随時対応するほか、イベント等で各種相談に応じる。 実施者：健康づくり課							



事業名③	健康教育
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など) 対象者：全市民 方 法：地区健康教育 地区ごとに健康推進員と協力して開催する。 各種健康教育 テーマに沿って実施する。 実施者：健康づくり課、子育て支援課
事業名④	高血圧重症化予防事業
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など) 対象者：ア・イいずれかに該当 ア「収縮期血圧130以上140未満」「拡張期血圧85以上90未満」 イ「血圧 $\geq$ 140/90」かつ「高血圧の薬剤処方歴1年間なし」 ウ「抽出年度に健診・薬剤処方歴なし」かつ「抽出年度以前の3年間に高血圧の薬剤処方歴あり」 方 法：ア 健診結果に健康相談の案内を同封する。 イ・ウ 通知により医療機関受診勧奨を行う。 イのうち「血圧 $\geq$ 160/90」以上の対象者に対し、訪問による保健指導および受診勧奨を行う。 実施者：市民保険課、市民福祉課
評価	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレット等による啓発や禁煙教室を開催するも、喫煙率は20%前後で横ばいとなっている。より一層喫煙のリスクや受動喫煙について、周知していく必要がある。</li> <li>生活習慣病の発症年代である働き盛りの年代層及び、男性の参加者が少ない。</li> <li>治療中断者数は減少傾向にある。</li> <li>高血圧症重症化予防のためには医療機関への定期的な受診が不可欠だが、高血圧の罹患率の高さと自覚症状の低さから軽視される傾向にあり、自己の判断により未受診者や中断していると考えられる者がいるため、受診を促すことが必要。</li> </ul>
次年度以降の対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容や周知方法等を検討しながら継続して実施していく。</li> <li>引き続き事業を継続するほか、健康推進員を始めとした健康づくり組織活動を中心とした団体等との連携を図り、市民一人ひとりが主体的に健康づくりを実践できるような環境を整える。</li> <li>高血圧症に係る患者に対し、医療機関への受診勧奨を行い、適正な受診行動に導く。</li> </ul>

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート  
(特定健康診査)

作成年月日	令和6（2024）年3月
市町村名	能代市

評価指標	計画策定時の値 R4(2022)年度	第3期計画期間						
		R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	
<アウトカム指標> 特定健康診査の受診率	目標値	-	35.0%	37.0%	39.0%	41.0%	43.0%	45.0%
	実績	29.6%						
	うち男性	26.2%						
	うち女性	32.8%						
<アウトプット指標> 特定健診受診勧奨	目標値	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	100%						
<アウトプット指標> 事業主健診結果受領	目標値	-	50件	50件	50件	50件	50件	50件
	実績	20件						
<アウトプット指標> 診療検査結果情報提供	目標値	-	100件	100件	100件	100件	100件	100件
	実績	24件						
関連施策の実施状況								
事業名①	特定健診事業							
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など) 対象者：40歳から74歳の人 方 法：能代市保健センター及び委託実施機関等において検査を実施。対象者には、受診券を送付する。 実施者：市民保険課							
事業名②	特定健診受診勧奨							
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など) 対象者：①当年度40, 41歳全員と、前年度未受診者で42, 50, 55, 60, 65歳になる人 ②前年度以前未受診者および当年度未受診者 ③健診受診者が少ない40～50代および65歳以上の健康状態不明者 方 法：①訪問勧奨または電話勧奨 ②文書勧奨（対象者の特性に応じたメッセージを用いて勧奨。前年度以前未受診者には8月、当年度未受診者には11月） ③訪問等による勧奨 実施者：市民保険課、委託業者							
事業名③	事業主健診結果受領							
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など) 対象者：事業主健診受診者 方 法：保健センター受診分について事業主同意により結果受領 広報やホームページなどで案内し、同意により個人から結果受領 実施者：市民保険課							

事業名④	診療検査結果情報提供
事業の具体的内容	<p>(対象者、方法、実施者など)</p> <p>対象者：生活習慣病など治療中の当年度未受診者</p> <p>方 法：個人同意により委託実施機関から特定健診と同じ診療検査結果を受領</p> <p>実施者：市民保険課</p>
評価	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病の発症や重症化を予防するためには、早期にリスクを見つけて改善していくことが重要であり、受診率が低い60歳以下の者を始め、未受診者全体への受診を促す必要がある。</li> <li>・未受診者個人への受診勧奨についてターゲットの絞込み、診療検査結果情報提供の周知、医師から受診勧奨が行われるよう医師会等との連携を図る必要がある。</li> </ul>
次年度以降の対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>①特定健診の対象となったばかりの年齢の者、60歳未満の節目年齢の者を中心に訪問勧奨を引き続き実施し、受診に結び付けるための手法を検討しながら受診率向上に努める。事業主健診や診療検査の結果提供にかかる案内も併せて行う。</li> <li>②対象者の特性に応じたメッセージを用いて、セグメント別でグループ分けし勧奨することで受診を促し、低迷している受診率向上を目指す。</li> <li>・訪問勧奨員による勧奨や委託業者による文書勧奨を行いながら取り組み内容を検討し、また、関係機関等の協力をいただき、受診率向上につなげられるよう取り組んでいく。</li> </ul>

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート  
(特定保健指導)

作成年月日	令和6(2024)年3月
市町村名	能代市

評価指標		計画策定時の値 R4(2022)年度	第3期計画期間																												
			R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)																							
<アウトカム指標> 特定保健指導による 特定保健指導対象者の 減少率	目標値	-	21.0%	21.0%	22.0%	23.0%	24.0%	25.0%																							
	実績	20.5%																													
	うち男性	23.5%																													
	うち女性	15.6%																													
<アウトプット指標> 特定保健指導実施率	目標値	55.0%	35.0%	37.0%	39.0%	41.0%	43.0%	45.0%																							
	実績	32.1%																													
	うち男性	29.7%																													
	うち女性	35.4%																													
関連施策の実施状況																															
事業名①		特定保健指導																													
事業の具体的内容		<p>(対象者、方法、実施者など) 対象者：特定健康診査の結果に基づき、積極的支援と動機づけ支援に階層化し抽出された者</p> <p style="text-align: center;"><b>特定保健指導の対象者（階層化）</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">腹囲</th> <th rowspan="2">追加リスク ①血糖 ②脂質 ③血圧</th> <th rowspan="2">④喫煙歴</th> <th colspan="2">対象</th> </tr> <tr> <th>40-64歳</th> <th>65-74歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">≥85cm(男性) ≥90cm(女性)</td> <td>2つ以上該当</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td rowspan="2">積極的 支援</td> <td rowspan="2">動機付け 支援</td> </tr> <tr> <td>1つ該当</td> <td style="text-align: center;">あり なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">上記以外で BMI≥25</td> <td>3つ該当</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td rowspan="3">積極的 支援</td> <td rowspan="3">動機付け 支援</td> </tr> <tr> <td>2つ該当</td> <td style="text-align: center;">あり なし</td> </tr> <tr> <td>1つ該当</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)喫煙歴の斜線欄は階層化の判定が喫煙歴の有無に関係ないことを意味する。</p> <p>方 法：動機づけ支援…初回面接、通信による評価(3か月後) 積極的支援…初回面接、面接や電話を組み合わせた180ポイント以上の継続的な支援・評価(3か月後) ※能代厚生医療センターとJCHO秋田病院での健診受診者分は委託 ※2018年～初回面接の分割実施(市保健センター)導入 ※2024年～アウトカム評価(「腹囲2cm・体重2kg減」達成で180ポイントを付与)の導入 実施者：市民保険課、健康づくり課、市民福祉課</p>							腹囲	追加リスク ①血糖 ②脂質 ③血圧	④喫煙歴	対象		40-64歳	65-74歳	≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当	/	積極的 支援	動機付け 支援	1つ該当	あり なし	上記以外で BMI≥25	3つ該当	/	積極的 支援	動機付け 支援	2つ該当	あり なし	1つ該当	/
腹囲	追加リスク ①血糖 ②脂質 ③血圧	④喫煙歴	対象																												
			40-64歳	65-74歳																											
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当	/	積極的 支援	動機付け 支援																											
	1つ該当	あり なし																													
上記以外で BMI≥25	3つ該当	/	積極的 支援	動機付け 支援																											
	2つ該当	あり なし																													
	1つ該当	/																													
評価																															
課題		実施率は改善傾向にあるが、職員不足等により実施できない場合があり、目標値に達していない。実施体制の見直しが必要。																													
次年度以降の対応方針		実施体制の見直しを検討し、健診当日の保健指導・分割実施を行う。																													

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート  
(特定健診結果に基づく医療機関への受診勧奨)

作成年月日	令和6(2024)年3月
市町村名	能代市

評価指標		計画策定時の値 R4(2022)年度	第3期計画期間					
			R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
<アウトカム指標> 特定健診で受診勧奨を受けた者の医療機関受診率	目標値	-	56.0%	57.0%	58.0%	59.0%	60.0%	61.0%
	実績	55.0%						
<アウトプット指標> 対象者に対する通知発送	目標値	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績	100.0%						
関連施策の実施状況								
事業名①	特定健診後の医療機関受診勧奨							
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など) 対象者：特定健診で受診勧奨を受けた者 方 法：結果通知の医師の判断に応じたパンフレットを送付し受診を勧める。 また、必要に応じて電話や対面により保健指導及び受診勧奨を行う。 実施者：市民保険課							
評価								
課題	勧奨(パンフレット)の内容は医療機関への受診を必ず求める内容ではなく、可能な限り受診を勧める内容にとどめており、受診行動に結びつけることが難しい。							
次年度以降の対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診結果に基づき、医療機関への受診勧奨を行うが、生活習慣の見直しや医療機関の受診ができるよう、必要な場合は電話や対面による保健指導を行う。(保健指導判定値以上の方も含める)</li> <li>・健診の継続受診も同時に促していく。</li> </ul>							

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート  
(がん検診)

作成年月日	令和6（2024）年3月
市町村名	能代市

評価指標		計画策定時の値 R4(2022)年度	第3期計画期間					
			R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
<アウトカム指標> 胃がん検診の受診率	目標値	-	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
	実績	11.6%						
<アウトカム指標> 大腸がん検診の受診率	目標値	-	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
	実績	10.3%						
<アウトカム指標> 肺がん検診の受診率	目標値	-	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
	実績	13.4%						
<アウトカム指標> 子宮頸がん検診の受診率	目標値	-	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
	実績	30.9%						
<アウトカム指標> 乳がん検診の受診率	目標値	-	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%
	実績	22.4%						
関連施策の実施状況								
事業名①	がん検診							
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など) <b>【対象者】</b> 肺がん：40歳以上、胃がん：全年齢、大腸がん：全年齢、 子宮頸がん：20歳以上、乳がん：40歳以上 <b>【実施機関】</b> (直営)能代市保健センター (委託)能代厚生医療センター、JCHO秋田病院、秋田県総合保健事業団 <b>●個別医療機関方式</b> <b>【大腸がん】</b> 市内28医療機関(令和5年10月現在) <b>【子宮頸がん検診】</b> 市内3医療機関							
事業名②	がん検診無料クーポン券の発行							
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など) <b>【胃がん】</b> 40, 45, 50, 52, 54, 55, 56, 58, 60歳 <b>【大腸がん】</b> 40, 45, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 60歳 <b>【子宮頸がん】</b> 20, 22, 24, 25, 26, 28, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 40歳 <b>【乳がん】</b> 40, 41, 43, 45, 50, 55, 60歳							

事業名③	日曜がん検診、午後の乳がん検診
事業の具体的内容	<p>(対象者、方法、実施者など)</p> <p>【日曜がん検診】  保健センター、能代厚生医療センター、JCHO秋田病院の3機関で実施。  4年度実績：計7回予定していたところ、新型コロナウイルス感染症の影響で  2回中止となったが、実施した5回で112人が受診。</p> <p>【午後の乳がん検診】  保健センターで実施。  4年度実績：9回実施し、23人が受診。</p>
評価	
課題	受診率が低下傾向にあるため、市民の健康づくりへの関心を高め、がんの予防、 早期発見につながる取り組みを検討していかなければならない。
次年度以降の対応方針	引き続き事業を実施していく。

第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート  
(糖尿病重症化予防)

作成年月日	令和6(2024)年3月
市町村名	能代市

評価指標		計画策定時の値 R4(2022)年度	第3期計画期間					
			R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
<アウトカム指標> 被保険者に占める糖尿病患者の割合	目標値	-	14.0%	13.5%	13.0%	12.5%	12.0%	11.5%
	実績	14.4%						
<アウトカム指標> HbA1c8.0%以上の者の割合	目標値	-	0.82%	0.80%	0.78%	0.76%	0.74%	0.72%
	実績	0.84%						
<アウトカム指標> 新規人工透析患者数	目標値	-	11人	11人	11人	10人	10人	10人
	実績	12人						
<アウトプット指標> 保健指導実施者数 (治療中患者)	目標値	-	10人	10人	10人	10人	10人	10人
	実績	7人						
<アウトプット指標> 受診勧奨実施者数 (未治療者・治療中断者)	目標値	-	50人	50人	50人	50人	50人	50人
	実績	50人 (R5)						
関連施策の実施状況								
事業名①	糖尿病性腎症重症化予防事業(治療中の患者)							
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など) 対象者：糖尿病治療中の患者で、糖尿病性腎症の病期から、保健指導が必要であると医師が判断し本人が同意した者 方法：面談などによる栄養、運動、服薬管理など6か月の保健指導を実施する。 実施者：市民保険課および委託先							
事業名②	糖尿病性腎症重症化予防事業(未受診者、治療中断者)							
事業の具体的内容	(対象者、方法、実施者など) 対象者：①糖尿病未治療者 特定健診データから次の者を抽出したうえで、直近6か月以内に糖尿病(下記[抽出条件]bについては慢性腎臓病を含む)で受診した記録のない者 [抽出条件] a：尿蛋白(+)以上かつ空腹時血糖126mg/dl(随時血糖200mg/dl)以上または尿蛋白(+)以上かつHbA1c6.5%以上 b：eGFR45ml/分/1.73m <sup>2</sup> 未満 ②糖尿病治療中断者 レセプトデータから、過去2年前から1年前までの1年間に糖尿病での治療歴がある者で、最近6か月以内に糖尿病で受診した記録のない者 方法：医療機関宛の「連絡票」を同封した文書を通知することにより受診勧奨を行う。3か月後、レセプトや連絡票で受診状況を確認し、医療機関につながっていない場合は、面談による受診勧奨および保健指導を行う。 実施者：市民保険課、市民福祉課							
評価								
課題	糖尿病の重症化は、患者のQOLを著しく低下させるだけではなく、医療費負担も大きくなるため、生活習慣病を起因とする糖尿病性腎症重症化予防に取り組む必要がある。							
次年度以降の対応方針	糖尿病性腎症の重症化リスクの高い者を抽出し、早期に保健指導を実施することで、生活習慣の改善を図り重症化を予防する。未治療者・治療中断者に対しても勧奨通知を送り、医療機関につながらない対象者に対し、保健指導を行う。							



第3期データヘルス計画における秋田県共通評価シート  
(医療費適正化)

作成年月日	令和6(2024)年3月
市町村名	能代市

評価指標		計画策定時の値 R4(2022)年度	第3期計画期間					
			R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
<アウトカム指標> 重複処方状況	目標値	-	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実績	1人						
<アウトカム指標> 多剤投与状況	目標値	-	1650人	1600人	1550人	1500人	1450人	1400人
	実績	1682人						
<アウトプット指標> 保健指導の訪問者数	目標値	-	8人	8人	8人	8人	8人	8人
	実績	4人						
<アウトカム指標> 後発医薬品使用率	目標値	-	79.0%	79.5%	80.0%	80.5%	81.0%	81.5%
	実績	78.5%						
<アウトプット指標> 後発医薬品使用者への通知	目標値	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	100%						
関連施策の実施状況								
事業名①		受診行動適正化指導事業(重複・多剤服薬)						
事業の具体的内容		(対象者、方法、実施者など) 対象者：重複：2医療機関以上から6医薬品以上を処方された者 多剤：30処方日数以上かつ5医薬品以上処方された者 方法：レセプトデータ等から対象者を特定し、服薬情報を通知するとともに、 リスクが高い対象者には適正な医療機関へのかかり方等について、保健 師による保健指導を実施する。 実施者：市民保険課						
事業名②		ジェネリック医薬品差額通知事業						
事業の具体的内容		(対象者、方法、実施者など) 対象者：被保険者(16～74歳) 方法：レセプトデータから、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬代差額 が一定以上の対象者へ通知を送付する。 実施者：市民保険課						
評価								
課題		重複・多剤服薬は、医療費増加だけではなく患者自身にも過剰な服薬によるリスクもあることから、行動変容を促す必要がある。						
次年度以降の対応方針		ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方されている者から、指導効果の高いと考えられる者を抽出し支援を行うことにより、健康の保持増進、疾病の早期回復をめざし、適正な服用となるように導く。 ジェネリック医薬品差額通知事業は、引き続き取り組んでいく。						

## 第6章 その他

### 1. 計画の評価及び見直し

#### (1) 個別の保健事業の評価・見直し

個別の保健事業の評価は年度毎に行うことを基本として、計画策定時に設定した保健事業毎の評価指標に基づき、事業の効果や目標の達成状況を確認する。

目標の達成状況が想定に達していない場合は、ストラクチャーやプロセスが適切であったか等を確認の上、目標を達成できなかった原因や事業の必要性等を検討して、次年度の保健事業の実施やデータヘルス計画の見直しに反映させる。

#### (2) データヘルス計画全体の評価・見直し

##### ① 評価の時期

最終評価のみならず、設定した評価指標に基づき、進捗確認のため令和8（2026）年度に中間評価を行い、次期計画の円滑な策定に向けて、計画の最終年度である令和11（2029）年度上半期に仮評価を行う。

##### ② 評価方法・体制

計画は、中長期的な計画運営を行うものであることを踏まえ、短期では評価が難しいアウトカム（成果）指標を中心とした評価指標による評価を行う。また、評価に当たっては、後期高齢者医療広域連合と連携して行うなど、他保険者との連携・協力体制の整備に努める。

### 2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、あらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

### 3. 個人情報の取扱い

個人情報の取扱いに当たっては、個人情報の保護に関する各種法令、ガイドラインに基づき適切に管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取られるよう委託契約書に定めるとともに、委託先に対して必要かつ適切な管理・監督を行い、個人情報の取扱いについて万全の対策を講じるものとする。

### 4. 地域包括ケアに係る取り組み

令和2（2020）年4月から「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」が本格施行となり、被保険者一人ひとりの暮らしを地域全体で支える地域共生社会の体制の構築・実現を目指す、地域包括ケアシステムの充実・強化が推進されている。

本市においても市内各部門及び地域における専門機関、事業者、団体等の関係機関との連携により、関係者間で包括的に地域の実態把握・課題分析を共有し、地域包括ケアに係る取り組みを図れるよう努める。

第2部  
第4期特定健康診査等実施計画

# 第1章 特定健康診査等実施計画について

## 1. 計画策定の趣旨

近年、急速な少子高齢化、経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化など、大きな環境変化に直面し、医療制度を今後も持続していくための構造改革が急務となっている。

このような状況に対応するため、健康と長寿を確保しつつ、医療費の伸びの抑制にもつながることから、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視することとし、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号。以下「法」という。)により、医療保険者は被保険者に対し生活習慣病に関する健康診査及び保健指導を実施することとされた。

能代市国民健康保険においても、法第19条に基づき特定健康診査等実施計画(第1期～第3期)を策定し、特定健康診査及び特定保健指導の適切かつ有効な実施に努めてきた。このたび、令和5(2023)年度に前期計画が最終年度を迎えることから、令和6(2024)年度を初年度とする第4期特定健康診査等実施計画を策定する。

## 2. 特定健康診査等実施計画の位置づけ

法第19条を踏まえるとともに、「健康増進計画」及び「データヘルス計画」等で用いた評価指標を用いるなど、それぞれの計画との整合性を図るものとする。

## 3. 計画期間

計画期間は令和6(2024)年度から令和11(2029)年度までの6年間とする。

## 4. データ分析期間

### ■入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト

単年分析

令和4(2022)年4月～令和5(2023)年3月診療分(12か月分)

### ■健康診査データ

単年分析

令和4(2022)年4月～令和5(2023)年3月健診分(12か月分)

年度分析

令和2(2020)年度…令和2(2020)年4月～令和3(2021)年3月健診分(12か月分)

令和3(2021)年度…令和3(2021)年4月～令和4(2022)年3月健診分(12か月分)

令和4(2022)年度…令和4(2022)年4月～令和5(2023)年3月健診分(12か月分)

### ■国保データベース(KDB)システムデータ

平成30(2018)年度～令和4(2022)年度(5年分)

## 第2章 特定健康診査及び特定保健指導の現状と評価

### 1. 取り組みの実施内容

以下は、特定健康診査及び特定保健指導に係る、これまでの主な取り組みを示したものである。

#### 【特定健康診査】

事業分類	取り組み	実施内容
特定健康診査 未受診者勧奨	未受診者への受診勧奨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層(40～42歳)や50～70歳まで5歳ごとを対象に訪問勧奨、また、前年度以前や当年度に未受診だった者に対して文書勧奨等を行った。</li> <li>・医療機関に対し診療検査結果情報提供の協力をお願いした。</li> </ul>
特定健康診査の 周知・啓発	啓発ポスター掲示、ホームページ・広報紙での情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所、地域センター等の公共施設にポスターを掲示し、啓発を行った。</li> <li>・ホームページや広報紙「のしらの国保」、パンフレット等で受診方法や健診実施医療機関等の情報提供を行った。</li> </ul>
	会議やイベント等での受診促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診説明会やのしろ産業フェアなどでの啓発を行った。</li> </ul>
健(検)診体制 の整備	休日検診の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診実施医療機関と連携し、休日検診を実施し、受診機会の拡大を図った。</li> </ul>
	がん検診との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施機関との調整を行い、がん検診と特定健康診査のセット受診を可能とした。</li> </ul>

#### 【特定保健指導】

事業分類	取り組み	実施内容
特定保健指導の 利用勧奨	参加者へのインセンティブ付与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導利用者に対し、生活習慣改善のための健康グッズを配布した。</li> </ul>
	利用勧奨通知を発送	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者や未利用者(委託医療機関対象者のみ)へ利用勧奨通知を発送した。</li> </ul>
特定保健指導の 実施体制	利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり課と連携し、保健センター健診時に初回面接の当日実施ができる体制を整えた。</li> <li>・指定日以外でも本人の状況に合わせて希望日時を確認し対応した。来庁が困難な場合は、訪問による保健指導を実施。また市民福祉課との連携により、二ツ井地域の方は二ツ井町庁舎で実施できる体制を整えた。</li> </ul>
	継続的支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接、電話、手紙等で担当スタッフ等が生活習慣の改善状況を確認した(3か月以上)。</li> <li>・自身で「行動目標」に沿って生活習慣改善を実施した。</li> </ul>

## 2. 特定健康診査の受診状況

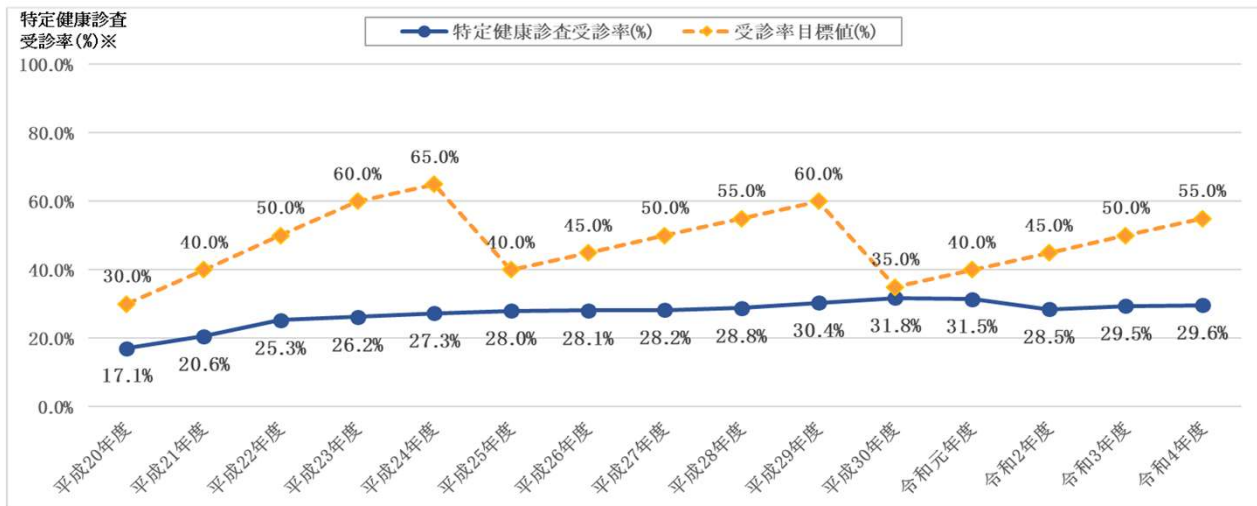
以下は、平成20（2008）年度から令和4（2022）年度における、特定健康診査の受診状況を示したものである。

### 特定健康診査受診率及び目標値

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
特定健康診査対象者数(人)	12,943	12,592	12,281	12,091	11,701	11,419	11,043	10,593
特定健康診査受診者数(人)	2,213	2,593	3,108	3,173	3,195	3,203	3,104	2,992
特定健康診査受診率(%)※	17.1%	20.6%	25.3%	26.2%	27.3%	28.0%	28.1%	28.2%
受診率目標値(%)	30.0%	40.0%	50.0%	60.0%	65.0%	40.0%	45.0%	50.0%
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特定健康診査対象者数(人)	10,033	9,512	9,127	8,839	8,847	8,515	8,008	
特定健康診査受診者数(人)	2,894	2,889	2,900	2,782	2,518	2,509	2,374	
特定健康診査受診率(%)※	28.8%	30.4%	31.8%	31.5%	28.5%	29.5%	29.6%	
受診率目標値(%)	55.0%	60.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%

特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。  
 ※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

### 特定健康診査受診率及び目標値



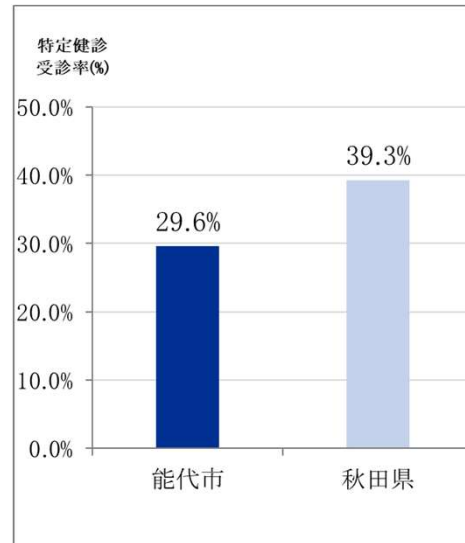
特定健康診査対象者数、特定健康診査受診者数、特定健康診査受診率は法定報告値。  
 ※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合。

法定報告および国保データベース(KDB)システムより集計した、令和4（2022）年度における、特定健康診査受診率は以下のとおりである。

特定健康診査受診率(令和4年度)

区分	特定健診受診率
能代市	29.6%
秋田県	39.3%

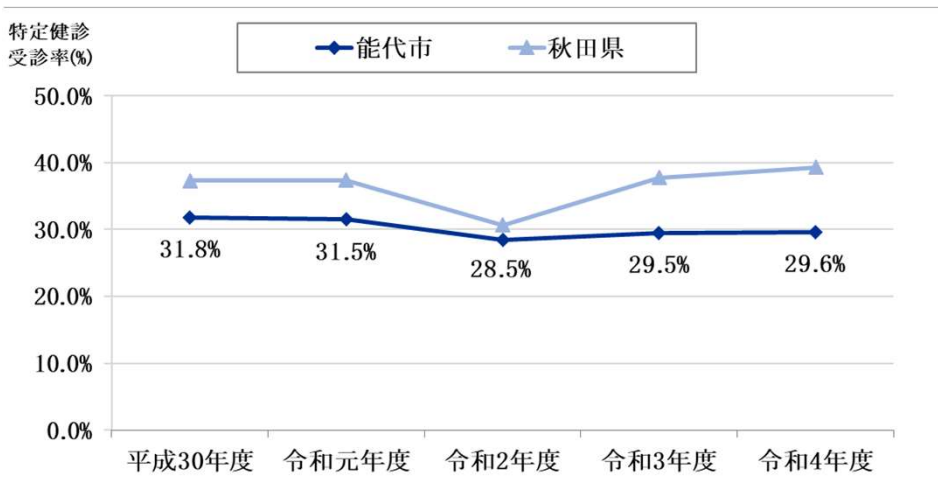
出典：法定報告



以下は、本市の平成30（2018）年度から令和4（2022）年度における、特定健康診査受診率を年度別に示したものである。令和2（2020）年度の受診率の減少は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が考えられる。令和4年度の特定健康診査受診率29.6%は平成30年度31.8%より2.2ポイント減少している。

年度別 特定健康診査受診率

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
能代市	31.8%	31.5%	28.5%	29.5%	29.6%
秋田県	37.3%	37.4%	30.7%	37.8%	39.3%



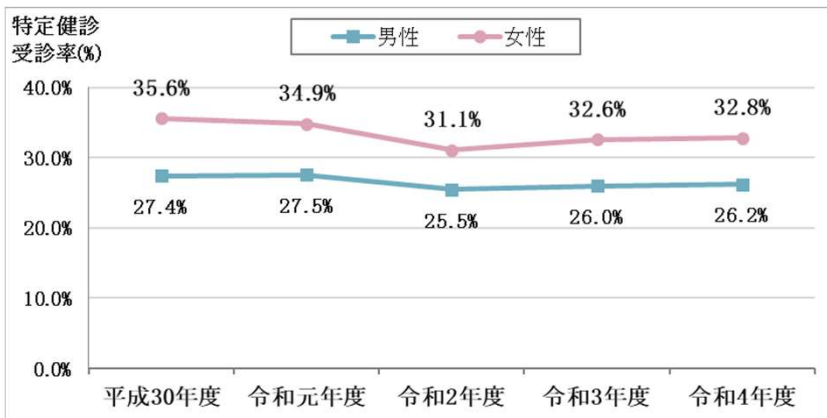
出典：法定報告



男女別の特定健康診査の受診率をみると、この5年間、女性の受診率が男性を上回っている。男性の令和4年度受診率26.2%は、平成30年度27.4%より1.2ポイント減少しており、女性の令和4年度受診率32.8%は、平成30年度35.6%より2.8ポイント減少している。

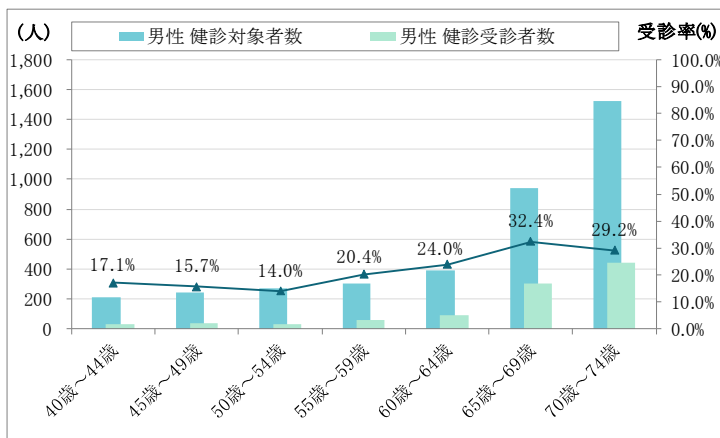
また、年齢別でみると、男女とも40～54歳の年齢層の受診率が特に低くなっている。

年度・男女別 特定健康診査受診率

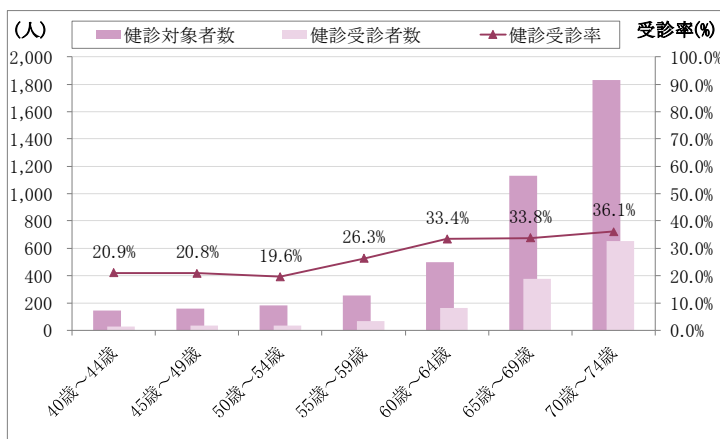


出典: 法定報告 (能代市)

(男性) 年齢別特定健康診査受診率(令和4年度)



(女性) 年齢別特定健康診査受診率(令和4年度)



### 3. 特定保健指導の実施状況

以下は、平成20（2008）年度から令和4（2022）年度における、特定保健指導の実施状況を示したものである。

#### 特定保健指導実施率及び目標値

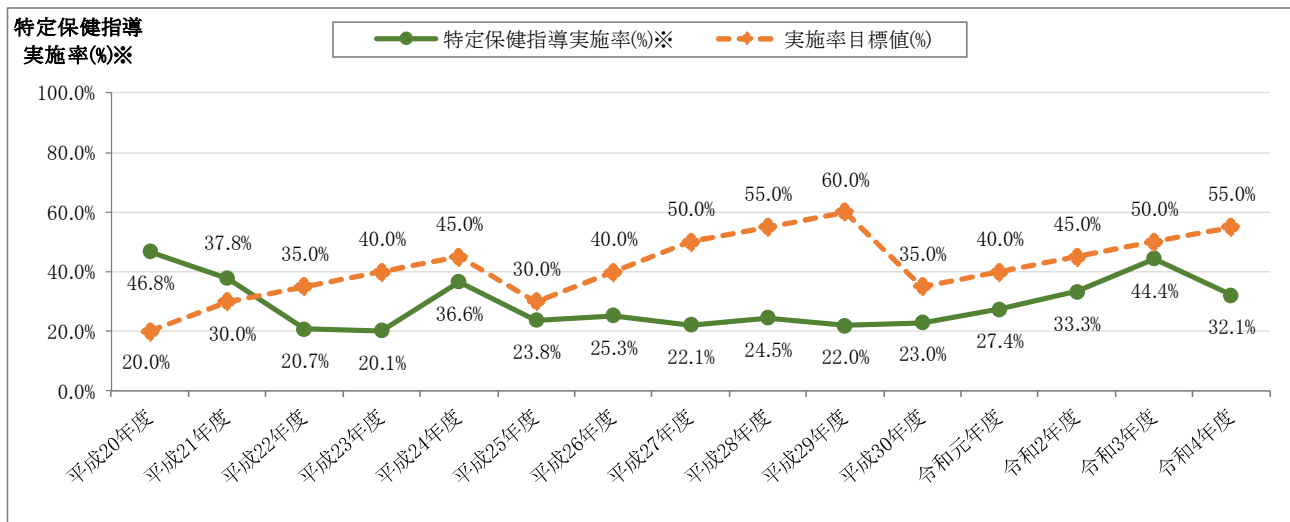
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
特定保健指導対象者数(人)	329	370	353	378	366	315	332	339
特定保健指導利用者数(人)	154	168	82	80	151	86	97	97
特定保健指導実施者数(人)※	154	140	73	76	134	75	84	75
特定保健指導実施率(%)※	46.8%	37.8%	20.7%	20.1%	36.6%	23.8%	25.3%	22.1%
実施率目標値(%)	20.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	30.0%	40.0%	50.0%
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特定保健指導対象者数(人)	306	287	296	274	216	196	193	
特定保健指導利用者数(人)	64	77	74	84	89	93	69	
特定保健指導実施者数(人)※	75	63	68	75	72	87	62	
特定保健指導実施率(%)※	24.5%	22.0%	23.0%	27.4%	33.3%	44.4%	32.1%	
実施率目標値(%)	55.0%	60.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%

特定保健指導対象者数、特定保健指導利用者数、特定保健指導実施者数、特定保健指導実施率は法定報告値。

※特定保健指導実施者数…特定保健指導を終了した人数。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合。

#### 特定保健指導実施率及び目標値



特定保健指導実施率は法定報告値。

※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導終了者の割合。

以下は、支援レベル別の特定保健指導の実施状況を示したものである。

### 動機付け支援実施状況

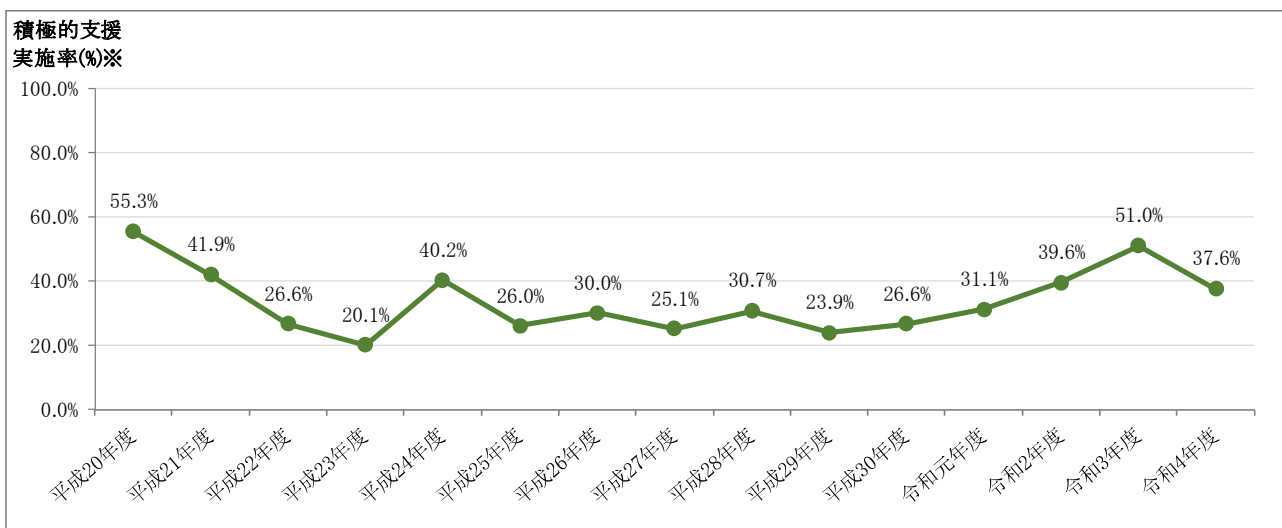
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
動機付け支援対象者数(人)	244	260	241	259	259	231	243	243
動機付け支援利用者数(人)	135	120	66	52	114	70	79	76
動機付け支援実施者数(人)※	135	109	64	52	104	60	73	61
動機付け支援実施率(%)※	55.3%	41.9%	26.6%	20.1%	40.2%	26.0%	30.0%	25.1%
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
動機付け支援対象者数(人)	218	222	233	209	164	147	149	
動機付け支援利用者数(人)	53	66	63	67	70	76	56	
動機付け支援実施者数(人)※	67	53	62	65	65	75	56	
動機付け支援実施率(%)※	30.7%	23.9%	26.6%	31.1%	39.6%	51.0%	37.6%	

動機付け支援対象者数、動機付け支援利用者数、動機付け支援実施者数、動機付け支援実施率は法定報告値。

※動機付け支援実施者数…動機付け支援を終了した人数。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

### 動機付け支援実施状況



動機付け支援実施率は法定報告値。

※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合。

## 積極的支援実施状況

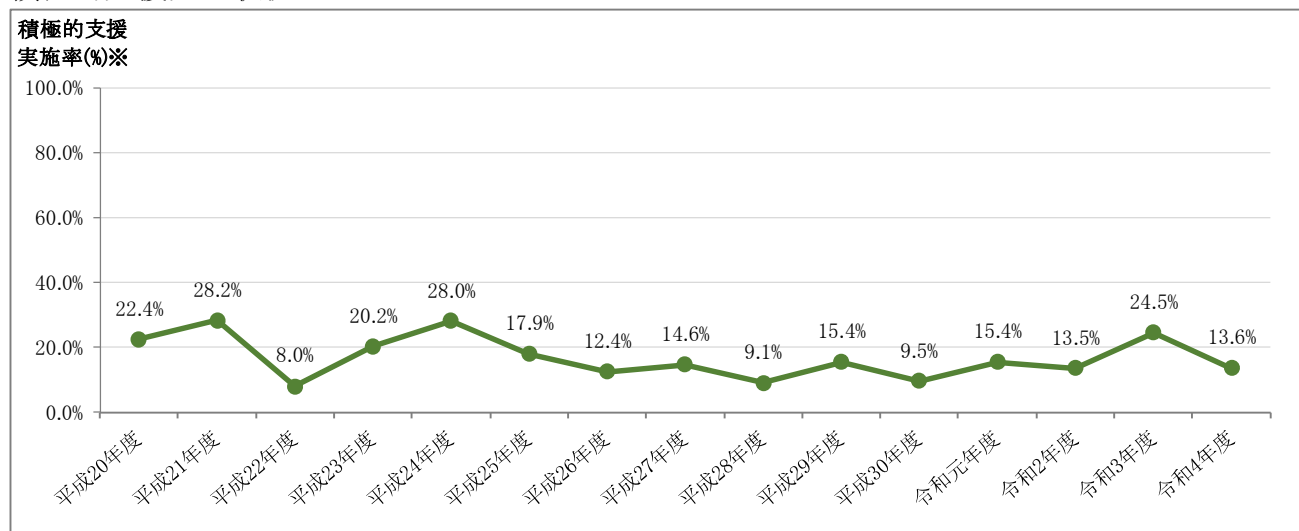
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
積極的支援対象者数(人)	85	110	112	119	107	84	89	96
積極的支援利用者数(人)	19	48	16	28	37	16	18	21
積極的支援実施者数(人)※	19	31	9	24	30	15	11	14
積極的支援実施率(%)※	22.4%	28.2%	8.0%	20.2%	28.0%	17.9%	12.4%	14.6%
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
積極的支援対象者数(人)	88	65	63	65	52	49	44	
積極的支援利用者数(人)	11	11	11	17	19	17	13	
積極的支援実施者数(人)※	8	10	6	10	7	12	6	
積極的支援実施率(%)※	9.1%	15.4%	9.5%	15.4%	13.5%	24.5%	13.6%	

積極的支援対象者数、積極的支援利用者数、積極的支援実施者数、積極的支援実施率は法定報告値。

※積極的支援実施者数…積極的支援を終了した人数（動機付け支援相当を終了した者も含む）。

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

## 積極的支援実施状況



積極的支援実施率は法定報告値。

※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合。

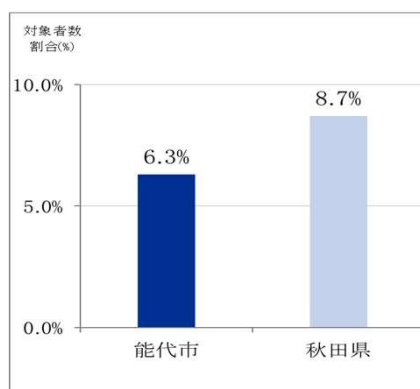
国保データベース (KDB) システムより集計した、令和4 (2022) 年度における、特定保健指導対象者数割合と特定保健指導の実施状況は以下のとおりである。

### 特定保健指導実施状況 (令和4年度)

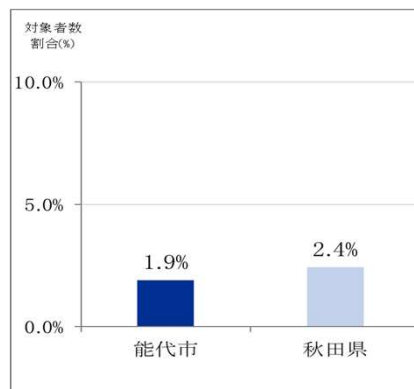
区分	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導実施率
能代市	6.3%	1.9%	8.2%	32.1%
秋田県	8.7%	2.4%	11.1%	16.9%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。  
出典:法定報告

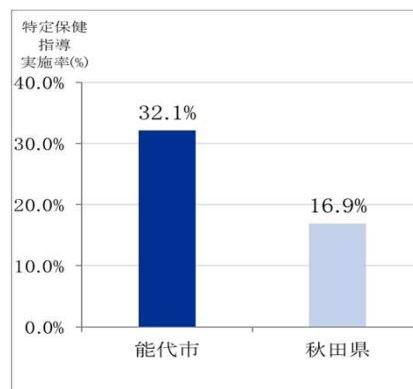
#### 動機付け支援対象者数割合 (令和4年度)



#### 積極的支援対象者数割合 (令和4年度)

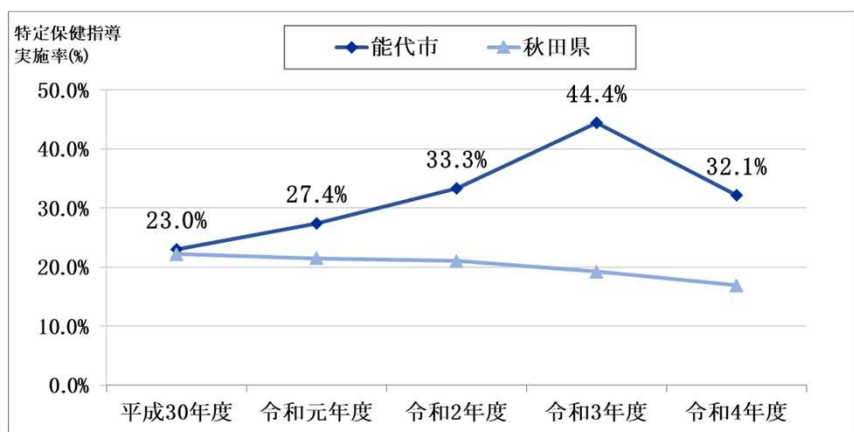


#### 特定保健指導実施率 (令和4年度)



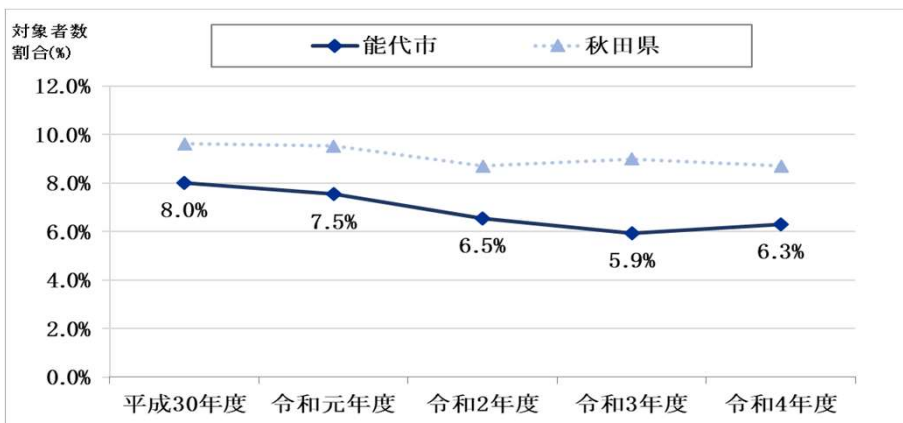
### 年度別 特定保健指導実施率

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
能代市	23.0%	27.4%	33.3%	44.4%	32.1%
秋田県	22.2%	21.5%	21.0%	19.2%	16.9%



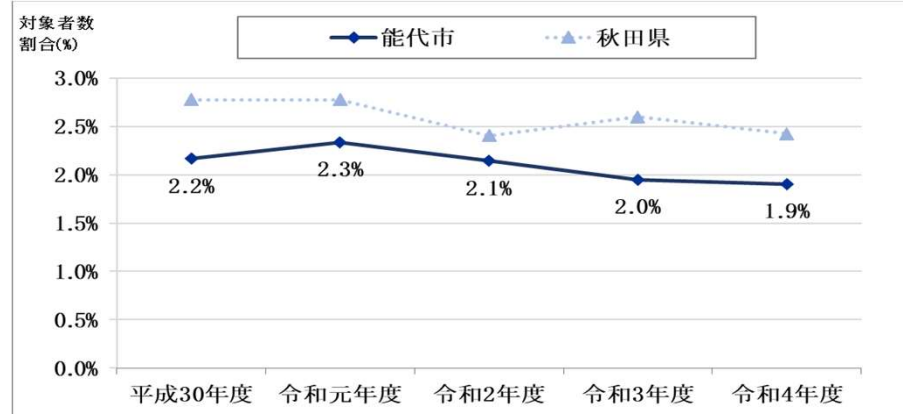
年度別 動機付け支援対象者数割合

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
能代市	8.0%	7.5%	6.5%	5.9%	6.3%
秋田県	9.6%	9.5%	8.7%	9.0%	8.7%



年度別 積極的支援対象者数割合

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
能代市	2.2%	2.3%	2.1%	2.0%	1.9%
秋田県	2.8%	2.8%	2.4%	2.6%	2.4%



動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。  
出典:法定報告

年度別 支援対象者数割合

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
能代市	10.2%	9.9%	8.7%	7.9%	8.2%
秋田県	12.4%	12.3%	11.1%	11.6%	11.1%

## 4. メタボリックシンドローム該当状況

以下は、令和4（2022）年4月～令和5（2023）年3月健診分（12か月分）における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を示したものである。基準該当は21.5%、予備群該当は9.8%である。

メタボリックシンドローム該当状況

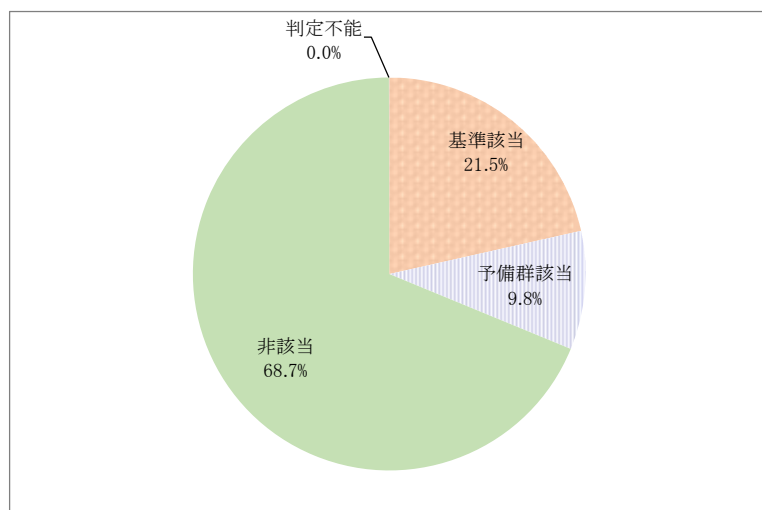
	健診受診者数	基準該当	予備群該当	非該当
該当者数(人)	2,417	519	236	1,661
割合(%) ※	-	21.5%	9.8%	68.7%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

メタボリックシンドローム該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

### ※メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖: 空腹時血糖が110mg/dl以上

②脂質: 中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧: 収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

※糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者も対象となる。

以下は、令和2（2020）年度から令和4（2022）年度における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況を年度別に示したものである。令和4年度を令和2年度と比較すると、基準該当21.5%は令和2年度19.1%より2.4ポイント増加しており、予備群該当9.8%は令和2年度8.5%より1.3ポイント増加している。

### 年度別 メタボリックシンドローム該当状況

年度	健診受診者数(人)	
	令和2年度	2,259
令和3年度	2,564	
令和4年度	2,417	

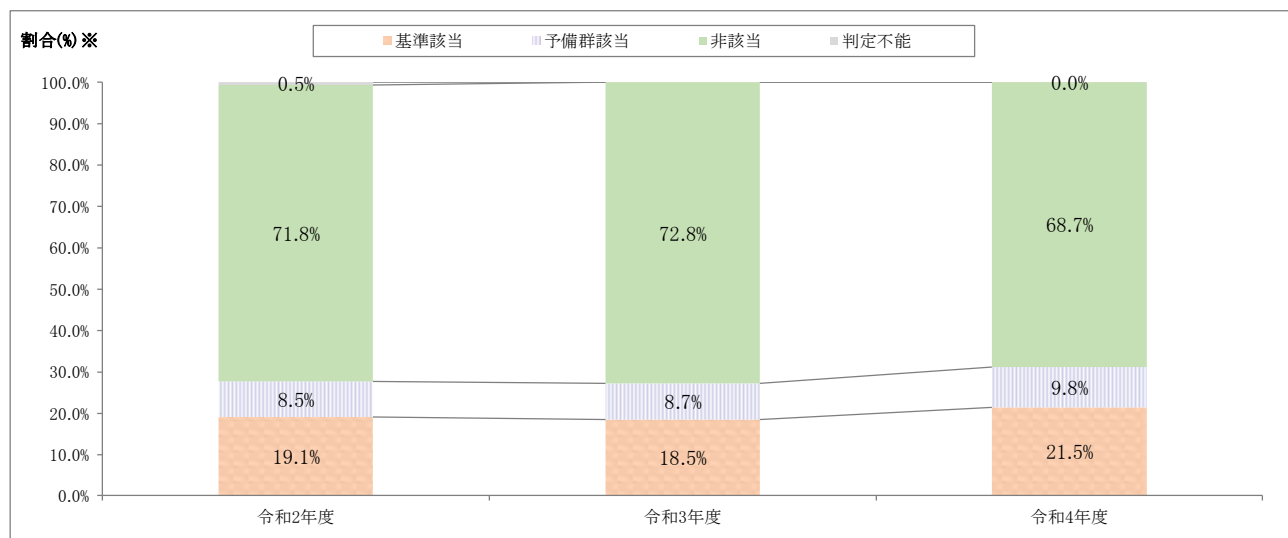
年度	基準該当		予備群該当		非該当		判定不能	
	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※
令和2年度	432	19.1%	193	8.5%	1,623	71.8%	11	0.5%
令和3年度	475	18.5%	222	8.7%	1,867	72.8%	0	0.0%
令和4年度	519	21.5%	236	9.8%	1,661	68.7%	1	0.0%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和2年4月～令和5年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

### 年度別 メタボリックシンドローム該当状況





## 5. 第3期計画の評価と考察

### (1) 現状のまとめと目標に対する達成状況

事業分類	指標	状況
特定健康診査	特定健診受診率実績値	令和4年度の実績は29.6%で、目標としていた60%を大きく下回っている。男女別の年齢階層別受診率をみると、男女ともに40～50歳代の受診率が低い状況にある。
	特定健診受診率の伸び率	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で受診率が低下し、その後、令和3年度・4年度は令和2年度をわずかに上回ったものの、依然として30%を下回っている。
特定保健指導	特定保健指導実施率実績値	実施率は経年で比較すると上昇傾向にあるものの、令和4年度では32.1%と目標としていた50%を下回っている。令和4年度の実績を男女別でみると、男性29.7%、女性35.4%と、女性に比べて男性の実施率が低い。年代別でみると、40～44歳の実施率が7.1%と最も低く、65～69歳の実施率が45.5%と最も高くなっている。
	特定保健指導実施率の伸び率	計画策定時点(平成30年度)実績23.0%と比較すると、9.1ポイント上昇している。
メタボリックシンドローム該当者割合	メタボリックシンドローム該当者割合の実績値	令和4年度の健診受診者における、基準該当と予備群該当を合わせた該当者割合は31.3%である。
	メタボリックシンドローム該当者割合の減少率	令和2年度と比較すると、基準該当が2.4ポイント、予備群該当は1.3ポイント増加している。

### (2) 事業実施体制の評価

事業分類	状況
職員体制	特定健診受診勧奨にあたり、国保部局内に専門職(管理栄養士)1名と事務補助1名(いずれも会計年度任用職員)の訪問勧奨員を配置したほか、一部業務において委託した。特定保健指導においては、国保部局内に専門職(保健師・管理栄養士)を配置した。また、健康づくり課では初回面接を担当する専門職(管理栄養士)を配置した。毎年度、特定保健指導についての研修会に参加し、保健指導の質的向上に努めた。
関係機関・部門との連携	秋田県国民健康保険団体連合会の保健事業支援・評価委員会に出席し、勧奨業務に係る助言をいただいたほか、地域医療機関との連携を強化し、かかりつけ医からの健診受診勧奨の取り組みにより、受診率向上につながった。
実施体制	特定健診受診勧奨においては、訪問勧奨員により若年層(40～42歳)や50～70歳まで5歳ごとを対象に勧奨を行ったほか、委託先により過去5年で1年でも未受診歴のあった者に対し文書勧奨を行った。特定保健指導においては、保健センターでの特定保健指導の初回面接当日実施が可能となったことで、特定保健指導実施率向上につながった。

## 第3章 特定健康診査に係る詳細分析

### 1. 特定健診の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

以下は、特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を示したものである。特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の65.3%である。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の49.7%である。

#### 特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況

	人数(人)	構成比(%)	生活習慣病医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
健診受診者	2,374	29.6%	623,091	122,466,802	123,089,893
健診未受診者	5,634	70.4%	14,361,052	288,519,306	302,880,358
合計	8,008		14,984,143	410,986,108	425,970,251

	生活習慣病患者数 ※						生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
	入院		入院外		合計 ※		入院	入院外	合計
	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)			
健診受診者	71	2.9%	1,578	65.3%	1,579	65.3%	8,776	77,609	77,954
健診未受診者	278	4.4%	3,146	49.3%	3,167	49.7%	51,658	91,710	95,636
合計	349	4.0%	4,724	53.7%	4,746	54.0%	42,935	87,000	89,754

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12か月分)。※人数・構成比はR4法定報告(能代市)

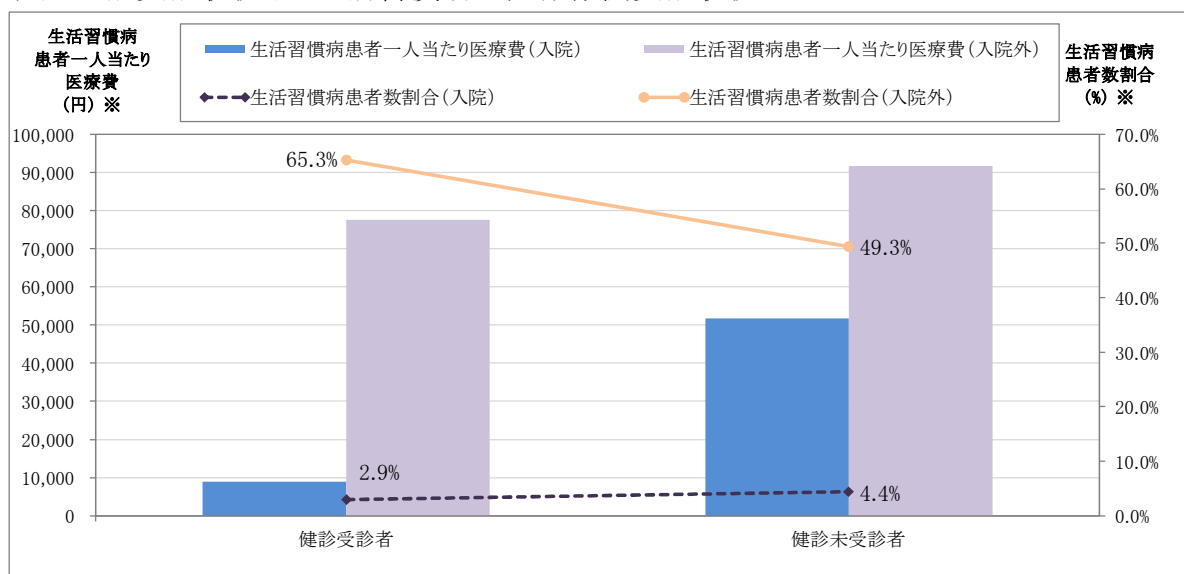
資格確認日…令和5年3月31日時点。

※生活習慣病医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者の生活習慣病医療費。

※生活習慣病患者数…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区分けなく集計した実人数。

※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

#### 特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は令和4年4月～令和5年3月診療分(12か月分)。健康診査データは令和4年4月～令和5年3月健診分(12か月分)。

資格確認日…令和5年3月31日時点。

※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

※生活習慣病患者数割合…健診受診者、健診未受診者それぞれに占める、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数の割合。

## 2. 特定保健指導対象者に係る分析

### (1) 保健指導レベル該当状況

以下は、令和4（2022）年4月～令和5（2023）年3月健診分（12か月分）における、保健指導レベル該当状況を示したものである。積極的支援対象者割合は1.9%、動機付け支援対象者割合は6.3%である。

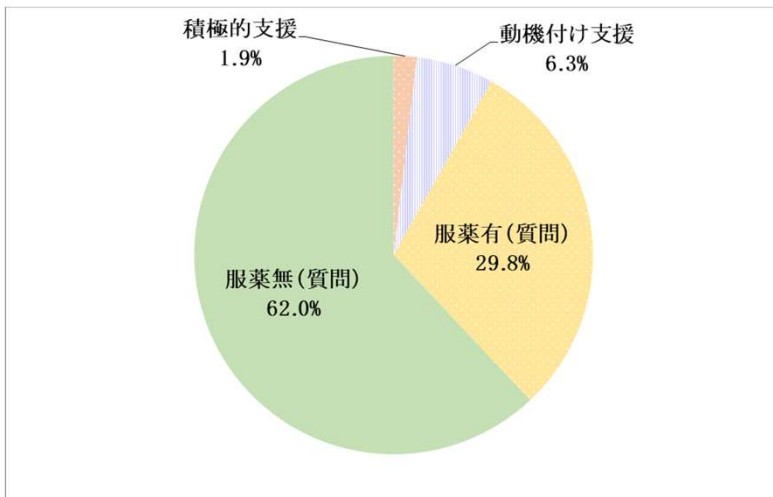
#### 保健指導レベル該当状況

	健診受診者数 (人)	該当レベル					判定不能
		特定保健指導対象者(人)		情報提供			
		積極的支援	動機付け支援	服薬有(質問)	服薬無(質問)		
該当者数(人)	2,374	193	44	149	707	1,474	0
割合(%) ※	-	8.2%	1.9%	6.3%	29.8%	62.0%	0.0%

データ化範囲(分析対象)…令和4年度法定報告の値を使用。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

#### 保健指導レベル該当状況



データ化範囲(分析対象)…令和4年度法定報告の値を使用。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

#### ※特定保健指導の対象者(階層化の基準)

腹囲/BMI	追加リスク	喫煙歴(注)	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40歳-64歳	65歳-74歳
≥85cm (男性) ≥90cm (女性)	2つ以上該当	なし	積極的支援	動機付け支援
	1つ該当	あり		
上記以外でBMI ≥25	3つ該当	なし	積極的支援	動機付け支援
	2つ該当	あり		
	1つ該当	なし		

(注) 喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖：空腹時血糖が100mg/dl以上 または HbA1c(NGSP値)5.6%以上

(空腹時血糖及びHbA1c(NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質：中性脂肪150mg/dl以上 または HDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧：収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、積極的支援の対象となった場合でも動機付け支援とする。

また、年齢階層別保健指導レベル該当状況は以下のとおりである。

### 年齢階層別 保健指導レベル該当状況

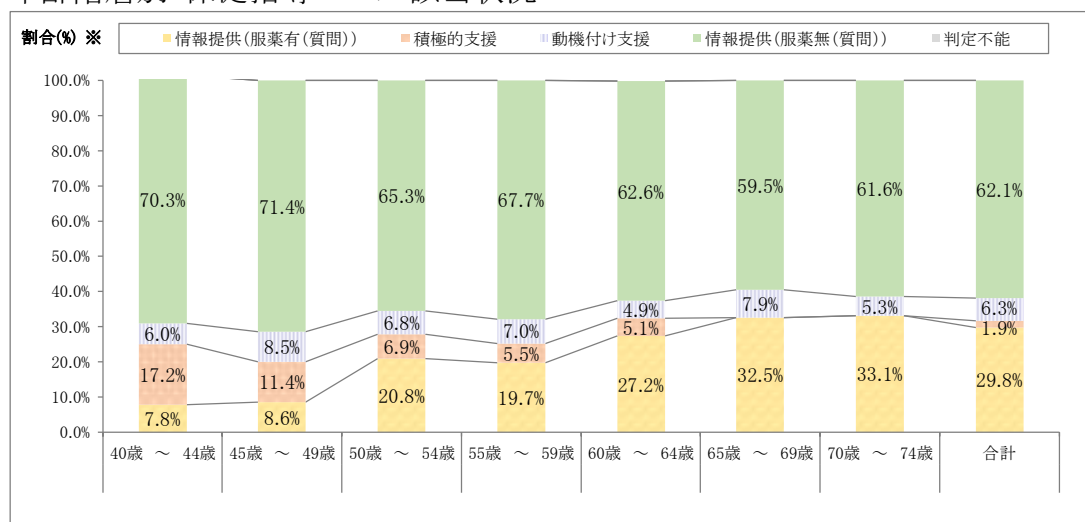
年齢階層	健診受診者数(人)	特定保健指導対象者数(人)				
		積極的支援		動機付け支援		
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	
40歳～44歳	64	14	11	17.2%	3	6.0%
45歳～49歳	70	14	8	11.4%	6	8.5%
50歳～54歳	72	10	5	6.9%	5	6.8%
55歳～59歳	127	16	7	5.5%	9	7.0%
60歳～64歳	257	26	13	5.1%	13	4.9%
65歳～69歳	684	55	0	0.0%	55	7.9%
70歳～74歳	1,100	58	0	0.0%	58	5.3%
合計	2,374	193	44	1.9%	149	6.3%

年齢階層	健診受診者数(人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)		人数(人)	割合(%) ※
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※		
40歳～44歳	64	5	7.8%	45	70.3%	0	0.0%
45歳～49歳	70	6	8.6%	50	71.4%	0	0.0%
50歳～54歳	72	15	20.8%	47	65.3%	0	0.0%
55歳～59歳	127	25	19.7%	86	67.7%	0	0.0%
60歳～64歳	257	70	27.2%	161	62.6%	0	0.0%
65歳～69歳	684	222	32.5%	407	59.5%	0	0.0%
70歳～74歳	1,100	364	33.1%	678	61.6%	0	0.0%
合計	2,374	707	29.8%	1,474	62.1%	0	0.0%

データ化範囲(分析対象)…令和4年度法定報告の値を使用。  
 ※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

### 年齢階層別 保健指導レベル該当状況



データ化範囲(分析対象)…令和4年度法定報告の値を使用。  
 ※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

以下は、令和2（2020）年度から令和4（2022）年度における、保健指導レベル該当状況を年度別に示したものである。令和4年度を令和2年度と比較すると、積極的支援対象者割合1.9%は令和2年度2.1%から0.2ポイント減少しており、動機付け支援対象者割合6.3%は令和2年度6.5%から0.2ポイント減少している。

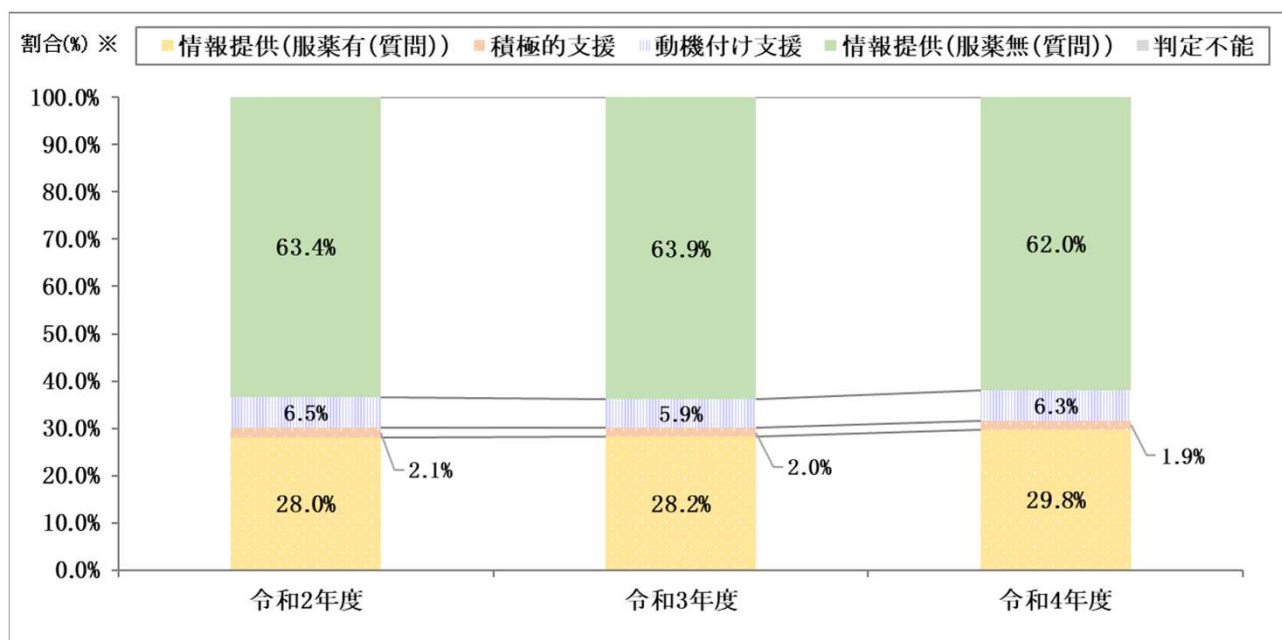
### 年度別 保健指導レベル該当状況

年度	健診受診者数(人)	特定保健指導対象者数(人)				
		積極的支援		動機付け支援		
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※	
令和2年度	2,518	216	52	2.1%	164	6.5%
令和3年度	2,509	196	49	2.0%	147	5.9%
令和4年度	2,374	193	44	1.9%	149	6.3%

年度	健診受診者数(人)	情報提供				判定不能	
		服薬有(質問)		服薬無(質問)		人数(人)	割合(%) ※
		人数(人)	割合(%) ※	人数(人)	割合(%) ※		
令和2年度	2,518	704	28.0%	1,598	63.4%	0	0.0%
令和3年度	2,509	708	28.2%	1,605	63.9%	0	0.0%
令和4年度	2,374	707	29.8%	1,474	62.0%	0	0.0%

※出展：法定報告

### 年度別 保健指導レベル該当状況



## 第4章 特定健康診査等実施計画

### 1. 目標

国では、市町村国保において、計画期間の最終年度である令和11（2029）年度までに特定健康診査受診率60.0%以上、特定保健指導実施率60.0%以上、特定保健指導対象者の減少率25.0%以上（平成20（2008）年度比）を達成することとしている。本市においては各年度の目標値を以下のとおり設定する。

#### 目標値

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和11年度 (国基準)
特定健康診査受診率(%)	35.0%	37.0%	39.0%	41.0%	43.0%	45.0%	60.0%
特定保健指導実施率(%)	35.0%	37.0%	39.0%	41.0%	43.0%	45.0%	60.0%
特定保健指導による 特定保健指導対象者の 減少率(%)※	21.0%	21.0%	22.0%	23.0%	24.0%	25.0%	25.0%

※昨年度の特定保健指導の利用者のうち、今年度は特定保健指導の対象ではなくなった者の数。

### 2. 対象者数推計

#### (1) 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

以下は、令和6（2024）年度から令和11年度までの特定健康診査対象者数及び受診者数について、各年度の見込みを示したものである。

#### 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査対象者数(人)	7,055	6,607	6,270	5,935	5,566	5,212
特定健康診査受診率(%) (目標値)	35.0%	37.0%	39.0%	41.0%	43.0%	45.0%
特定健康診査受診者数(人)	2,469	2,445	2,445	2,433	2,393	2,345

#### 年齢階層別 特定健康診査対象者数及び受診者数の見込み

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健康診査 対象者数(人)	40歳～64歳	2,556	2,499	2,430	2,395	2,305	2,256
	65歳～74歳	4,499	4,108	3,840	3,540	3,261	2,956
特定健康診査 受診者数(人)	40歳～64歳	720	763	798	844	866	902
	65歳～74歳	1,749	1,682	1,647	1,589	1,527	1,443

## (2) 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

以下は、令和6（2024）年度から令和11（2029）年度までの特定保健指導対象者数及び実施者数について、各年度の見込みを示したものである。

### 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定保健指導対象者数(人)	220	222	224	227	226	226
特定保健指導実施率(% (目標値))	35.0%	37.0%	39.0%	41.0%	43.0%	45.0%
特定保健指導実施者数(人)	77	82	87	93	97	102

### 支援レベル別 特定保健指導対象者数及び実施者数の見込み

			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
積極的 支援	対象者数 (人)	40歳～64歳	60	64	68	73	75	77
	実施者数 (人)	40歳～64歳	21	25	26	29	33	36
動機付け 支援	対象者数 (人)	40歳～64歳	47	50	51	54	56	58
		65歳～74歳	113	108	105	100	95	91
	実施者数 (人)	40歳～64歳	13	14	16	19	20	22
		65歳～74歳	43	43	45	45	44	44

### 3. 実施方法

#### (1) 特定健康診査

##### ① 対象者

実施年度中に40歳～74歳になる被保険者(実施年度中に75歳になる75歳未満の者も含む)で、かつ、年度途中での加入・脱退等異動のない者を対象とする。ただし、妊産婦、刑務所入所中、海外在住、長期入院等、厚生労働省告示で定める除外規定に該当する者は対象者から除くものとする。

##### ② 実施方法

###### ア. 実施場所

能代市保健センターまたは委託契約を結んだ医療機関等で実施する。

###### イ. 実施項目

国が定める対象者全員に実施する「基本的な健診項目」と、医師が必要と判断した場合に実施する「詳細な健診項目」に基づき実施する。

###### ■ 基本的な健診項目(全員に実施)

質問項目	標準的な質問票
身体計測	身長、体重、BMI、腹囲
理学的所見	身体診察
血圧測定	血圧
脂質検査	空腹時中性脂肪(やむを得ない場合には随時中性脂肪)、HDLコレステロール、LDLコレステロールまたはNon-HDLコレステロール
肝機能検査	AST(GOT)、ALT(GPT)、 $\gamma$ -GT( $\gamma$ -GTP)
血糖検査	空腹時血糖またはHbA1c、やむを得ない場合には随時血糖
尿検査	尿糖、尿蛋白

###### ■ 詳細な健診項目(医師が必要と判断した場合に実施)

心電図検査	
眼底検査	
貧血検査	赤血球数、ヘモグロビン値、ヘマトクリット値
血清クレアチニン検査	eGFRによる腎機能の評価を含む

###### ■ 秋田県独自の追加健診項目

腎機能検査	血清クレアチニン検査(eGFR)、血清尿酸
-------	-----------------------

###### ウ. 実施時期

4月から翌年3月に実施する。

###### エ. 案内方法

対象者に、特定健康診査受診券と受診案内を発送する。また、広報やホームページ等で周知を図る。



## (2) 特定保健指導

### ① 対象者

国が定める「特定保健指導対象者の選定基準」に基づき、特定健康診査の結果を踏まえ、内臓脂肪蓄積の程度とリスク要因数による階層化を行い、対象者を抽出する。ただし、質問票により服薬中と判断された者は、医療機関における継続的な医学的管理のもとでの指導が適当であるため、対象者から除くこととする。また、65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみ実施する。

#### 特定保健指導対象者の選定基準

腹囲	追加リスク ※	④喫煙歴	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40-64歳	65-74歳
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当	/	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当	あり なし		
上記以外で BMI≥25	3つ該当	/	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当	あり なし		
	1つ該当	/		

(注) 喫煙歴の欄の斜線は、階層化の判定が喫煙歴の有無と無関係であることを意味する。

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖：空腹時血糖が100mg/dl以上 または HbA1c (NGSP値) 5.6%以上

(空腹時血糖及びHbA1c (NGSP値)の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先。)

②脂質：空腹時中性脂肪150mg/dl以上(やむをえない場合は随時中性脂肪175mg/dl以上) または HDLコレステロール40mg/dl未満

③血圧：収縮期血圧130mmHg以上 または 拡張期血圧85mmHg以上

※特定保健指導では、糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者については、対象から除いている。

※65歳以上75歳未満の者については、動機付け支援のみを行っている。

### ② 実施方法

#### ア. 実施場所

市役所または保健センターで実施する。委託契約している医療機関は各医療機関で実施。

#### イ. 実施内容

保有するリスクの数に応じて階層化された保健指導対象者に対し、個々の生活習慣の改善に主眼を置いた保健指導を実施する。第4期計画期間においては、特定保健指導の質の向上、対象者の利便性の向上及び負担軽減を目的として、「評価体系の見直し(アウトカム評価の導入)」、「ICTを活用した特定保健指導の推進」、「特定健診実施後の特定保健指導の早期初回面接実施の促進」等が国の指針として示されている。これらを踏まえ、保健指導の効果的・効率的な実施に努めるものとする。

## 動機付け支援

支援内容	対象者本人が、自分の生活習慣の改善点・延ばすべき行動等に気付き、自ら目標を設定し行動に移すことができるように、対象者の個別性に応じた指導や情報提供等を行う。
支援形態	初回面接による支援のみの原則1回とする。 ○初回面接 一人当たり20分以上の個別支援
実績評価	○3か月以上経過後の評価 設定した行動目標が達成されているか並びに身体状況及び生活習慣に変化が見られたかどうかを評価する。面接または通信手段を利用して行う。

## 積極的支援

支援内容	特定健康診査の結果から、対象者本人が身体状況を理解し、生活習慣改善の必要性を認識し、具体的に実践可能な行動目標を自らが設定できるように行動変容を促す。 支援者は、対象者の過去の生活習慣及び行動計画の実施状況を踏まえて目標達成のために必要な支援計画を立て、行動が継続できるように定期的・継続的に支援する。					
支援形態	初回面接による支援を行い、その後、3か月以上の継続的な支援を行う。 ○初回面接 一人当たり20分以上の個別支援 ○3か月以上の継続的な支援 個別支援のほか、電話、手紙等のいずれか、もしくはいくつかを組み合わせで行う。					
実績評価	○3か月以上経過後の評価 アウトカム評価(成果が出たことへの評価)を原則とし、プロセス評価(保健指導実施の介入量の評価)も併用して評価する。 <b>アウトカム評価</b> <table border="1" data-bbox="368 1267 1418 1550"> <tr> <td>主要達成目標</td> <td>・腹囲2cm・体重2kg減 または、当該年の健診時の体重の値に、0.024を乗じた体重(kg)以上かつ同体重と同じ値の腹囲(cm)以上の減少</td> </tr> <tr> <td>主要達成目標が未達成の場合の行動変容評価指標</td> <td>・腹囲1cm・体重1kg減 ・生活習慣病予防につながる行動変容(食習慣の改善、運動習慣の改善、喫煙習慣の改善、休養習慣の改善、その他の生活習慣の改善)</td> </tr> </table> <b>プロセス評価</b> <table border="1" data-bbox="368 1599 1418 1742"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的支援の介入方法による評価(個別支援、電話、手紙等)</li> <li>・健診後早期の保健指導実施を評価</li> </ul> </td> </tr> </table>	主要達成目標	・腹囲2cm・体重2kg減 または、当該年の健診時の体重の値に、0.024を乗じた体重(kg)以上かつ同体重と同じ値の腹囲(cm)以上の減少	主要達成目標が未達成の場合の行動変容評価指標	・腹囲1cm・体重1kg減 ・生活習慣病予防につながる行動変容(食習慣の改善、運動習慣の改善、喫煙習慣の改善、休養習慣の改善、その他の生活習慣の改善)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的支援の介入方法による評価(個別支援、電話、手紙等)</li> <li>・健診後早期の保健指導実施を評価</li> </ul>
主要達成目標	・腹囲2cm・体重2kg減 または、当該年の健診時の体重の値に、0.024を乗じた体重(kg)以上かつ同体重と同じ値の腹囲(cm)以上の減少					
主要達成目標が未達成の場合の行動変容評価指標	・腹囲1cm・体重1kg減 ・生活習慣病予防につながる行動変容(食習慣の改善、運動習慣の改善、喫煙習慣の改善、休養習慣の改善、その他の生活習慣の改善)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的支援の介入方法による評価(個別支援、電話、手紙等)</li> <li>・健診後早期の保健指導実施を評価</li> </ul>						

### ウ. 実施時期

4月から翌年3月に実施する。

### エ. 案内方法

対象者に対して、特定保健指導の利用勧奨通知を発送する。

## 4. 目標達成に向けての取り組み

以下は、第4期計画期間における目標達成に向けての取り組みを示したものである。

### 【特定健康診査】

事業分類	取り組み
特定健康診査受診勧奨事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未受診者の特性に応じ、セグメント別によるメッセージを用いた文書勧奨</li> <li>・受診者が少ない40～50代および65歳以上の健康状態不明者に対する訪問等受診勧奨</li> <li>・事業主健診結果受領</li> </ul>
特定健康診査受診後の医療機関受診勧奨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診受診者のうち医療機関で受診勧奨を受けた方に対し、医師の判断に応じたパンフレットを送付</li> <li>・必要に応じ、保健指導判定値以上の方に保健指導および受診勧奨</li> </ul>
特定健康診査の周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページや広報紙「のしろの国保」による情報提供</li> <li>・公共施設等、市民が多く集まる場所へのポスター掲示</li> </ul>
医療機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療検査結果情報提供</li> <li>・かかりつけ医からの受診勧奨</li> </ul>

### 【特定保健指導】

事業分類	取り組み
特定保健指導の利用勧奨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者の特性に応じた利用勧奨通知の作成</li> <li>・対象者のニーズに合わせた利用体制(時間、場所等)の強化</li> </ul>
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートを実施し、次年度指導方法・指導内容等に意見を反映</li> <li>・初回面接の当日実施ができる体制づくりの強化</li> </ul>

## 5. 実施スケジュール

実施項目	当年度												次年度				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
特定健康診査	対象者抽出	↔											↔				
	受診券送付	↔											↔				
	特定健康診査実施	↔															
	未受診者受診勧奨		↔														
特定保健指導	対象者抽出		↔														
	利用勧奨通知送付		↔														
	特定保健指導実施	↔															
	未利用者利用勧奨							↔					↔				
前年度の評価							↔										
次年度の計画								↔									

## 第5章 その他

### 1. 個人情報の保護

#### (1) 個人情報保護関係規定の遵守

個人情報の保護に関する法律及び同法に基づくガイドライン等に準じて、厳格な運用管理を行う。

また、外部委託を行う場合は個人情報の厳重な管理や、目的外使用の禁止等を契約書に定めるとともに、委託先の契約遵守状況を管理する。

#### (2) データの管理

特定健康診査・特定保健指導結果のデータの保存年限は原則5年とし、保存期間経過後適切に破棄する。

### 2. 特定健康診査等実施計画の公表及び周知

法第19条3において、「保険者は、特定健康診査等実施計画を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。」とある。主に加入者(特に特定健診・特定保健指導の対象者)に対し、計画期間中の取り組み方針を示し、事業の趣旨への理解を促し積極的な協力を得るため、広報、ホームページ等で公表し、広く周知を図る。

### 3. 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

#### (1) 評価

特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率等について、国への実績報告により毎年度評価を行い、令和11(2029)年度には最終評価を行う。

#### (2) 計画の見直し

計画の見直しについては、毎年度目標の達成状況を評価し、保健運営の健全化の観点から、能代市国民健康保険運営協議会に毎年度進捗状況を報告するとともに、計画期間中においても、必要に応じて計画の見直しを加えていく。

## 4. 他の健診との連携

特定健康診査の実施に当たっては、庁内連携を図り、がん検診等他の関連する検(健)診と可能な限り連携して実施するものとする。

## 5. 実施体制の確保及び実施方法の改善

### (1) 実施体制の確保

特定保健指導に係る人材育成・確保に努める。

### (2) 実施方法の改善

#### ①アウトカム評価による「見える化」

特定保健指導対象者の行動変容に係る情報等を収集し、保険者がアウトカムの達成状況等を把握、達成に至った要因の検討等を行い、対象者の特性に応じた質の高い保健指導を対象者に還元していく仕組みの構築が重要である。

#### ②ICTを活用した特定保健指導の推進

多様なニーズに対応するため、遠隔で行う保健指導については、評価水準や時間設定等は対面と同等とする。ICT活用の推進に当たっては、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」や「標準的な健診・保健指導プログラム」を参照し、ICT環境やICTリテラシーの確認・確保等、ICT活用に係る課題に留意して対応するものとする。



能代市国民健康保険

第3期保健事業実施計画  
(データヘルス計画)

第4期特定健康診査等実施計画

令和6(2024)～令和11(2029)年度

能代市市民福祉部 市民保険課 国民健康保険係  
〒016-8501 秋田県能代市上町1番3号  
電話0185-89-2166 FAX0185-89-1773